

令和6年度第2回朝霞市子ども・子育て会議 次第

日 時：令和6年7月19日（金）
午後2時から午後4時まで
場 所：朝霞市民会館（ゆめぱれす）
会議室梅

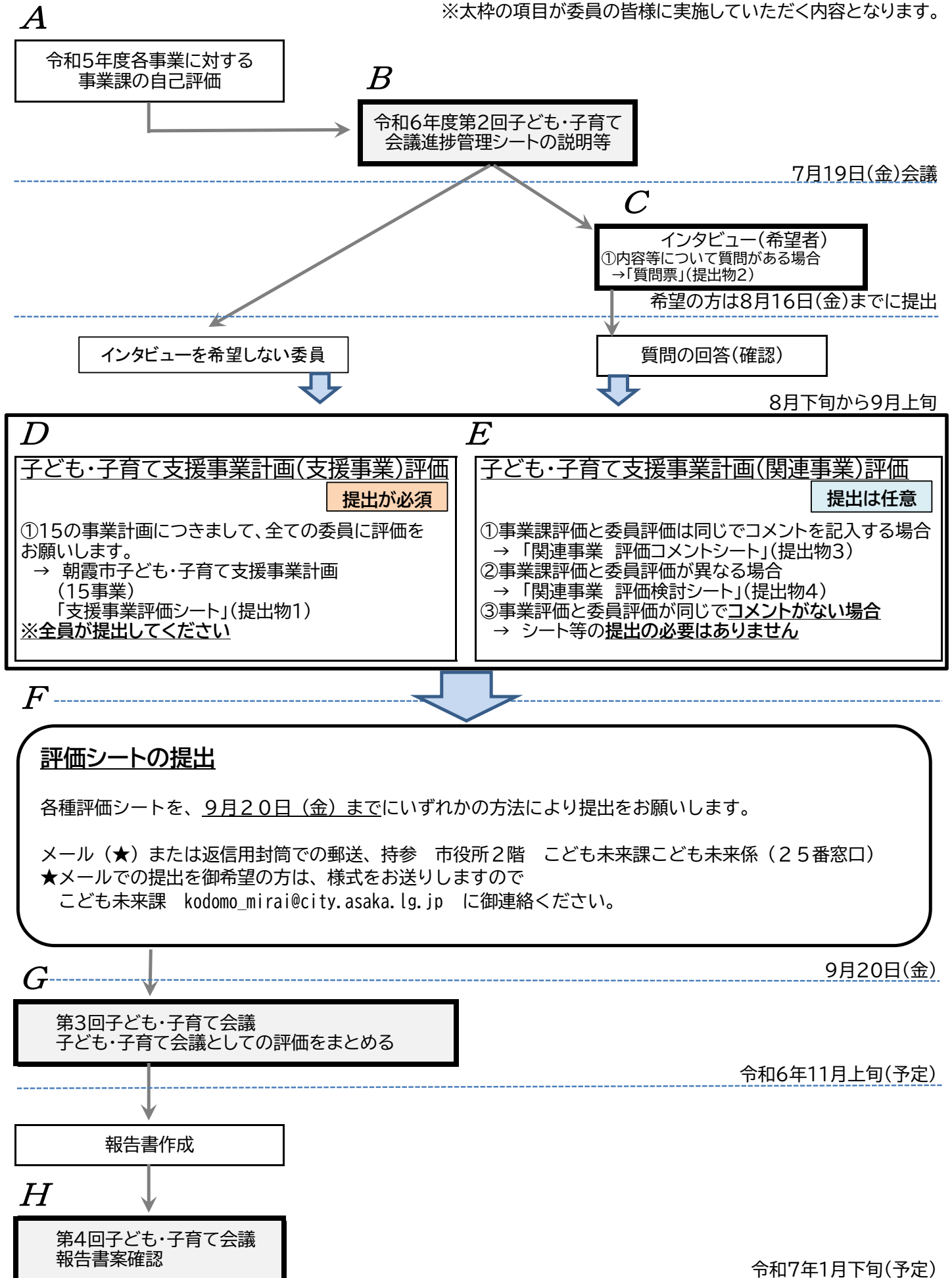
・開 会

- ・議題1 第2期朝霞市子ども・子育て支援事業計画の進捗管理について
- ・議題2 第1回朝霞市子ども・子育て支援事業計画部会の報告及び骨子案について
- ・議題3 骨子案の基本理念について
- ・議題4 その他

・閉 会

朝霞市子ども・子育て支援事業計画 評価フローチャート

※太枠の項目が委員の皆様へ実施していただく内容となります。



朝霞市子ども・子育て支援事業計画 支援事業 進捗状況一覧

※R5 進捗状況（事業課の自己評価）の目安について

- A：着実に進捗している。予算執行状況が80%以上、または活動指標・成果指標の目標・計画の実績が80%以上であり、総合的に勘案して着実に進捗していると判断できる場合。
- B：ある程度進捗している。予算執行状況が60%～79%、または活動指標・成果指標の目標・計画の実績が60%～70%であり、総合的に勘案してある程度進捗していると判断できる場合。
- C：進捗が順調でない。予算執行状況が40%～59%、または活動指標・成果指標の目標・計画の実績が40%～59%であり、総合的に勘案して進捗が順調でないとは判断できる場合。
- D：進捗していない。予算執行状況が39%以下、または活動指標・成果指標の目標・計画の実績が39%以下であり総合的に勘案して進捗していないと判断できる場合。

事業 番号	事業名	担当課	進捗状況				
			R2	R3	R4	R5	R6
5	幼児期の学校教育・保育の提供	保育課	A	A	A	A	

6 地域子ども・子育て支援事業の充実

6-(1)	延長保育事業（時間外保育事業）	保育課	A	A	A	A	
6-(2)	放課後児童クラブ	保育課	A	A	B	B	
6-(3)	子育て短期支援事業（ショートステイ事業）	こども未来課	A	A	A	A	
6-(4)	乳児家庭全戸訪問事業	健康づくり課	A	A	A	A	
6-(5)	養育支援訪問事業及び要保護児童支援事業	こども未来課	B	A	A	A	
6-(6)	地域子育て支援拠点事業	保育課	B	B	A	A	
6-(7)-①	一時預かり事業（幼稚園）	保育課	A	A	A	A	
6-(7)-②	一時預かり事業（保育園等）	保育課	A	A	B	A	
6-(8)	病児保育事業	保育課	A	A	B	B	
6-(9)	ファミリー・サポート・センター事業	保育課	A	A	A	A	
6-(10)	妊婦健康診査	健康づくり課	A	A	A	A	
6-(11)	利用者支援事業	健康づくり課	A	A	A	A	
6-(12)	実費徴収に係る補足給付を行う事業	保育課	B	B	B	B	
6-(13)	多様な事業者の参入促進・能力活用事業	保育課	A	A	A	A	

朝霞市子ども・子育て支援事業計画
【支援事業】

進捗管理シート
(令和5年度事業)

子ども・子育て支援事業計画 《支援事業》進捗管理シート

部名	こども・健康部	課名	保育課			事業番号	5									
基本方針	幼児期の学校教育・保育の提供															
事業名	幼児期の学校教育・保育の提供															
事業概要	乳幼児に対する学校教育や保育を適切に提供できるように、保護者のニーズに基づき、幼稚園、保育所、小規模保育事業などの基盤整備を進めます。															
市の現状	入所者数(幼稚園5月1日、その他は4月1日)															
		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度						
	幼稚園	2,242人		2,250人		2,206人		2,210人		2,152人						
	保育園、認定こども園	2,397人		2,556人		2,718人		2,867人		3,048人						
	小規模保育事業	113人		177人		237人		254人		352人						
	家庭保育室	92人		107人		59人		33人		6人						
事業の見込み、 確保内容及び実績	幼児期の学校教育【幼稚園・認定こども園】(1号認定、新1号認定)															
		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度						
	量の見込み (必要利用定員総数)	1,650人		1,650人		1,650人		1,650人		1,650人						
	確保の内容 (幼稚園・認定こども園)	1,650人		1,650人		1,650人		1,650人		1,650人						
	実績	2,140人		2,140人		2,140人		2,140人		—						
	幼児期の保育【保育園・認定こども園】(2号認定、新2号認定、3号認定)															
		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度						
		2号	3号		2号	3号		2号	3号		2号	3号				
			0歳	1・2歳		0歳	1・2歳		0歳	1・2歳		0歳	1・2歳			
	量の見込み (必要利用定員総数)	2,285	383	1,429	2,330	385	1,450	2,330	385	1,449	2,330	385	1,459	2,330	385	1,477
	確保の内容(保育所・認定こども園・幼稚園及び預かり保育)	2,285	239	983	2,330	242	995	2,330	242	995	2,330	242	995	2,330	242	995
	確保の内容 (小規模保育事業等)	—	86	321	—	89	337	—	92	353	—	95	369	—	98	385
	確保の内容 (その他)	—	58	125	—	54	118	—	51	101	—	48	95	—	45	97
実績	2,543	336	1,404	2,527	329	1,472	2,590	300	1,464	2,690	303	1,503	—	—	—	
確保の方策	本市の就学前児童数は減少傾向ですが、保育所や小規模保育事業等の申込者数は増加傾向にあるため、保育所や小規模保育事業等の定員拡大を行い、待機児童の解消に努めます。さらに、幼稚園の預かり保育事業に補助金を交付することで幼稚園の利用促進を図ります。 また、令和元(2019)年10月より幼児教育・保育無償化が開始されたことにより、保育所や幼稚園の3歳児～5歳児クラスの保育料が無料となり、幼稚園については、預かり保育事業の利用料も無償化の対象となるため、保護者のニーズに合わせて幼稚園、保育所、小規模保育事業等の活用を推進します。															
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	適切な定員設定として、令和4年4月入所に引き続き、令和5年4月入所の定員について公設保育園の0歳児受入人数を減少して設定(受入減により翌年度1歳児としての受入増に繋がる内容)。 また、待機児童解消に向けて、保育所2施設が令和5年4月から開所した。															
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施 により得られた成果	受入定員 4,062人(令和6年4月1日) 保育園 3,467人 認定こども園 147人 小規模 441人 事業所内 7人 入所児童 3,854人(令和6年4月1日時点) 保育園 3,279人 認定こども園 146人 小規模 423人 事業所内 6人 待機児童 17人(R6年4月)、9人(R5年4月)、21人(R4年4月)													
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価 が変わった又はA以外の 評価が連続している場合 のみ記載)																
推進に関する課題	保育園を希望する家庭が増加する中、待機児童の解消に至ってない。															
令和6年度以降の具体的な 取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続に加え、待機児童の発生要因を分析し、各年齢による定員配分の見直しを行うなど、待機児童の解消に向けた取組を行う。															
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント														

子ども・子育て支援事業計画 《支援事業》進捗管理シート						
部名	こども・健康部	課名	保育課		事業番号	6-(1)
基本方針	地域子ども・子育て支援事業の充実					
事業名	延長保育事業(時間外保育事業)					
事業概要	保育所等を利用するフルタイム勤務の共働き世帯数や通勤時間を含む勤務時間等の状況から、保育時間のニーズを把握し、延長保育の充実を進めます。					
	延長保育事業の実績					
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	年間利用者数 (午後6時以降延べ人数)	184,239人	190,244人	196,034人	178,819人	163,690人
事業の見込み、 確保内容及び実績	量の見込み、確保内容及び実績					
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	量の見込み	1,549人	1,524人	1,522人	1,518人	1,536人
	確保の内容	3,514人	3,593人	3,612人	3,631人	3,650人
	実績	3,861人	3,915人	3,941人	4,083人	—
確保の方策	延長保育事業は、各保育所等における保育標準時間として提供される11時間の保育時間を超える時間帯に提供される保育であり、各施設において設定している延長時間を含む開園時間は、保護者のニーズに応えることができますようにします。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する 対応はどうだったのか)	保育園の開所時間を午後7時まで時間延長(一部の園では午後8時まで)する。					
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施 により得ら れた成果	市内保育施設数:72 延長保育実施数 午後7時まで:41 午後7時30分まで:13 午後8時まで:18			
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が 変わった又はA以外の評 価が連続している場合の み記載)						
推進に関する課題	延長保育料(基本保育時間外)の設定					
令和6年度以降の具体的 取り組み (どんなことを予定してい るか)	現行事業の継続					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント				

子ども・子育て支援事業計画 《支援事業》進捗管理シート						
部名	こども・健康部	課名	保育課		事業番号	6-(2)
基本方針	地域子ども・子育て支援事業の充実					
事業名	放課後児童クラブ					
事業概要	就労等により、昼間家庭に保護者のいない小学生の児童を対象に、放課後や長期休暇中に、保護者に代わって保育の場を提供するものです。					
市の現状	放課後児童クラブ実績					
	入所者数(4月1日時点)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	1～3年生	1,045人	1,211人	1,293人	1,373人	1,486人
	4～6年生	96人	52人	53人	66人	85人
	合計	1,141人	1,263人	1,346人	1,439人	1,571人
事業の見込み、 確保内容及び実績	量の見込み、確保内容及び実績					
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	量の見込み(1～3年生)	1,580人	1,600人	1,620人	1,640人	1,660人
	量の見込み(4～6年生)	190人	190人	190人	190人	190人
	量の見込み(合計)	1,770人	1,790人	1,810人	1,830人	1,850人
	確保の内容	1,650人	1,730人	1,770人	1,810人	1,850人
	実績	1,643人	1,765人	1,765人	1,834人	—
確保の方策	放課後児童クラブは、市の事業として、小学校の隣接地等に保育室を設置し、実施してきましたが、利用希望者の増加により待機児童が発生していることから、平成29(2017)年度からは、民間事業者が運営する放課後児童クラブを誘致するなど、整備を行ってきました。 今後においても、利用希望者が入所できるよう各種施策の検討を行います。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	仕事などで昼間保護者のいない子どもを対象に、主に放課後、保育を行いました。 民間クラブ12クラブへの運営費補助金の交付や、公設クラブ10クラブへの指定管理料の支給等を行うとともに、令和5年度においては、民間クラブ1施設の開設(定員55人)及び定員枠の拡大などにより、前年度と比べて定員数64人の増となりました。					
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	B	事業の実 施により得 られた成果	放課後児童クラブ数 22か所 入所者数 1,776人(令和5年4月 入所) 1,712人(令和4年4月 入所) 1,657人(令和3年4月 入所) 入所待機者数 64人(令和5年4月) 69人(令和4年4月) 69人(令和3年4月)			
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価 が変わった又はA以外の 評価が連続している場合 のみ記載)	令和5年度に、民間クラブの整備等により定員の拡大を図ったが、入所保留が生じているため。					
推進に関する課題	教室等の活用の検討や、児童館ランドセル来館事業の対象児童を小学2年生に引き下げるなど、関係課との連携により、入所保留児童対策に努めているが、入所保留児童の解消には至っていない。					
令和6年度以降の具体的な 取り組み (どんなことを予定してい るか)	令和6年度より、低学年児童を優先的に受け入れる民間の放課後児童クラブに対して、奨励費補助金を交付することとし、低学年の保留児童の解消につなげるとともに、小学校区ごとの利用見込などのニーズ把握等について、調査等を進めている。 今後、関係各課と連携のうえ、児童に対する放課後の居場所について検討を行う予定。					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント				

子ども・子育て支援事業計画 《支援事業》進捗管理シート						
部名	こども・健康部	課名	こども未来課		事業番号	6-(3)
基本方針	地域子ども・子育て支援事業の充実					
事業名	子育て短期支援事業(ショートステイ事業)					
事業概要	子育て短期支援事業は、保護者の疾病や仕事などにより、児童の養育が一時的に困難になった場合などに、市内里親宅で一時的に児童を預かる事業です。					
市の現状	子育て短期支援事業の実績					
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	年間利用者数(延べ数)	96人/年	65人/年	48人/年	65人/年	97人/年
事業の見込み、 確保内容及び実績	量の見込み、確保内容及び実績					
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	量の見込み(延べ数)	70人/年	70人/年	70人/年	70人/年	70人/年
	確保の内容(延べ数)	70人/年	70人/年	70人/年	70人/年	70人/年
	実績	87人/年	58人/年	95人/年	92人/年	—
確保の方策	所沢児童相談所の里親認定調査に同行し、里親認定登録前から里親との関係づくりや養育環境の確認をしている。里親認定登録後、朝霞市地区里親会の協力により、市内里親へ事業の委託契約の依頼をしている。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する 対応はどうだったのか)	保護者の育児疲れ、疾病、仕事などの理由により、児童の養育が一時的に困難になった場合に、委託里親宅で一定期間の養育を行った。 市内里親家庭11世帯と委託契約を締結し、うち6世帯に委託を行った。 委託里親を増やすため、市役所1階市民ホールにて、里親制度をPRするためのパネルを設置し、ショートステイ事業と里親制度の普及啓発を行った。					
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施 により得ら れた成果	年間利用者数(延べ数) 33人 令和5年度委託里親数 目標値 5世帯 実績値 6世帯 ショートステイ受入日数 実績値 92日間			
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が 変わった又はA以外の評 価が連続している場合の み記載)						
推進に関する課題	ショートステイ事業の継続実施のため、より多くの新規委託里親を確保すること。 ショートステイ事業や里親制度について、市民への広報を行うこと。					
令和6年度以降の具体的 取り組み (どんなことを予定してい るか)	現行事業を継続しつつ、委託里親を確保するために里親制度の広報啓発を行う。 委託里親の資質向上のため、市主催研修への参加依頼など、研修機会を設ける。					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント				

子ども・子育て支援事業計画 《支援事業》進捗管理シート						
部名	こども・健康部	課名	健康づくり課	事業番号	6-(4)	
基本方針	地域子ども・子育て支援事業の充実					
事業名	乳児家庭全戸訪問事業					
事業概要	乳児家庭全戸訪問事業は、生後4か月までの乳児のいるすべての家庭〔新生児訪問（生後2か月まで）を含む〕を訪問し、子育て支援情報の提供や養育環境等の把握を行い、必要なサービスにつなげる事業です。					
市の現状	乳児家庭全戸訪問の実績					
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	出生者数	1,368人	1,370人	1,317人	1,339人	1,264人
	乳児家庭全戸訪問数	1,244人	1,259人	1,219人	1,254人	1,234人
	訪問率(%)	90.9%	89.9%	87.1%	89.6%	97.6%
事業の見込み、 確保内容及び実績	量の見込み、確保内容及び実績					
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	量の見込み（訪問人数）	1,251人	1,168人	1,185人	1,300人	1,300人
	確保の内容（訪問人数）	1,251人	1,168人	1,185人	1,300人	1,300人
	確保の内容（訪問率）	100%	100%	100%	100%	100%
	訪問人数実績	1,186人	1,109人	1,197人	—	—
	訪問率実績	94.8%	94.9%	101.2%	96.00%	—
確保の方策	対象者の把握については、出生後に提出される出生連絡票（お誕生はがき）と生後3か月で出生連絡票が提出されていない家庭の抽出によって行っており、訪問希望のない家庭へも全戸訪問を実施しています。不在の家庭もあり、全数把握には至っていませんが、引き続き訪問を継続していきます。					
具体的な事業内容 （どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか）	生後4か月未満の全乳児及び保護者に対して家庭訪問を実施。					
施策の進捗状況と成果 （令和5年度） 自己評価ランク A：着実に進捗している B：ある程度進捗している C：進捗が順調でない D：進捗していない	A	事業の実 施により得 られた成果	令和5年度 乳児家庭全戸訪問件数 1,118人 （新生児訪問件数1,034人 こんにちは赤ちゃん訪問件数84人）			
自己評価ランクの理由 （令和4年度と自己評価が 変わった又はA以外の評 価が連続している場合の み記載）						
推進に関する課題	本事業については、すべての乳児がいる家庭に全戸訪問を実施（100％）しているが、対象児が入院中や里帰り中と不在の場合も多く、乳児と保護者の把握がすべてできない状況が課題である。					
令和6年度以降の具体的 取り組み （どんなことを予定してい るか）	母子手帳交付時に子育て包括支援センターで行う面談の際に、産後の訪問等について案内を更に充実し、訪問に繋がるよう努める。また、4か月児健診までの期間で、ほぼ全数の把握はできているため、引き続き訪問と健診での支援を継続する。					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 （令和5年度） A：着実に進捗している B：ある程度進捗している C：進捗が順調でない D：進捗していない		コメント				

子ども・子育て支援事業計画 《支援事業》進捗管理シート						
部名	こども・健康部	課名	こども未来課		事業番号	6-(5)
基本方針	地域子ども・子育て支援事業の充実					
事業名	養育支援訪問事業及び要保護児童支援事業					
事業概要	養育支援訪問事業は、育児ストレスなどにより、子育てに不安や孤独感を抱える家庭や、養育に支援が必要な家庭を対象に、ホームヘルプ等による家事支援や見守り支援、助産師・保育士による育児支援を実施しています。 要保護児童支援事業は、様々な理由によって家庭での養育が困難となった児童や、子育てに悩む保護者を支援するために、要保護児童対策地域協議会を設置し、児童の適切な保護、保護者支援及び児童虐待の予防を目的に、必要な情報交換を行うとともに、支援等の内容に関する協議を行い、迅速な対応ができるようにするものです。					
市の現状	養育支援事業実績					
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	養育支援訪問日数	6日	3日	19日	19日	81日
事業の見込み、 確保内容及び実績	量の見込み、確保内容及び実績					
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	量の見込み(訪問日数)	20日	20日	20日	20日	20日
	確保の内容	20日	20日	20日	20日	20日
	実績(4月1日時点)	2日	41日	52日	44日	—
確保の方策	養育支援訪問事業を行う際には、こども未来課(児童相談担当)や要保護児童対策地域協議会での検討に基づき、利用決定を行い、訪問先の家庭の理解を得て、養育支援訪問支援員(助産師・保育士・ホームヘルパー等)を派遣します。 地域で孤立していたり、子どもの養育に課題があったりする家庭の把握に努め、児童と保護者への支援の充実を図ります。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	子育て世代包括支援センターと毎月開催する連絡会議において、子どもの養育に支援を要する家庭を把握し、養育支援訪問事業の導入を検討。専門職の養育支援訪問事業支援員が家庭訪問し、育児方法を実践するなどして具体的に支援。育児相談を受けながら継続した支援や援助を行った。 また、支援状況を踏まえて児童相談対応を行った。					
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実 施により得 られた成果	令和5年度 支援員 6人(保健師1人、助産師1人、保育士3人、ヘルパー1人) 養育支援利用者(保護者) 4人 養育支援利用日数 44日			
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が 変わった又はA以外の評 価が連続している場合の						
推進に関する課題	養育支援員の確保、子どもの養育に支援を要する家庭の把握、利用の促進					
令和6年度以降の具体的 取り組み (どんなことを予定してい るか)	子どもの養育に支援が必要な家庭の把握に努めるとともに、養育支援訪問事業支援員の資質向上のため、市主催研修への参加依頼、県などが主催する研修情報の提供など、研修機会を設ける。					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント				

子ども・子育て支援事業計画 《支援事業》進捗管理シート						
部名	こども・健康部	課名	保育課		事業番号	6-(6)
基本方針	地域子ども・子育て支援事業の充実					
事業名	地域子育て支援拠点事業					
事業概要	地域子育て支援拠点事業は、保育園や公共施設などの地域の身近な場所で、子育て中の家庭の交流・育児相談等を行う事業です。					
市の現状	地域子育て支援センターの利用実績					
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	利用者数	387人/日	453人/日	384人/日	364人/日	326人/日
	施設数	9か所	9か所	9か所	9か所	9か所
事業の見込み、 確保内容及び実績	量の見込み、確保内容及び実績					
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	量の見込み	370人/日	370人/日	370人/日	370人/日	370人/日
	確保の内容	9か所	9か所	9か所	9か所	9か所
	実績	8か所	8か所	8か所	8か所	—
確保の方策	保育所や児童館に併設する形で設置された子育て支援センターにおいて、様々な事業を行います。 子育て支援センターでは、併設する保育所や児童館などと連携しながら、子育てに関する専門性の高い職員が、各施設の特色のある事業を実施するほか、子育て相談等を行います。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	子育て支援センターにおいて、子育てに関する相談、指導、各種事業(パネルシアター・絵本の日、身体計測、誕生会、子育て講座等)。					
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	公設公営子育て支援センター 2か所 公設民営子育て支援センター 2か所 民設民営子育て支援センター 4か所 利用者数 4,974人/月(前年度比300人/月増)			
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)	子育て支援センターにおいて、子育てに関する相談や事業を実施することで、保護者の育児に関する不安を軽減できたほか、子どもが事業に参加することで、情操の育成につながったと考えるため。					
推進に関する課題	子育て支援センターの計画的な整備					
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	公設民営子育て支援センター1か所については、併設している障害児放課後児童クラブ事業が令和4年度をもって終了したことに伴い、子育て支援センターとしての役割を明確化しつつ、今後も引き続き事業を継続していく。					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント				

子ども・子育て支援事業計画 《支援事業》進捗管理シート						
部名	こども・健康部	課名	保育課		事業番号	6-(7)-①
基本方針	地域子ども・子育て支援事業の充実					
事業名	一時預かり事業					
事業概要	様々な理由で、家庭において保育を受けることができない乳幼児を対象に、幼稚園や保育所等において、一時的に預かる事業です。					
市の現状	一時預かり事業実績(幼稚園)					
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	利用者数	—	—	—	88人/日	135人/日
事業の見込み、 確保内容及び実績	量の見込み、確保内容及び実績					
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	量の見込み	400人/日	400人/日	400人/日	400人/日	400人/日
	確保の内容	400人/日	400人/日	400人/日	400人/日	400人/日
	実績	400人/日	400人/日	400人/日	400人/日	—
確保の方策	幼児教育・保育の無償化の対象施設として確認をした施設に対しては、幼稚園の在園児を対象として、教育時間の前後や、夏休み等の長期休業中に預かり保育を行います。 また、市では、幼稚園での預かり保育を推進するため、実施時間や利用者数等に応じて、市内の幼稚園に預かり保育事業補助金を交付します。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	幼稚園21施設を確認し、預かり保育を実施した。 また、市内幼稚園3園に預かり保育事業補助金を交付した。					
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実 施により得 られた成果	利用施設数:21施設 延べ利用者数:34,686人 預かり保育事業補助金交付園 朝霞たちばな幼稚園、根岸幼稚園、朝霞花の木幼稚園			
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価 が変わった又はA以外の 評価が連続している場合 のみ記載)						
推進に関する課題	利用条件や利用方法などの周知					
令和6年度以降の具体的 取り組み (どんなことを予定してい るか)	現行事業の継続					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント				

子ども・子育て支援事業計画 《支援事業》進捗管理シート						
部名	こども・健康部	課名	保育課		事業番号	6-(7)-②
基本方針	地域子ども・子育て支援事業の充実					
事業名	一時預かり事業					
事業概要	様々な理由で、家庭において保育を受けることができない乳幼児を対象に、幼稚園や保育所等において、一時的に預かる事業です。					
市の現状	一時預かり事業実績(保育所等)					
	利用者数(年間)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	量の見込み	47人/日	47人/日	47人/日	47人/日	47人/日
	確保の内容(目標)	67人/日	67人/日	67人/日	67人/日	67人/日
	確保の内容(実績)	67人/日	67人/日	67人/日	67人/日	67人/日
	保育所等	3,867人	5,868人	4,838人	5,106人	3,398人
	ファミリー・サポート・センター事業等	488人	544人	512人	598人	458人
事業の見込み、確保内容及び実績	量の見込み、確保内容及び実績					
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	量の見込み	70人/日	70人/日	70人/日	70人/日	70人/日
	確保の内容(目標)	70人/日	70人/日	70人/日	70人/日	70人/日
	確保の内容(実績)	70人/日	70人/日	70人/日	70人/日	—
	保育所等	2,948人	2,531人	2,814人	2,982人	—
	ファミリー・サポート・センター事業等	549人	677人	890人	1,076人	—
	実績	70人/日	70人/日	70人/日	70人/日	—
確保の方策	保育所で行う預かり保育は、保護者の疾病、出産及び親族の介護・看護、その他育児疲れなどでリフレッシュしたいときなどに利用できる制度です。 ファミリー・サポート・センター事業等でも、サポート会員による預かり保育が可能です。 また、利用者が「施設等利用給付認定」を受けていて、保育の必要性が認められる方の場合、無償化の対象となる場合があります。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する 対応はどうだったのか)	公設園では、東朝霞保育園・さくら保育園・仲町保育園の3園で実施。 公設公営の2園では、低所得者(住民税非課税世帯)に対する保育料の軽減を実施。 昨年度の課題に取り組むことができ、リフレッシュが必要な世帯の利用者数が増えた。					
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実 施により得 られた成果	利用者数(公設分) 東朝霞保育園 令和5年度:520人 令和4年度:412人 令和3年度:447人 さくら保育園 令和5年度:1,006人 令和4年度:514人 令和3年度:338人 仲町保育園 令和5年度:1,428人 令和4年度:1,885人 令和3年度:1,746人 利用サービス内訳(公設分) 非定型保育サービス…利用者数 延べ1,455人(+90人) 緊急保育サービス…利用者数 延べ431人(△176人) リフレッシュサービス…利用者数 延べ1,068人(+229人)			
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が 変わった又はA以外の評 価が連続している場合のみ 記載)			昨年度の課題に取り組むことができ、リフレッシュが必要な世帯の利用者数が増えたため。 (※リフレッシュによる利用者数:公設3園で、前年度比229件の増)			
推進に関する課題	利用条件や利用方法などの周知					
令和6年度以降の具体的 取り組み (どんなことを予定してい るか)	現行事業の継続					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント				

子ども・子育て支援事業計画 《支援事業》進捗管理シート						
部名	こども・健康部	課名	保育課		事業番号	6-(8)
基本方針	地域子ども・子育て支援事業の充実					
事業名	病児保育事業					
事業概要	児童が急な病気となり、保育所等が利用できず、また、保護者も就労などにより、保育ができない場合に、病院や保育所などに併設される専用の保育室で、看護師等が一時的に保育を行う事業です。					
市の現状	病児保育の実績					
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	利用者数（年間）	—	—	—	133人	308人
	利用者数（月平均）	—	—	—	15人	26人
事業の見込み、 確保内容及び実績	量の見込み、確保内容及び実績					
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	量の見込み	5人/日	5人/日	5人/日	5人/日	5人/日
	確保の内容	5人/日	5人/日	5人/日	5人/日	5人/日
	実績	5人/日	5人/日	5人/日	5人/日	—
確保の方策	病児保育は、児童の病気の急変などを想定する必要があり、医師が常駐する医療機関に併設する「医療機関併設型」が望ましいと考えます。 現在実施している病児保育を継続しながら、市民のニーズの把握を行い、今後も病児保育を確保します。					
具体的な事業内容 （どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか）						
病気により集団保育が困難かつ保護者の勤務等の都合で家庭で保育を行うことが困難な、生後6か月から小学3年生の市内在住の乳児・幼児または児童に対して、一時的にその児童等の保育を行うことにより、保護者の子育てと就労の両立を支援した。						
施策の進捗状況と成果 （令和5年度） 自己評価ランク A：着実に進捗している B：ある程度進捗している C：進捗が順調でない D：進捗していない		B	事業の実施 により得られた成果	病児保育室たまご（TMGあさか医療センターが運営主体） 新規登録者数 令和5年度：94人 令和4年度：52人 令和3年度：93人 利用者数 令和5年度：117人 令和4年度：43人 令和3年度：59人		
自己評価ランクの理由 （令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載）				市民を優先的に受け入れてもらうように協定を結んでいることから、急な病気により保育所等が利用できない児童に対して保育を提供でき、利用者数は前年度に比べて大幅に増えたものの、事前の登録が必要であることについては制度の周知が今後必要であると考えするため。		
推進に関する課題		利用条件や利用方法などの周知				
令和6年度以降の具体的な 取り組み （どんなことを予定しているか）		現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 （令和5年度） A：着実に進捗している B：ある程度進捗している C：進捗が順調でない D：進捗していない			コメント			

子ども・子育て支援事業計画 《支援事業》進捗管理シート							
部名	こども・健康部	課名	保育課		事業番号	6-(9)	
基本方針	地域子ども・子育て支援事業の充実						
事業名	ファミリー・サポート・センター事業						
事業概要	ファミリー・サポート・センター事業は、育児の援助をしたい方(提供会員)と、育児の援助をしてほしい方(依頼会員)が会員となり、地域の中で助け合いながら子育ての援助活動をする会員組織で相互の活動の連絡・調整を実施する事業です。						
市の現状	ファミリーサポートセンター事業(小学1～6年生)※令和2年度以降は小学生以外の乳幼児も含む						
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	会員数	依頼会員数	1,058人	1,152人	1,235人	1,335人	1,420人
		提供会員数	259人	266人	262人	258人	278人
	利用人数(年間)		691人	840人	1,082人	1,598人	1,644人
	利用人数(日平均)		2人	2人	3人	4人	5人
事業の見込み、 確保内容及び実績	量の見込み、確保内容及び実績						
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	量の見込み		9人/日	9人/日	9人/日	9人/日	9人/日
	確保の内容		9人/日	9人/日	9人/日	9人/日	9人/日
	実績		8人/日	10人/日	10人/日	13人/日	—
確保の方策	提供会員の拡大を進めながら、提供する子育ての援助活動の、さらなる質の向上を図るため、提供会員を対象とする研修の充実に努めます。						
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する 対応はどうだったのか)	入会説明会(52人参加):ファミリー・サポート・センターの概要 養成講習会(33人参加):サポート会員としての心構え、小児看護、安全・事故、 心の発達、子どもの世話 ステップアップ講習会(4人参加):調理講習〔講師〕栄養士						
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実 施により得 られた成果	依頼会員数:1,611人(前年度比+151人) 提供会員数:199人(前年度比+7人) 両方会員数:73人(前年度比△14人) 事業の利用件数:4,669回(前年度比+1,236回) ※記載の数値には小学生以外の乳幼児も含みます。				
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価 が変わった又はA以外の 評価が連続している場合 のみ記載)							
推進に関する課題	サポート会員の拡大						
令和6年度以降の具体的 取り組み (どんなことを予定してい るか)	現行事業の継続						
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント					

子ども・子育て支援事業計画 《支援事業》進捗管理シート						
部名	こども・健康部	課名	健康づくり課		事業番号	6-(10)
基本方針	地域子ども・子育て支援事業の充実					
事業名	妊婦健康診査					
事業概要	妊婦健康診査は、妊婦の健康の保持増進を図り、安全、安心な妊娠、出産に資するために適切な健診を行う事業です。					
市の現状	妊婦健康診査実績					
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	対象者数	1,491人	1,427人	1,410人	1,322人	1,362人
	受診者数	1,410人	1,413人	1,381人	1,288人	1,333人
事業の見込み、 確保内容及び実績	量の見込み、確保内容及び実績					
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	量の見込み(受診者数)	1,216人	1,271人	1,166	1,165	1400人
	確保の内容(受診者数)	1,216人	1,271人	1,166	1,165	1400人
	実績	1,167人	1,241人	1,159	1,140人	—
確保の方策	母子健康手帳に添付された「妊婦健康診査受診票・助成券」により、妊婦健康診査の費用の一部(14 回分)に加え、令和5年度からは産婦健康診査1回分を助成し、妊産婦の健康管理の向上を進めています。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する 対応はどうだったのか)	妊婦一般健康診査 【補助金】委託医療機関以外の医療機関を受診している妊産婦に対し補助金を交付 1人あたり補助額: 上限107,190円					
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施 により得ら れた成果	令和5年度 活動指標: 妊婦一般健康診査公費負担回数 目標・計画 14回 実績15回 成 果: 妊婦一般健康診査受診者数 1,140人 妊婦一般健康診査受診率(1回目を評価) 目標・計画 97% 実績 98%			
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が 変わった又はA以外の評 価が連続している場合の み記載)						
推進に関する課題	本事業は、妊婦健康診査に係る経済的負担の軽減を図れることから、母子の健康管理のためにも、効果的な活用が図られるよう、妊娠届出時等の周知を徹底する必要がある。					
令和6年度以降の具体的 取り組み (どんなことを予定してい るか)	現行事業の継続					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント				

子ども・子育て支援事業計画 《支援事業》進捗管理シート						
部名	こども・健康部	課名	健康づくり課		事業番号	6-(11)
基本方針	地域子ども・子育て支援事業の充実					
事業名	利用者支援事業					
事業概要	子育て家庭や妊産婦が、教育・保育施設や地域子ども・子育て支援事業、保健・医療・福祉等の関係機関を円滑に利用できるように、身近な場所での相談や情報提供、助言等必要な支援を行うとともに、関係機関との連絡調整、連携・協働の体制づくり等を行う事業です。					
市の現状	子育て世代包括支援センターの設置・運営					
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	母子保健型(施設数)	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所
	基本型・特定型(施設数)	0か所	0か所	0か所	0か所	0か所
事業の見込み、 確保内容及び実績	量の見込み、確保内容及び実績					
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	量の見込(施設数)	1か所	1か所	1か所	1か所	2か所
	確保の内容(施設数)	1か所	1か所	1か所	1か所	2か所
	実績	1か所	1か所	1か所	1か所	—
確保の方策	妊娠期から切れ目のない子育て支援の充実を目指し平成29(2017)年10月からは子育て世代包括支援センター(保健センター内)を設置・運営を開始しています。 令和5年4月からは、出産・子育て交付金、多子世帯応援給付金の支給を開始し、伴走型相談支援と経済的支援の一体的実施を開始しました。すべての妊婦に対し、助産師や保健師が母子健康手帳を交付し、子育てのスタートをサポートします。妊娠・出産や子育ての悩み、疑問にお答えしたり、育児サービスの情報を提供、産後ケア事業等を行っています。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する 対応はどうだったのか)	妊娠届出時に保健師等による全妊婦への面接や妊婦健診の補助、産後ケア事業、新生児訪問指導、乳幼児健診などを実施し、妊娠期から子育て期にわたる一貫して切れ目のない子育て支援を実施しています。					
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実 施により得 られた成果	令和5年度実績 妊娠届出数 1,165人 うち妊婦との面談数 1,122人			
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価 が変わった又はA以外の 評価が連続している場合 のみ記載)						
推進に関する課題	妊娠届出の時期は、妊娠初期で体調がすぐれない妊婦も多いことや、子育て世代包括支援センターが一か所であるため、利便性の課題がある。					
令和6年度以降の具体的 取り組み (どんなことを予定してい るか)	北朝霞方面への設置について検討する。					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント				

子ども・子育て支援事業計画　《支援事業》進捗管理シート							
部名	こども・健康部	課名	保育課		事業番号	6-(12)	
基本方針	地域子ども・子育て支援事業の充実						
事業名	実費徴収に係る補足給付を行う事業						
事業概要	食事の提供に要する費用(副食費分)について、未移行幼稚園に通う低所得世帯等を対象に費用の一部を補助する事業です。 (保護者の世帯所得の状況等を勘案し、助成を行います。)						
市の現状	実費徴収に係る補足給付を行う事業実績						
			令和元年度		※幼児教育・保育の無償化に伴い、令和元年10月開始		
	実績		58人				
事業の見込み、 確保内容及び実績	量の見込み、確保内容及び実績						
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	量の見込み		240人	240人	240人	240人	240人
	確保の内容		240人	240人	240人	240人	240人
	実績		36人	33人	53人	127人	—
確保の方策	保護者の世帯所得の状況等を勘案し、助成を行います。						
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	未移行幼稚園に通う児童の保護者に対し、本事業の案内を配付し、申請のあった対象者に昼食代のうち副食費(月額4,700円上限)の補助を行った。						
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	B	事業の実 施により得 られた成果	副食費に対し、費用の一部を補助することにより、経済的な支援ができた。 申請者数:127人				
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価 が変わった又はA以外の 評価が連続している場合 のみ記載)	対象者に対し、申請者が少なかったため。						
推進に関する課題	保護者へ個別に案内を配付したが、申請が少ない。						
令和6年度以降の具体的 取り組み (どんなことを予定してい るか)	更なる周知を図る。						
子ども・子育て会議 進捗状況　確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント					

子ども・子育て支援事業計画 《支援事業》進捗管理シート						
部名	こども・健康部	課名	保育課	事業番号	6-(13)	
基本方針	地域子ども・子育て支援事業の充実					
事業名	多様な事業者の参入促進・能力活用事業					
事業概要	地域の教育・保育需要に沿った教育・保育施設、地域子ども・子育て支援事業の量的拡大を進める上で、多様な事業者の新規参入を支援するほか、私立認定こども園における特別な支援が必要な子どもの受入体制を構築することで、良質かつ適切な教育・保育等の提供体制の確保を図る事業です。 認定こども園特別支援教育・保育経費は、健康面や発達面において特別な支援が必要な子どもを受入れる私立認定こども園の設置者に対して、職員の加配に必要な経費の一部を補助する事業です。					
市の現状	認定こども園において、特別な支援が必要な子どもの受入を行い、職員の加配に必要な経費の一部を補助しています。					
事業の見込み、 確保内容及び実績	量の見込み、確保内容及び実績					
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	量の見込み	2人/月	2人/月	2人/月	2人/月	2人/月
	確保の内容	2人/月	2人/月	2人/月	2人/月	2人/月
	実績	2人/月	2人/月	2人/月	2人/月	—
確保の方策	平成31(2019)年4月に市内の保育所2園が認定こども園に移行し、認定こども園ができましたので、今後、認定こども園特別支援教育・保育経費事業の活用を図ります。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	特別な支援が必要な子どもの受入にあたり、職員の加配の費用の補助を行い、良質な保育体制の整備に努めた。					
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実 施により得 られた成果	特別な支援が必要な子どもの受入にあたり、職員の加配の費用の補助を行い、良質な保育体制の整備ができた。			
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価 が変わった又はA以外の 評価が連続している場合 のみ記載)						
推進に関する課題	特になし					
令和6年度以降の具体的 取り組み (どんなことを予定してい るか)	現行事業の継続					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント				

朝霞市子ども・子育て支援事業計画 関連事業 進捗状況一覧
(次世代育成支援対策推進法の行動計画)

※R5 進捗状況（事業課の自己評価）の目安について

- A：着実に進捗している。予算執行状況が80%以上、または活動指標・成果指標の目標・計画の実績が80%以上であり、総合的に勘案して着実に進捗していると判断できる場合。
 B：ある程度進捗している。予算執行状況が60%～79%、または活動指標・成果指標の目標・計画の実績が60%～70%であり、総合的に勘案してある程度進捗していると判断できる場合。
 C：進捗が順調でない。予算執行状況が40%～59%、または活動指標・成果指標の目標・計画の実績が40%～59%であり、総合的に勘案して進捗が順調でないとは判断できる場合。
 D：進捗していない。予算執行状況が39%以下、または活動指標・成果指標の目標・計画の実績が39%以下であり総合的に勘案して進捗していないと判断できる場合。

基本目標 1 すべての子どもがすくすく育つまち

基本方針 1-1 子どもの人権の尊重のために

施策の方向性	事業番号	事業名	担当課	進捗状況					
				R2	R3	R4	R5	R6	
(1)子どもを虐待やいじめ等の人権侵害から守るための体制強化 ①児童虐待予防と防止の取組	1	DV 相談事業	人権庶務課	A	A	A	A		
	2	要保護児童対策地域協議会等を活用した児童相談事業	こども未来課	A	A	A	A		
	3	児童虐待防止に関する意識の普及啓発	こども未来課	A	A	A	A		
	4	里親制度の周知	こども未来課	B	A	A	A		
	5	家庭児童相談事業	こども未来課	A	A	A	A		
	6	子ども家庭総合支援拠点の整備	こども未来課	A	A	A	A		
	7	養育支援訪問事業	こども未来課	A	A	A	A		
	8	虐待防止に関する教育相談の実施	教育指導課	A	A	A	A		
(1)子どもを虐待やいじめ等の人権侵害から守るための体制強化 ②子どもの人権尊重の仕組みづくり	9	民生委員・児童委員活動事業	福祉相談課	B	B	B	B		
	10	いじめ防止に対する取組	こども未来課 教育指導課	A	B	A B	A		
	11	施設における人権擁護等の体制整備	保育課	B	C	B	B		
(2)子どもの意見や視点の尊重	12	朝霞“未来・夢”子ども議会	市政情報課 教育指導課	D	A	A	A		
	13	「特別の教科 道徳」の推進	教育指導課	A	A	A	A		
	14	カウンセリングの実施	教育指導課	A	A	A	A		
(3)子どもの生きる力を育成する 学校教育環境の充実	15	中学校自由選択制度	教育管理課	A	A	A	A		
	16	朝霞第五中学校特認校制度	教育管理課	A	A	A	A		
	17	先進校・研究推進校への視察	教育指導課	B	A	A	A		
	18	あさか・スクールサポーターの活用	教育指導課	B	B	B	B		
	19	球技大会、陸上競技大会等の実施	教育指導課	B	C	B	B		
	20	学校総合体育大会、新人体育大会等の実施	教育指導課	B	B	B	B		
	21	朝霞市地域人材活用支援事業	教育指導課	A	A	B	B		
	22	学校保健委員会の実施・充実	教育指導課	A	A	A	A		
	23	朝霞市小学校低学年複数担任制事業	教育指導課	A	A	A	A		
	24	社会体験チャレンジ事業	教育指導課	D	D	A	A		
	25	保健体育科、家庭科、道徳等の授業で知識の習得	教育指導課	B	B	B	B		

基本方針1ー2 特別な配慮が必要な子どものために

施策の方向性	事業番号	事業名	担当課	進捗状況				
				R2	R3	R4	R5	R6
(1)障害のある子どもと保護者への支援	26	重度心身障害者福祉タクシー利用料等助成事業	障害福祉課	A	A	A	A	
	27	紙おむつ給付事業	障害福祉課	A	A	A	A	
	28	補装具の交付・修理	障害福祉課	A	A	A	A	
	29	日常生活用具支給	障害福祉課	A	A	A	A	
	30	生活サポート事業	障害福祉課	B	B	A	A	
	31	障害者週間における啓発事業	障害福祉課	A	A	A	A	
	32	障害児通所支援事業	障害福祉課	A	A	A	A	
	33	身体障害者・知的障害者等に係る援護等	障害福祉課	A	A	A	A	
	34	特別児童扶養手当の支給	障害福祉課	A	A	A	A	
	35	重度心身障害者医療費の助成	障害福祉課	A	A	A	A	
	36	障害児福祉手当	障害福祉課	A	A	A	A	
	37	障害児放課後児童クラブ事業	保育課	C	C	A	—	—
	38	育成保育事業	保育課	B	A	A	A	
	39	育み支援バーチャル支援センター事業 (発達障害児者支援体制)	健康づくり課	A	A	A	A	
	40	朝霞市障害児就学支援委員会専門員による就学相談	教育指導課	A	A	A	A	
	41	朝霞市はぐくみ補助金	生涯学習・スポーツ課	A	A	A	A	
(2)ひとり親家庭等の支援	42	ひとり親家庭への自立・生活支援事業	こども未来課	A	A	A	A	
	43	児童扶養手当の支給	こども未来課	A	A	A	A	
	44	ひとり親家庭等医療費の助成	こども未来課	A	A	A	A	
	45	母子生活支援施設入所	こども未来課	A	A	A	A	
(3)経済的困難を抱える家庭と保護者への支援	46	生活困窮者等学習支援事業	福祉相談課 こども未来課	A	A	A	A	
	47	生活保護進学準備給付金の支給	生活援護課	A	A	A	A	
	48	【No.42 再掲】 ひとり親家庭への自立・生活支援事業	こども未来課	A	A	A	A	
	49	【No.43 再掲】 児童扶養手当の支給	こども未来課	A	A	A	A	
	50	【No.44 再掲】 ひとり親家庭等医療費の助成	こども未来課	A	A	A	A	
	51	【No.45 再掲】 母子生活支援施設入所	こども未来課	A	A	A	A	
	52	官民の賃貸住宅ストックの活用の推進	開発建築課	A	A	A	A	
	53	小・中学校教育扶助事業	教育管理課	A	A	A	A	
(4)外国につながるのある子どもと保護者への支援	54	外国人世帯の支援	各課	B	B	B	B	
	55	多文化共生推進事業	地域づくり支援課	B	B	B	B	
	56	日本語指導支援員の配置	教育指導課	B	B	A	A	

基本方針1-3 地域の中の子どものために

施策の方向性	事業番号	事業名	担当課	進捗状況					
				R2	R3	R4	R5	R6	
(1)子どもの健全な成長を支える居場所づくり	57	児童館運営事業	こども未来課	B	A	A	A		
	58	都市公園、児童遊園地の充実	みどり公園課	B	B	A	A		
	59	冒険遊び場づくり事業(プレーパーク)	みどり公園課	B	A	A	A		
	60	学校体育施設の開放	生涯学習・スポーツ課	A	A	A	A		
	61	放課後子ども教室	生涯学習・スポーツ課	A	A	A	A		
	62	図書館における子ども向け事業	図書館	B	B	A	A		
(2)子ども同士の交流の機会の提供	63	【No.61 再掲】 放課後子ども教室	生涯学習・スポーツ課	A	A	A	A		
	64	市民総合体育大会、ロードレース大会、小学生スポーツ教室、ウォークラリー大会等の開催	生涯学習・スポーツ課	A	A	A	A		

基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち

基本方針2-1 すべての子育て家庭のために

施策の方向性	事業番号	事業名	担当課	進捗状況					
				R2	R3	R4	R5	R6	
(1)子育てを支える環境づくり ①情報提供の充実	65	【No.9 再掲】 民生委員・児童委員活動事業	福祉相談課	B	B	B	B		
	66	子育て情報の提供	こども未来課	B	A	A	A		
(1)子育てを支える環境づくり ②小児医療の確保と経済的な支援	67	難病患者見舞金 (小児慢性特定疾患患者を含む)	障害福祉課	A	A	A	A		
	68	こども医療費の助成	こども未来課	A	A	A	A		
	69	児童手当の支給	こども未来課	A	A	A	A		
	70	小児救急医療における朝霞地区4市との共同事業	健康づくり課	A	A	A	A		
	71	PTA連合会補助金	生涯学習・スポーツ課	A	A	A	A		
(2)家庭における子育て支援の充実	72	女性総合相談	人権庶務課	A	A	A	A		
	73	内職相談事業	産業振興課	C	C	C	C		
	74	あさか学習おとどけ講座	生涯学習・スポーツ課	A	A	A	A		
	75	家庭教育学級の支援	生涯学習・スポーツ課	A	A	A	A		
	76	家庭教育学級事業補助金	生涯学習・スポーツ課	A	A	A	A		
	77	家庭教育学級補助金	生涯学習・スポーツ課	A	A	A	A		
	78	子育て(育児)講座	中央公民館	C	B	A	A		
	79	ブックスタート事業	図書館	A	A	A	A		

(3)生まれる前から乳幼児期までの一貫した支援	80	【No.6 再掲】 子ども家庭総合支援拠点の整備	こども未来課	A	A	A	A	
	81	子育て電話相談	保育課	A	B	B	B	
	82	母子保健相談事業	健康づくり課	A	A	A	A	
	83	栄養相談事業	健康づくり課	A	A	A	A	
	84	妊婦健康診査	健康づくり課	A	A	A	A	
	85	母子健康教育事業	健康づくり課	A	A	A	A	
	86	乳幼児健康診査	健康づくり課	A	A	A	A	
	87	歯科保健事業	健康づくり課	A	A	A	A	
	88	各種予防接種の実施	健康づくり課	A	A	A	A	
	89	母子健康手帳交付事業	健康づくり課	A	A	A	A	
	90	未熟児養育医療費給付事業	健康づくり課	A	A	A	A	
	91	妊娠期からの包括的な子育て支援	健康づくり課	A	A	A	A	

基本方針2-2 地域における子育てのために

施策の方向性	事業番号	事業名	担当課	進捗状況					
				R2	R3	R4	R5	R6	
(1)子育てネットワークの充実	92	子育て支援センター事業	保育課	A	B	A	A		
	93	保育園園庭開放・いっしょに遊ぼう保育園で	保育課	B	A	A	A		
(2)子どもの健全育成の充実	94	青少年育成事業	こども未来課	A	A	A	A		
	95	朝霞地区青少年健全育成地域の集いの開催	教育指導課	C	C	C	—	—	
	96	朝霞市ふれあい推進事業	教育指導課	D	D	C	A		
(3)世代を超えた子育て支援の推進	97	農業体験事業	産業振興課	D	D	B	A		
	98	児童館における高齢者と児童の交流事業	長寿はつらつ課	D	B	A	A		

基本方針2-3 子どもの安心・安全のために

施策の方向性	事業番号	事業名	担当課	進捗状況					
				R2	R3	R4	R5	R6	
(1)子どもが犯罪・事故に巻き込まれない社会づくり ①子どもが犯罪に巻き込まれない社会づくり	99	防犯灯設置工事費補助金の交付	危機管理室	B	B	B	B		
	100	防犯灯維持管理費補助金の交付	危機管理室	B	B	A	B		
	101	広報による防犯啓発活動	危機管理室	A	A	A	A		
	102	朝霞防犯パトロール隊の認定	危機管理室	B	B	B	B		
	103	防犯ブザーの貸与	教育総務課	A	A	A	A		
	104	通学路の安全点検	教育管理課	A	A	A	A		
	105	朝霞市生徒指導委員会の開催	教育指導課	A	A	A	A		
	106	朝霞地区学校警察連絡協議会の開催	教育指導課	B	B	B	B		
	107	通学路等での定期・臨時パトロールの実施	教育指導課	A	A	A	A		
	108	非行防止教室の実施	教育指導課	A	A	A	A		

(1)子どもが犯罪・事故に巻き込まれない社会づくり ②子どもが交通事故に巻き込まれない社会づくり	109	道路区画線の工事	まちづくり推進課	A	A	A	A	
	110	交通立看板、警戒標識等の設置	まちづくり推進課	A	A	A	A	
	111	新入学児童への交通安全教育の実施	まちづくり推進課	D	A	A	A	
	112	保育園児、幼稚園児に交通ルールの指導	まちづくり推進課	A	A	A	A	
	113	交通安全運動チラシによる啓発活動	まちづくり推進課	B	A	A	A	
	114	自転車運転免許制度の実施	教育指導課	B	A	A	A	
(2)ユニバーサルデザインに配慮したまちづくり	115	すべての方が利用しやすい公共施設の整備	財産管理課	A	A	A	A	
	116	都市計画道路整備事業	まちづくり推進課	A	A	A	A	
	117	市道整備・道路管理の充実	道路整備課	A	A	A	B	
	118	学校施設に対する教室等の空気検査	教育管理課	A	A	A	A	

基本目標3 すべての子どもが質の高い教育・保育を受けるまち

基本方針3-1 教育・保育の充実のために

施策の方向性	事業番号	事業名	担当課	進捗状況				
				R2	R3	R4	R5	R6
(1)幼稚園、認定こども園、保育所、小規模保育事業等の充実 ①保育所、地域型保育給付施設の整備	119	保育事業	保育課	A	A	A	A	
	120	認可外保育施設等利用補助事業	保育課	A	A	A	A	
	121	家庭保育室補助事業	保育課	A	A	A	A	
(1)幼稚園、認定こども園、保育所、小規模保育事業等の充実 ②幼稚園の利用促進	122	幼稚園事業	保育課	A	A	A	A	
(2)放課後児童クラブの充実	123	放課後児童クラブ事業	保育課	A	A	B	B	

基本方針3-2 ライフスタイルに応じた子育て支援のために

施策の方向性	事業番号	事業名	担当課	進捗状況				
				R2	R3	R4	R5	R6
(1)多様なニーズにこたえる子育て支援の充実	124	子育て短期支援事業(ショートステイ事業)	こども未来課	A	A	A	A	
	125	ファミリー・サポート・センター事業	保育課	A	A	A	A	
	126	延長保育事業(時間外保育事業)	保育課	A	A	A	A	
	127	一時預かり事業	保育課	A	B	B	A	
	128	休日保育事業	保育課	A	A	A	A	
	129	病児保育事業	保育課	A	B	B	B	

基本方針3-3 教育・保育の質を高めるために

施策の方向性	事業番号	事業名	担当課	進捗状況				
				R2	R3	R4	R5	R6
(1)教育・保育に携わる人材の確保・資質向上	130	保育士研修事業	保育課	B	C	A	A	
	131	保育士等人材確保事業	保育課	B	C	A	A	
	132	小学校と幼稚園・保育所の連携	教育指導課	B	A	A	A	

朝霞市子ども・子育て支援事業計画

【関連事業】

進捗管理シート

(令和5年度事業)

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	1	部名	総務部	課名	人権庶務課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-1 子どもの人権の尊重のために				
施策の方向性	施策の方向性(1) 子どもを虐待やいじめ等の人権侵害から守るための体制強化 ①児童虐待予防と防止の取組				
事業名	DV相談事業				
事業概要	DV相談事業を年間を通じて実施する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	・DV相談の実施(火～日曜日 午前9時～午後5時) ※専門の相談員による相談は、火・水・金・土曜日 午前10時～午後4時 ・DV被害者緊急一時保護宿泊施設の借上げ ・DV対策関係機関ネットワーク会議の開催 ・配偶者暴力相談支援センター相談員及び女性総合相談員研修・交流会など 多岐にわたる相談内容について、関係機関を紹介する等、必要に応じて連携を図りながら、相談者に寄り添った支援を行った。				
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	DV専門相談による相談年間実施日数 204日 年間相談者数 313人		
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	相談内容は複雑化、複合化し多岐にわたるため、引き続き、相談窓口の周知をするとともに、関係機関等との連携を図りながら、必要な情報の提供などを通じて、相談者が安全安心に相談できる相談体制を充実させていく。				
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	令和6年4月より、「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」の施行に伴い、DV対策関係機関ネットワーク会議の構成機関に、危機管理室、開発建築課を加え、相談体制の充実を図るとともに、同会議を支援調整会議として位置づけ、適宜、個別事例検討会議を実施するなどして適切な相談者支援を行う。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート						
事業番号	2	部名	こども・健康部		課名	こども未来課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち					
基本方針	基本方針1－1 子どもの人権の尊重のために					
施策の方向性	施策の方向性(1) 子どもを虐待やいじめ等の人権侵害から守るための体制強化 ①児童虐待予防と防止の取組					
事業名	要保護児童対策地域協議会等を活用した児童相談事業					
事業概要	要保護児童の適切な保護、要支援児童若しくは特定妊婦への適切な支援を図るため、児童相談所をはじめとする関係機関で構成する「要保護児童対策地域協議会」のネットワークを活用。 関係機関で連携を図り、必要な支援につなげ、地域での見守りや緊急時の一時保護に対応するなど、児童相談を実施する。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	日頃より、関係機関と児童虐待対応に関する協力関係を構築するとともに、市への通告を受けて調査や対応方針の検討を行うなど、児童虐待の早期発見・早期対応を行った。 職員の専門性向上のため、埼玉県が開催する児童虐待対応研修へ参加するとともに、他機関や民間団体主催の研修にも積極的に参加した。 また、要保護児童対策地域協議会においても研修を実施し、関係機関職員を含めた資質の向上に努めた。					
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	令和5年度児童相談実績 児童虐待相談314人、養護相談(その他)293人、保健相談2人、発達障害相談2人、触法行為等相談1人、性格行動相談35人、不登校相談16人、育児・しつけ相談32人、その他相談244人 合計939人(福祉行政報告例第44表)			
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)						
推進に関する課題	関係機関との連携強化。 職員の資質向上及び増員。					
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続。 関係機関と児童虐待に関する共通認識を持ち、連携して対応するために、個別支援会議を積極的に開催する。 関係機関が連携して対応することの重要性について、要保護児童対策地域協議会で研修を開催する。 職員に積極的な研修参加を促し、資質向上を図る。					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント				

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート						
事業番号	3	部名	こども・健康部		課名	こども未来課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち					
基本方針	基本方針1－1 子どもの人権の尊重のために					
施策の方向性	施策の方向性(1) 子どもを虐待やいじめ等の人権侵害から守るための体制強化 ①児童虐待予防と防止の取組					
事業名	児童虐待防止に関する意識の普及啓発					
事業概要	児童虐待防止に関する広報啓発活動をすることで、児童虐待防止意識の高揚を図る。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	広報あさか11月号に児童虐待防止推進月間に関する記事を掲載し、意識啓発に努めた。児童虐待防止推進月間では、市役所1階市民ホールに、児童虐待防止に関するパネルを設置したほか、SNSを活用した啓発も実施した。 また、市内小中学校、県立高等学校の全校生徒に啓発物を配布し、子ども自身から助けを求めることについて広報し、児童虐待の早期発見に努めた。					
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	小中学生・高校生向け啓発物配布 13, 373枚 Twitter、Facebook掲載 市民配信メール、学校配信メール活用 保育園だより、学校だより掲載 児童虐待早期発見のため、関係機関向けに児童虐待通告に関する通知発送などにより、児童虐待に関して啓発することができた。			
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)						
推進に関する課題	予防的視点をもった広報啓発活動。					
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続。					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント				

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	4	部名	こども・健康部	課名	こども未来課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-1 子どもの人権の尊重のために				
施策の方向性	施策の方向性(1) 子どもを虐待やいじめ等の人権侵害から守るための体制強化 ①児童虐待予防と防止の取組				
事業名	里親制度の周知				
事業概要	児童虐待など、様々な事情により自宅で暮らせない子どもを預かり、保護者等に代わって子どもを育てる里親を確保するために、制度の周知を行う。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	毎年10月の里親月間にあわせて、市役所1階市民ホールに里親制度普及啓発のためのパネルを設置し、広報あさか10月号にも里親制度普及啓発に関する記事を掲載した。 埼玉県里親支援専門相談員連絡会の協力を得て、市役所1階市民ホールにて、里親制度PRのためのブースを設置し、来庁者に対して里親制度のPRを行った。里親制度について、市ホームページに掲載し、普及啓発に努めた。				
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	Twitter、Facebook掲載、里親制度PRパネル設置、広報あさかへの掲載などにより、里親制度を周知することができた。 令和5年度新規登録者数5世帯。		
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	広報啓発活動継続による、里親制度のより一層の理解。				
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続。 埼玉県里親支援専門相談員連絡会と連携した里親制度の広報を継続。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	5	部名	こども・健康部	課名	こども未来課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1－1 子どもの人権の尊重のために				
施策の方向性	施策の方向性(1) 子どもを虐待やいじめ等の人権侵害から守るための体制強化 ①児童虐待予防と防止の取組				
事業名	家庭児童相談事業				
事業概要	家庭における適切な児童の養育と、養育に関連して生じる様々な問題の解決を図るために「家庭児童相談室」を設置し、家庭における養育に関して相談を受け、専門的に助言・指導する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	相談者からの電話や来所相談への対応。 要保護児童対策地域協議会実務者会議、個別支援会議、病状調査などの参加。				
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	令和5年度家庭児童相談実績 虐待相談35人、養護相談(養育環境)187人、発達の遅れ・障害1人、性格行動308人、不登校38人、育児しつけ118人、その他90人、集団157人 合計934人		
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	保護者ばかりでなく、児童自身が気軽に相談できる相談窓口になるよう、広報啓発する。				
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート						
事業番号	6	部名	こども・健康部		課名	こども未来課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち					
基本方針	基本方針1ー1 子どもの人権の尊重のために					
施策の方向性	施策の方向性(1) 子どもを虐待やいじめ等の人権侵害から守るための体制強化 ①児童虐待予防と防止の取組					
事業名	子ども家庭総合支援拠点の整備					
事業概要	子どもとその家庭、妊産婦等を対象として、地域の実情の把握、相談対応、調査、継続的支援等を行う「子ども家庭総合支援拠点」を設置し、福祉、保健、医療、教育等の関係機関と連携した支援を行う。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	令和4年4月1日に子ども家庭総合支援拠点を設置し、運営を開始。 子育て包括支援センターと毎月連絡会議を開催し、特定妊婦や0歳児の家庭などを中心に養育が気になる家庭の情報を共有。出産前からの切れ目の無い支援について話し合い、連携して養育の支援を行った。					
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	令和5年度実績 連絡会議12回開催 (延べ人数) ハイリスク妊婦228人、特定妊婦136人、0歳～4か月の子ども468人、4か月～1歳7か月の子ども324人 合計1,156人			
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)						
推進に関する課題	職員の資質向上及び増員。 要保護児童対策地域協議会関係機関と連携した対応。					
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続。 連絡会議開催の継続。 要保護児童対策地域協議会関係機関と連携した対応。 リスクアセスメントシートを活用したリスク管理。					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント				

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	7	部名	こども・健康部	課名	こども未来課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-1 子どもの人権の尊重のために				
施策の方向性	施策の方向性(1) 子どもを虐待やいじめ等の人権侵害から守るための体制強化 ①児童虐待予防と防止の取組				
事業名	養育支援訪問事業				
事業概要	児童の養育が特に必要と判断した家庭に対して、助産師、ホームヘルパーなどがその居宅を訪問し、育児及び家事並びに養育に関する助言・指導等を行うことによって、支援対象家庭の養育が適切に行われるようにするもの。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	事業開始にあたり、支援対象家庭に関する支援計画を作成し、支援中には適宜要保護児童対策地域協議会実務者会議などで状況報告を行う。 こども未来課が主催する研修会への参加を促し、支援員の資質向上に努める。				
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	令和5年度実績 4世帯に導入。訪問回数合計44回。 養育支援、家事支援のため、保健師、助産師、ヘルパーによる訪問支援を行った。		
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	支援員の資質向上。 健康づくり課との連携による支援対象家庭の把握。				
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続。 支援員の増員。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート						
事業番号	8	部名	学校教育部		課名	教育指導課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち					
基本方針	基本方針1－1 子どもの人権の尊重のために					
施策の方向性	施策の方向性(1) 子どもを虐待やいじめ等の人権侵害から守るための体制強化 ①児童虐待予防と防止の取組					
事業名	虐待防止に関する教育相談の実施					
事業概要	関連機関との連携を図り、虐待等の相談を行う。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	校長の指導の下、生徒指導部・教育相談部が中心となり、担任、養護教諭、さわやか相談員、サポート相談員と協力し、児童生徒とのふれあいや個人面談、教育相談等の教育活動を通して早期発見・相談・支援にあたった。また、虐待が疑われる事案については、関係各課・関係機関に情報提供し、連携を図った。					
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	目標値等は特に定めていない。 日々の児童生徒とのふれあいを通して、虐待の早期発見に努め、教職員間の情報共有、関係各課・関係機関との連携を強化できている。			
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)						
推進に関する課題	教職員が虐待を早期発見するため、教育相談体制の充実を図る。					
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント				

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	9	部名	福祉部	課名	福祉相談課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-1 子どもの人権の尊重のために				
施策の方向性	施策の方向性(1) 子どもを虐待やいじめ等の人権侵害から守るための体制強化 ②子どもの人権尊重の仕組みづくり				
事業名	民生委員・児童委員活動事業				
事業概要	地域を見守り、地域住民の身近な相談相手、専門機関へのつなぎ役として活動する民生委員・児童委員への支援を行う。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	民生委員児童委員、市民児協及び地区民児協に対し、活動費及び運営費を補助することで、活動を促進し、地域社会の福祉増進を図った。 毎月、地区定例会及び会長連絡会を開催し、事例研究や情報交換を行うとともに、全委員を対象とした合同研修会を開催するなど、活動の支援を行った。				
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	B	事業の実施により得られた成果	・活動指標: 民生委員児童委員数 R5目標・計画 164人 R5実績 146人 ・成果指標: 民生委員・児童委員活動日数(延べ日数) R5目標・計画 14,400日 R5実績 11,472日		
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)	委員を退任された方が4名であったが、各地区の会長・副会長と協力して、4名の方を新たに委嘱することができた。また、新型コロナウイルス感染症の5類移行により、縮小していた福祉イベントへのボランティア協力活動等が戻りつつある。				
推進に関する課題	地域社会の福祉増進を図るため、民生委員児童委員の欠員補充に努める必要がある。				
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	10	部名	こども・健康部 学校教育部	課名	こども未来課 教育指導課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-1 子どもの人権の尊重のために				
施策の方向性	施策の方向性(1) 子どもを虐待やいじめ等の人権侵害から守るための体制強化 ②子どもの人権尊重の仕組みづくり				
事業名	いじめ防止に対する取組				
事業概要	いじめ防止及び解決を図るための基本事項を定め、いじめに対する必要な体制整備の検討を行う。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	朝霞市いじめ不登校対策会議で把握している不登校児童生徒に関する情報を共有するとともに、必要に応じて教育指導課や小中学校と連携し対応を図った。				
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	子どもの不登校などの状況に応じて、関係機関と連携し、児童相談対応を行った。		
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	各学校との連携強化、支援の役割分担。				
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	10	部名	こども・健康部 学校教育部	課名	こども未来課 教育指導課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-1 子どもの人権の尊重のために				
施策の方向性	施策の方向性(1) 子どもを虐待やいじめ等の人権侵害から守るための体制強化 ②子どもの人権尊重の仕組みづくり				
事業名	いじめ防止に対する取組				
事業概要	全朝霞市規模の組織を基盤に、各学校現場で、きめ細やかな対応を図り、特に「未然防止」「早期発見」「起きてしまったときの『事案処理』」ついて、重点的に取り組む。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	・毎月のいじめに関する調査及び報告の義務付け。 ・いじめに関する保護者アンケートの配布。 ・いじめ問題対策連絡協議会の開催。 ・いじめ問題専門委員会の開催。 ・朝霞市小・中学校生徒指導主任研修会の開催。 ・朝霞市小・中連携推進協議会の開催。 ・いじめ防止月間における各学校の重点的な取組。				
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	実施した事業を通して、学校と関係諸機関、庁内関係課との連携が強化され、関係全職員が組織的にいじめの防止、早期発見、早期対応にあたることができている。		
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)	現状の課題を踏まえ、改善すべき点を修正しながら、施策を1つ1つ着実に進めることができているため。				
推進に関する課題	いじめ発生時の保護者対応をはじめとした具体的な事例研修、いじめ重大事態に関する法令等の確認等を行い、組織的にいじめの防止・発見・解決を図る。				
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	11	部名	こども・健康部	課名	保育課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1－1 子どもの人権の尊重のために				
施策の方向性	施策の方向性(1) 子どもを虐待やいじめ等の人権侵害から守るための体制強化 ②子どもの人権尊重の仕組みづくり				
事業名	施設における人権擁護等の体制整備				
事業概要	保育所等における子どもの人権を守るため、苦情を受け付ける窓口の設置を義務とし、周知を図る。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	朝霞市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例で保育所、認定こども園及び地域型保育事業者(小規模保育施設等)に対して、運営規定に虐待防止の措置について定めることや苦情を受け付けるための窓口の設置を義務づけている。				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	B	事業の実施により得られた成果	全施設が苦情処理の仕組みを保護者に周知している。		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)	各施設において、苦情等の受付に係る体制等は整ってきており、保護者への周知等を図っている状況である。				
推進に関する課題	第三者による苦情体制を導入する施設の拡大。				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続に加え、第三者による苦情体制の導入拡大に向けて、引き続き周知していく。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	12	部名	市長公室 学校教育部	課名	市政情報課 教育指導課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-1 子どもの人権の尊重のために				
施策の方向性	施策の方向性(2)子どもの意見や視点の尊重				
事業名	朝霞“未来・夢”子ども議会				
事業概要	次代を担う子どもたちが、市議会の仕組みなどについて実体験を通して学ぶことにより、市政に対する理解と関心を深めるとともに、子どもたちからの提言や意見を市政の参考とするため、子ども議会を開催する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	市内の各小・中学校から、子ども議員を選出してもらう。選出された子ども議員は、市政に関する意見等を一般質問として発表し、それに対して市長又は教育長が答弁する。 開催にあたり、日程が学校や保育園等の行事と重ならないよう調整した。また、子ども議員の意見がより効果的に伝わるよう、質問の際にタブレット端末を使用し資料を投影できるようにした。				
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	・令和5年度活動指標 子ども議会開催回数: 目標・計画1回、実績1回 ・令和5年度成果指標 一般質問数: 目標・計画26件、実績26件		
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	子ども議会の当日に実施したアンケートで、開催時間が長いとの回答が多かった。				
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	リハーサルや会議の運営方法を工夫し、当日の時間短縮を図る。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	12	部名	市長公室 学校教育部	課名	市政情報課 教育指導課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-1 子どもの人権の尊重のために				
施策の方向性	施策の方向性(2)子どもの意見や視点の尊重				
事業名	朝霞“未来・夢”子ども議会				
事業概要	次代を担う子どもたちが、市議会の仕組みなどについて実体験を通して学ぶことにより、市政に対する理解と関心を深めるとともに、子どもたちからの提言や意見を市政の参考とするため、子ども議会を開催する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	市内の各小・中学校から、子ども議員を選出してもらう。選出された子ども議員は、市政に関する意見等を一般質問として発表し、それに対して市長、教育長のいずれかが答弁する。				
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	・令和5年度活動指標 子ども議会開催回数: 目標・計画1回、実績1回 ・令和5年度成果指標 一般質問数: 目標・計画26件、実績26件		
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	子ども議会の開催時期は例年学校や保育園等でも行事が行われるため、関係機関と調整を図りながら開催するとともに、子ども議員の意見がより効果的に伝わるよう質問方法などを工夫する。				
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	令和6年度は現行事業を継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	13	部名	学校教育部	課名	教育指導課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-1 子どもの人権の尊重のために				
施策の方向性	施策の方向性(2) 子どもの意見や視点の尊重				
事業名	「特別の教科 道徳」の推進				
事業概要	「特別の教科 道徳」の教科かに伴い、年間指導計画に基づいて教科書を確実に活用して児童生徒の学びを深める。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	・年間指導計画に沿って、教科書を確実に活用しながら道徳授業が実施されるよう指導計画の確認、評価方法の指導について、学校訪問や道徳推進教師・道徳主任研修会の開催等を通じて支援を行った。 ・朝霞第五中学校が、埼玉県教育委員会から「道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業」の委嘱を受け、全職員で研修に取り組んだ。(令和4・5年の2年間)				
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	・目標値等は定めていない。		
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	・年間指導計画において、教科書を用いての明確な学びの位置づけと別葉の確実な作成・活用を行う。また、適切な評価についても、全教員が実施できるようにする。				
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	14	部名	学校教育部	課名	教育指導課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-1 子どもの人権の尊重のために				
施策の方向性	施策の方向性(2)子どもの意見や視点の尊重				
事業名	カウンセリングの実施				
事業概要	虐待、いじめ、不登校、悩みを抱える子ども等に対してカウンセリングを実施する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	・市内全小中学校にスクールカウンセラーを配置した。 ・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、子ども相談室(教育相談員、専門家によるカウンセリング)、さわやか相談室(さわやか相談員、サポート相談員)等を活用し、児童生徒及び保護者等の相談に応じる体制を整えた。				
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	・目標値等を定めていない。 ・児童生徒の抱える悩みや問題を年々複雑化、多様化しており、教師だけでは対応できない相談に対し、適切に耳を傾け、必要に応じて関係機関と連携を図ることで状況の改善につなげることができた。 ・専門的な知識や経験のある教育相談員等の活動が着実に進んでいる。		
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	・子どもの心のケアを行う専門的な研修を実施すること。 ・学校や関係各課・関係機関との適切な連携を図ること。 ・要望や業務量に対して、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの勤務日数が少ないこと。 ・教育相談に関する教職員自身のスキルアップを図ること。				
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート						
事業番号	15	部名	学校教育部		課名	教育管理課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち					
基本方針	基本方針1－1 子どもの人権の尊重のために					
施策の方向性	施策の方向性(3) 子どもの生きる力を育成する学校教育環境の充実					
事業名	中学校自由選択制度					
事業概要	通学区域の弾力的な運用を図ることにより、中学校を自由に選択できることで生徒一人ひとりに「生きる力」を育む教育環境の充実を図る。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	・周知を図るために、パンフレットを配付(小学6年生) ・YouTubeによる制度説明会を開催し、保護者からの申込みについても紙または電子での受付けとした。 ・定員を設けて申込みを受付けし、定員を超えるときは、学校と協議のうえ抽選の有無について決定する。なお、抽選は公開抽選によるものとする。					
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	通学区域の弾力的な運用を図り、生徒一人ひとりに「生きる力」を育む教育環境の充実を図ることができた。			
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)						
推進に関する課題	今後の生徒数を見込みつつ、また、各中学校の保有教室数を超過することがないように、適切な募集定員を決定する必要がある。					
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	・小学校6年生にパンフレットを配付するとともに、学校メールの活用により、申込み漏れがないよう周知を図る ・電子による制度説明会及び申込受付を毎年実施する。 ・保有教室数と将来推計から、募集定員を慎重に決定する。 ・申込人数が定員を超過したときには、学校と協議のうえ抽選の有無について決定する。なお、抽選を実施する際にも協議のうえ、適切な人数を許可する。					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント				

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート						
事業番号	16	部名	学校教育部		課名	教育管理課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち					
基本方針	基本方針1－1 子どもの人権の尊重のために					
施策の方向性	施策の方向性(3) 子どもの生きる力を育成する学校教育環境の充実					
事業名	朝霞第五中学校特認校制度					
事業概要	・小規模校の活性化を図るため、市内すべての小学校から朝霞第五中学校へ通学できるよう特認校制度を設ける。 ・県費負担教職員に加え、教科支援員の活用により、教育の充実を図る。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	・周知を図るために、リーフレットを配付(小学6年生、中学校1・2年生) ・YouTubeによる制度説明会を開催する。 ・教科支援員との少人数指導(数学・英語)を全学年、全学級で実施。 ・ステップアップ教室の実施。					
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	・リーフレットの配布及びYouTubeによる制度説明会を実施することで、周知を図ることができた。 ・個の能力に応じて、きめ細やかな指導を実施できた。 ・個の特性を生かした生徒指導を推進している。			
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)						
推進に関する課題	年度当初に限り、特認校制度として募集しているが、年度途中の希望や転入者への取り扱いについて、引き続き検討する必要がある。					
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	・リーフレットの配布やYouTubeでの制度説明会など、周知の徹底を継続的に取り組む。 ・教職員の共通理解による生徒指導の充実を継続的に取り組む。 ・ステップアップ教室の開催や部活動の外部指導者による指導を継続して行う。					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント				

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	17	部名	学校教育部	課名	教育指導課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-1 子どもの人権の尊重のために				
施策の方向性	施策の方向性(3)子どもの生きる力を育成する学校教育環境の充実				
事業名	先進校・研究推進校への視察				
事業概要	市内小・中学校を対象に研究開発学校を指定する。研究領域は、各教科等学校教育全般とする。委嘱期間は2年間とし、研究発表時に市内の小中学校教職員が参加し、研究成果を共有する。市内各小・中学校を対象に校内研修を助成する。教員経験年数の5年以上10年未満の教員を対象として指導力向上を目的に、教育奨励費を支給し主体的な研究を支援するとともに、全体研修を行う。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	研究開発学校を指定したり、各学校の校内研修を助成したりすることで、研究を奨励し、本市教育の充実と発展を図った。 教育研究奨励費受給者に、一人当たり20千円、総額160千円の教育研究奨励費を支給し、1年の期間において、各自が設定したテーマに基づいて研修を行った。				
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	・各校における研修は活発に行われ、その成果は市内小中学で共有することができた。		
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	・教育奨励費受給者の対象者および推薦者の減少				
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート						
事業番号	18	部名	学校教育部		課名	教育指導課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち					
基本方針	基本方針1－1 子どもの人権の尊重のために					
施策の方向性	施策の方向性(3)子どもの生きる力を育成する学校教育環境の充実					
事業名	あさか・スクールサポーターの活用					
事業概要	小学校3学年から6学年まで並びに中学校の通常学級における学級担任及び教科担任の補助として、児童生徒の学習指導の業務に従事し、学習内容の基礎基本の徹底を図る。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	・月曜日～金曜日の1日4時間、児童生徒の学習指導にあたる。 ・小学校10校に11名、中学校5校に6名、合計17名を配置した。(朝霞四小、朝霞一中に2名配置)					
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	B	事業の実施により得られた成果	各学級に計画的に配置し、支援することで、一人一人の子どもの学力を保障することができた。			
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)	4月に17名を配置したが、年度の途中で退職される職員がでて、後任を補充した。					
推進に関する課題	・ 学校が活用したい教科と、サポーターの指導できる教科のバランスが必要となる。					
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント				

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート						
事業番号	19	部名	学校教育部		課名	教育指導課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち					
基本方針	基本方針1－1 子どもの人権の尊重のために					
施策の方向性	施策の方向性(3)子どもの生きる力を育成する学校教育環境の充実					
事業名	球技大会、陸上競技大会等の実施					
事業概要	体育授業の成果発表の場と学校間交流のため、市内の全小学校6年児童を参加対象とした陸上競技大会を実施する。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	球技大会は令和3年度以降の廃止決定。陸上競技大会は規模を縮小して午前中に実施。 種目は80m、100m、60mハードル、走り幅跳び、走り高跳び、ソフトボール投げ、800m(女子)、1000m(男子)を実施。					
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	B	事業の実施により得られた成果	目標値等は定めていない 継続			
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)	運営の中心となる各小学校体育主任の入れ替えが多々あったものの、引継ぎが適切に行われ、円滑に実施できた。					
推進に関する課題	・ 天候不良の際の実施判断と予備日の設定。 ・ 各学校の学校行事との調整。					
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント				

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	20	部名	学校教育部	課名	教育指導課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-1 子どもの人権の尊重のために				
施策の方向性	施策の方向性(3)子どもの生きる力を育成する学校教育環境の充実				
事業名	学校総合体育大会、新人体育大会等の実施				
事業概要	・市内中学校部員が参加、運動部の朝霞地区予選は6月下旬と10月上旬に実施している。 ・競技によっては全国大会や関東大会に出場するなど、良い結果を多く残している。 ・ガイドラインを作成し、適切な活動時間や休養日の設定など、教師と生徒の負担を軽減し、効果的な部活動が実施されるよう指導している。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	5月に新型コロナウイルス感染症の扱いが5類に移行し、制限が解除され、通常通りの形態で実施された。				
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	B	事業の実施により得られた成果	目標値等は定めていない 継続		
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)	中学校体育連盟と連携を図りながら、実施の可否について適切な判断をすることができた。				
推進に関する課題	・各学校で、生徒の健康面や教員の休養等について配慮し、部活動における練習日数や練習時間を設定すること。 ・部活動の地域移行を見据えた休日部活動の実施及び指導員の確保。				
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	21	部名	学校教育部	課名	教育指導課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-1 子どもの人権の尊重のために				
施策の方向性	施策の方向性(3) 子どもの生きる力を育成する学校教育環境の充実				
事業名	朝霞市地域人材活用支援事業				
事業概要	理科支援員を配置し、小学校4学年から6学年までの理科の授業において、観察・実験の実施支援、準備・片付け、計画立案、教材開発、助言・提案等を行い、児童並びに教職員の実験技能の向上、基礎・基本的知識の徹底を図る。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	・月曜日～金曜日の1日3時間程度、1校につき年間20回、児童並びに教員の支援、指導にあたる。 ・小学校10校に対して、6名を配置している。(おおむね担当校2校)				
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	B	事業の実施により得られた成果	各支援員の高度な知識と経験により、児童、教職員ともに授業・学習内容が充実し、基礎基本の定着、実験時の安全が図れている。		
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)	1校のみ募集後に辞退したため、その後採用に時間がかかり、2学期後半以降の支援開始となってしまったため。				
推進に関する課題	・学習内容を考慮して配置することが必要であり、活用が2学期に集中することによる各小学校間の調整。 ・総実験回数に対する活用回数の制限（年間20回）。				
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	22	部名	学校教育部	課名	教育指導課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-1 子どもの人権の尊重のために				
施策の方向性	施策の方向性(3)子どもの生きる力を育成する学校教育環境の充実				
事業名	学校保健委員会の実施・充実				
事業概要	・保護者や教職員（管理職・養護教諭等）、学校医・学校歯科医・学校薬剤師などがメンバーとなり、児童生徒の健康や体力に関する現状や課題について共通理解を図る。 ・課題を克服するための手立てや方策等について、話し合いをする。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	・各学校、自校の児童生徒の健康体力に関する共通理解を図り、健康や体力の保持・増進のための具体的な方策について考える会議や講演会等を年1～3回実施。 ・朝霞市保健主事会、養護教諭研究協議会を通して、各校の内容を充実させる。				
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	目標値等は定めていない 継続		
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	新型コロナウイルス感染症の影響で児童生徒の体力低下が懸念される。運動の本質的な楽しさを味わわせる体育授業と家庭における基本的生活習慣の確立を柱として、健康の保持増進と体力を維持し、向上させるため、自校の取組に生かすように、各校の学校保健委員会の実施回数や内容について情報交換をしていく必要がある。				
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	23	部名	学校教育部		課名 教育指導課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1－1 子どもの人権の尊重のために				
施策の方向性	施策の方向性(3)子どもの生きる力を育成する学校教育環境の充実				
事業名	朝霞市小学校低学年複数担任制事業				
事業概要	小学校1 学年及び必要に応じて小学校2 学年の通常学級において、児童の学校生活への支援、学習指導、生徒指導を実施するため、学級担任の補助に従事する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	・小学校10校に27名を配置した。(朝霞第一小学校、朝霞第四小学校、朝霞第九小学校には2名、それ以外の学校には3名を配置) ・月曜日～金曜日の課業日に、1日4時間、児童の学習指導に当たった。				
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	・活動指標 あさか・スクールサポーター、小学校低学年補助教員派遣人数 目標・計画 44名、実績 44名 (年間課業日 203日) ・成果指標 あさか・スクールサポーター、小学校低学年補助教員派遣日数 目標・計画 8,800日 ほぼ目標通りの実施となった。		
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	配置人数など、学校のニーズや状況に合わせて見直しを検討する。				
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	24	部名	学校教育部	課名	教育指導課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-1 子どもの人権の尊重のために				
施策の方向性	施策の方向性(3)子どもの生きる力を育成する学校教育環境の充実				
事業名	社会体験チャレンジ事業				
事業概要	生徒の進路意識の高揚を図るため、社会体験チャレンジ事業（地域で3日間の職場体験活動）を行う。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	市内中学1年生が3日間にわたり、各事業所で職業体験を行う。				
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	・活動指標 担当者会議 目標・計画 1回、実績 1回 参加中学校数 目標・計画 5校、実績 5校 ・成果指標 参加人数 目標・計画 1,000人、実績1057人 協力事業所数 目標・計画 300社、実績 334社		
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	中学生職場体験活動における中学生の受け入れに協力していただける事業所を安定して確保することが難しい				
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート						
事業番号	25	部名	学校教育部		課名	教育指導課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち					
基本方針	基本方針1－1 子どもの人権の尊重のために					
施策の方向性	施策の方向性(3) 子どもの生きる力を育成する学校教育環境の充実					
事業名	保健体育科、家庭科、道徳等の授業で知識の習得					
事業概要	男女で協力して、家庭を築くこと、子どもを産み育てることの意義を理解するための教育を行う。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	・各学校の実態に応じ、年間指導計画に基づいて実施した。 ・各校の食育に活用できるように、リーフレット「あさかを食べる」を作成し、各校の食育の取組を紹介するとともに、バランスの良い食事についてのアドバイスや朝食の欠食率についてまとめ、家庭に周知している。					
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	B	事業の実 施により 得られた 成果	・目標値等は定めていない。 ・継続			
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が 変わった又はA以外の評 価が連続している場合の み記載)	・リーフレット「あさかを食べる」の発刊が3月末となってしまったため。					
推進に関する課題	・児童生徒の発達段階に応じた指導の工夫が必要である。 ・リーフレット「あさかを食べる」を保護者へも周知を行えるようにする。					
令和6年度以降の具体的 取り組み (どんなことを予定して いるか)	・体力向上に関して、各学校の体力向上の取組を、学期ごとにまとめ、学校間で情報を共有できるようにする。 ・「あさかを食べる」について、紙面での作成、配布は行わず、各校において作成したものを学校間で情報共有し、食育の取組を紹介することにする。保護者にも電子データの配布を行えるようにする。また、バランスの良い食事についてのアドバイスや朝食の欠食率についてまとめたデータを各学校に送付し、指導に活かせるようにしていく。					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント				

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	26	部名	福祉部	課名	障害福祉課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-2 特別な配慮が必要な子どものために				
施策の方向性	施策の方向性(1)障害のある子どもと保護者への支援				
事業名	重度心身障害者福祉タクシー利用料等助成事業				
事業概要	重度の障害のある人・児童の生活圏の拡大と社会参加の促進を図るため、福祉タクシー券、バス・鉄道共通カード、自動車燃料費の中から選択制により利用料金を助成する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	身体障害者手帳1、2級、肢体不自由の下肢3級、療育手帳○A、A、B、精神障害者保健福祉手帳1、2級の手帳所持者に対して、福祉タクシー券、バス・鉄道共通カード、自動車燃料費の中から選択制により助成すること。福祉タクシー券については年間30枚の利用券を利用者からの請求に基づき交付すること。				
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	障害のある人の生活を支援するため、福祉タクシー利用券の交付などの交通費の助成等を行い、障害のある人の社会参加を推進することができた。		
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	特になし				
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	福祉タクシー券について、令和4年度までは1回の乗車につき1枚(初乗り運賃相当)のみの利用であったが、令和5年度より1回の乗車につき2枚まで(初乗り運賃の2倍以上の料金となった場合に限る)利用可能となる。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	27	部名	福祉部	課名	障害福祉課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-2 特別な配慮が必要な子どものために				
施策の方向性	施策の方向性(1)障害のある子どもと保護者への支援				
事業名	紙おむつ給付事業				
事業概要	在宅の重度心身障害児（者）に紙おむつを給付することにより、経済的な援護、障害者の衛生維持及び介護者の日常の介護活動の援助を図る。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	在宅の3歳以上64歳未満の重度心身障害者(身体障害者1、2級 知的障害者○A、A)で、おむつを必要とする方に、市が指定したおむつの組み合わせの中から利用者が選択したものを毎月自宅へ配送する。 前年度まで課題となっていた財政負担の軽減について、他制度の紙おむつ支給事業との重複利用を廃止する等、制度の見直しを実施し、効果的な財政的負担軽減策に取り組んだ。				
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	障害のある人の生活を支援するため、希望に応じた紙おむつを支給することにより、介護活動において経済的な負担を軽減することができた。 制度の見直しを行い、令和4年度から下記のとおりとした。 ①他制度の重複受給を廃止（他制度: 日生具、生保、高齢者） ②所得制限(受給者本人の市民税所得割額33,000円未満対象) ③年齢制限(3歳以上から65歳未満)		
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	物価高騰により紙おむつ支給に要する費用が値上がりしている。本事業は市単独事業であるため、引き続き財政的なコスト負担が課題である。				
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	広報等で制度の周知を図り、現行事業を継続する。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	28	部名	福祉部	課名	障害福祉課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-2 特別な配慮が必要な子どものために				
施策の方向性	施策の方向性(1)障害のある子どもと保護者への支援				
事業名	補装具の交付・修理				
事業概要	身体障害者手帳の交付を受けている方に対し、日常生活の不自由さを補って、日常生活を容易にするために補装具の交付と修理を行う。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	身体障害者(児)で、車いすや装具、補聴器等の補装具が必要な方に対して、交付及び修理の支給決定を行う。18歳未満の場合、原則医療機関の意見書をもとに支給の判断を行う。				
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	令和5年度の支給実績 交付:94件(うち、18歳未満の交付件数は30件) 修理:47件(うち、18歳未満の修理件数は9件)		
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	特になし				
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画　《次世代育成支援行動計画：関連事業》　進捗管理シート						
事業番号	29	部名	福祉部		課名	障害福祉課
基本目標	基本目標1　すべての子どもがすくすく育つまち					
基本方針	基本方針1－2　特別な配慮が必要な子どものために					
施策の方向性	施策の方向性(1)障害のある子どもと保護者への支援					
事業名	日常生活用具支給					
事業概要	在宅重度心身障害者（児）の日常生活の便宜と社会適応性を図るための用具を給付する。					
具体的な事業内容 （どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか）	在宅重度心身障害者（児）に対してネブライザー（吸入器）や電気式たん吸引機等、日常生活支援用具が必要な方に対し、用具の給付を行う。					
施策の進捗状況と成果 （令和5年度） 自己評価ランク A：着実に進捗している B：ある程度進捗している C：進捗が順調でない D：進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	令和5年度給付実績 給付件数42件（うち18歳未満の給付件数7件） ※ストマ、紙おむつを除く			
自己評価ランクの理由 （令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載）						
推進に関する課題	特になし					
令和6年度以降の具体的な取り組み （どんなことを予定しているか）	基本的には現行事業の継続。 総合支援法に基づく補装具費給付事業と併せて、利用者負担額に関する負担上限額の所得区分上限を設定し、市町村民税所得割の最多納税者の納税額が46万円以上の場合は給付対象外とする。					
子ども・子育て会議 進捗状況　確認欄 （令和5年度） A：着実に進捗している B：ある程度進捗している C：進捗が順調でない D：進捗していない		コメント				

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	30	部名	福祉部	課名	障害福祉課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-2 特別な配慮が必要な子どものために				
施策の方向性	施策の方向性(1)障害のある子どもと保護者への支援				
事業名	生活サポート事業				
事業概要	障害のある人・児童やその家族の方々の地域での暮らしを支援するため、市に登録された民間団体が提供する外出、送迎などサービスに要する費用を補助し、福祉の向上及び介護者の負担軽減を図る。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	各種障害者手帳所持者等に対して、申請に応じて、生活サポート事業利用者票を交付し、登録団体におけるサービス利用の際の自己負担額の一部を補助する。18歳未満の方については、所得に応じた自己負担の軽減を行う。				
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	登録団体において、迅速・柔軟なサービスを提供し、障害者及びその家族の地域生活を支援し、障害者の福祉の向上することができた、また、自己負担額の一部を補助することにより、利用者の負担軽減を図ることができた。		
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	特になし				
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	31	部名	福祉部	課名	障害福祉課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-2 特別な配慮が必要な子どものために				
施策の方向性	施策の方向性(1)障害のある子どもと保護者への支援				
事業名	障害者週間における啓発事業				
事業概要	障害者週間は、障害のある方の福祉について国民の関心と理解を深めるとともに、障害のある方が社会、経済、文化そのほかあらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めるために国によって定められたもので、障害者週間（12/3～12/9）に市内において啓発事業を実施することにより、障害のある人への理解を促進します。その一環として、市内公共施設において、障害のある人が作成した作品や市内障害福祉施設の活動内容等を展示する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	・障害者週間(12/3～12/9)に、朝霞市立図書館分館(産業文化センター)にて、市内の障害福祉施設の日頃の活動の様子や作品、障害福祉に係る啓発資料を展示。				
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	前年は朝霞市立図書館本館でパネル展を実施したが、令和5年度は産業文化センターで行ったことで、広範囲の地域で展示を見ていただくことができたことにより、障害者への理解促進に成果があったと思われる。		
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	まだ未開催の地域でのパネル展示を検討していきたい。				
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	32	部名	福祉部	課名	障害福祉課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-2 特別な配慮が必要な子どものために				
施策の方向性	施策の方向性(1)障害のある子どもと保護者への支援				
事業名	障害児通所支援事業				
事業概要	未就学の集団療育及び個別療育を行う必要があると認められる児童が通所し、日常生活における基本動作の指導、集団生活への適応のための訓練などを行う児童発達支援や、小学校1年生から高校3年生までの障害のある児童に対し、放課後や学校の休日において、生活能力向上のための訓練等を継続的に提供し、障害のある児童の自立を促進し、放課後等の居場所づくりを行う放課後等デイサービスを提供する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	通所に関する相談を受けること。 通所に必要な受給者証を発行すること。				
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	令和5年度利用者実人数 1,016人(児童発達支援 394人、放課後等デイサービス 458人、保育所等訪問支援 163人、居宅訪問型児童発達支援 1人)		
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	特になし				
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	33	部名	福祉部	課名	障害福祉課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-2 特別な配慮が必要な子どものために				
施策の方向性	施策の方向性(1)障害のある子どもと保護者への支援				
事業名	身体障害者・知的障害者等に係る援護等				
事業概要	ケースワーカーにより、身体障害者手帳・療育手帳に関する相談・援護を行う。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	・身体障害者手帳や療育手帳の取得等についての相談を受け、聞き取りを行うこと。 ・身体障害者手帳所持者に交付される補装具の給付に係る県の判定への同行をすること。 ・療育手帳取得に際し、県の判定への同行をすること。				
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	障害者手帳の取得等が必要な方に対し、制度に関する説明を丁寧に行い、適切な判断をした上で相談や援護を行っている。		
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	障害者手帳を取得することに対して、抵抗のある方がいるため、取得を検討している方や周りの方の障害者に対する理解を深める必要がある。				
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	障害者手帳の取得に対する偏見をなくし、障害者手帳が必要な方が積極的に取得できるように、引き続き周知するように努める。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	34	部名	福祉部	課名	障害福祉課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-2 特別な配慮が必要な子どものために				
施策の方向性	施策の方向性(1)障害のある子どもと保護者への支援				
事業名	特別児童扶養手当の支給				
事業概要	精神または身体に一定の障害がある 20 歳未満の子どもを育てている方のうち、主として生計を維持する方への経済的支援を図るため、手当を支給する。 ※国の事業（受付窓口は市町村）				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	身体等に一定の障害のある20歳未満の子どもに障害の程度に応じて、令和5年度は月額53,700円(1級)または月額35,760円(2級)を支給する。				
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	手当を適切に支給することにより、障害のある子どもを育てている保護者の経済的負担の軽減を図ることができた。 ※国の事業のため、市の歳出は無し。 ※特別児童扶養手当に係る事務費委託金の歳入あり(R5年度決算額530,245円)。		
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	特になし				
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート						
事業番号	35	部名	福祉部		課名	障害福祉課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち					
基本方針	基本方針1－2 特別な配慮が必要な子どものために					
施策の方向性	施策の方向性(1)障害のある子どもと保護者への支援					
事業名	重度心身障害者医療費の助成					
事業概要	重度心身障害者やその家庭に対して、経済的負担を軽減し、福祉の増進を図るため、医療費の一部を助成する。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する 対応はどうだったのか)	<対象者> 1. 身体障害者手帳1～3級 2. 療育手帳㊤、A、B 3. 精神障害者手帳1級 4. 次の①、②のいずれの場合にも該当する方 ①次のa～cのいずれかに該当する手帳等の交付を65歳未満で受けている場合で、後期高齢者医療保険制度の障害認定を受けた場合 a)身体障害者手帳4級のうち、音声機能又は言語障害、下肢機能障害(一部) b)精神障害者保健福祉手帳2級 c)障害基礎年金1・2級の証書 ※平成31年1月1日以降に受給資格が発生した方(以下、「新規資格取得者」)は、10月1日から翌年9月30日までの受給資格について、本人の所得(未成年者についても同様)による審査を毎年実施する。それより前に受給資格が発生した方については、経過措置として、所得の多寡に関わらず令和4年9月30日まで受給資格を継続する。令和4年10月1日以降については、全資格取得者に本人の所得による審査を実施する。 <助成内容> 保険診療に係る自己負担額。住民税非課税世帯の対象者については、入院時食事療養標準負担額を平成28年4月診療分から助成。 令和4年10月診療分から、現物給付による窓口払い不要の対象地域を埼玉県内の医療機関に拡大。あわせて、現物給付の対象に入院を追加(上限金額の設定あり。)					
施策の進捗状況と成果 (令和5年度)	A	事業の実施により得られた成果	障害を持った子どもの医療費を助成することにより、障害を持った子どものいる家庭の経済的負担の軽減につながった。			
自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない						
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合の)						
推進に関する課題	特になし					
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント				

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	36	部名	福祉部	課名	障害福祉課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-2 特別な配慮が必要な子どものために				
施策の方向性	施策の方向性(1)障害のある子どもと保護者への支援				
事業名	障害児福祉手当				
事業概要	身体又は精神（知的）の重度の障害により、日常生活において常時の介護を必要とする状態にある20 歳未満の方に対し負担の軽減を図るため、手当を支給する。※国の事業（認定、支払い等の処理は市区町村）				
具体的な事業内容 （どんなことを実施したか また、前年度における推 進に関する課題に対する 対応はどうだったのか）	20歳未満で、身体等に著しく重度の障害があるため、常時特別な介護を必要とする 方に令和5年度は月額15,220円を支給する。				
施策の進捗状況と成果 （令和5年度） 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実 施により 得られた 成果	手当を適切に支給することにより、障害のある方の経済的負担の 軽減を図ることができた。 対象者数:68人、支給額:9,248,310円。 ※特別障害者手当等給付費国庫負担金の歳入あり(R5年度決 算額24,382,185円)。		
自己評価ランクの理由 （令和4年度と自己評価が 変わった又はA以外の評 価が連続している場合の み記載）					
推進に関する課題	特になし				
令和6年度以降の具体 的取り組み （どんなことを予定して いるか）	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 （令和5年度） A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	38	部名	こども・健康部	課名	保育課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-2 特別な配慮が必要な子どものために				
施策の方向性	施策の方向性(1)障害のある子どもと保護者への支援				
事業名	育成保育事業				
事業概要	育成事業を通じて、保育園等で障害のある子どもの保育を行う。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推 進に関する課題に対する 対応はどうだったのか)	心身の障害にかかわらず、こどもたちが保育園において、ともに育ちあうなかで、安全で健やかな生活できる統合保育の実施。また、上半期と下半期に一度ずつ、障害児童の在籍する保育園において、園児、担任保育士に対するカウンセリングを行う。利用者数の増加に対しては、受入に向けて施設と調整を行うとともに、受け入れ施設に対して、「障害児保育対策事業」として補助金を交付し、施設が受入しやすくなるよう支援を行った。				
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実 施により 得られた 成果	<育成保育対象> 年間利用児童数 22人 受入施設数 11施設(公設のみ) <加配保育対象> 年間利用児童数 125人 受入施設数 43施設(居宅訪問型1事業含む)		
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が 変わった又はA以外の評 価が連続している場合の み記載)					
推進に関する課題	利用者数の増加				
令和6年度以降の具 体的取り組み (どんなことを予定して いるか)	巡回相談を中心にこれまでの取り組みを継続する。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート						
事業番号	39	部名	こども・健康部		課名	健康づくり課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち					
基本方針	基本方針1ー2 特別な配慮が必要な子どものために					
施策の方向性	施策の方向性(1)障害のある子どもと保護者への支援					
事業名	育み支援バーチャル支援センター事業(発達障害児者支援体制)					
事業概要	育み支援バーチャルセンターを設置し、発達に関して気がかりがある児の療育支援のため、専門スタッフ（小児科医、心理相談員等）と地域スタッフにより、巡回相談や来所型での専門相談、親子グループ等での指導や助言を行う。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	○市内の保育園、幼稚園、小中学校への巡回相談による助言・指導の実施。 ○年12回の医師による相談、年30回の心理相談員による相談・検査、運動発達面を促す親子グループを年11回、2つの親子グループを年に各24回ずつ実施するほか、市民向け研修会や支援体制整備会議を開催。					
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	巡回相談回数:目標16回 令和5年度実績 13回 巡回相談件数:目標80件 令和5年度実績 84件			
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)						
推進に関する課題	より継続的で一体的な途切れのない事業としていくために、今後も関係機関と連携を強化し、子どもが属する機関が変わる際にも支援が継続されるようなシステム形成を関係機関と検討・協議する必要がある。 また、専門家の助言等を保育者や教員の日常の関わりにより活かしていただくために、関係機関とは、巡回相談の目的の共有をより徹底していく必要がある。					
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント				

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	40	部名	学校教育部	課名	教育指導課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-2 特別な配慮が必要な子どものために				
施策の方向性	施策の方向性(1)障害のある子どもと保護者への支援				
事業名	朝霞市障害児就学支援委員会専門員による就学相談				
事業概要	障害のある幼児、児童及び生徒に関し、適正な就学支援を行うための相談会の実施を行う。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	・就学相談のためのオリエンテーションを実施した。 ・就学相談を年間に6回実施して、障害のある幼児、児童及び生徒に関して適正な就学ができるように支援を行った。 ・就学相談で保護者等から相談のあった内容について、朝霞市就学支援委員会条例に基づく就学支援委員会で子供の実態や保護者の意向等を踏まえ丁寧に審議し、本人や保護者と合意形成を図りながら就学や教育形態の変更につなげた。				
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	事業内容を適正に行うことができた。		
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	就学相談を希望する保護者の増加。				
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	・子供の実態を適切に把握しながら、本人及び保護者との合意形成を丁寧に図りつつ、就学相談を実施していく。 ・就学相談や就学支援委員会の開始時間を前年度より早める等、日程や時間等の見直しを行い、時間を確保していく。 ・就学相談に関連して、子ども相談室でも発達に関する相談を実施する。その際、必要に応じて教育相談員による発達検査を実施し、就学相談の円滑な進行につなげていく。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート						
事業番号	41	部名	生涯学習部		課名	生涯学習・スポーツ課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち					
基本方針	基本方針1ー2 特別な配慮が必要な子どものために					
施策の方向性	施策の方向性(1)障害のある子どもと保護者への支援					
事業名	朝霞市はぐくみ補助金					
事業概要	「朝霞市内の小中学校の心や身体に障がいのある児童生徒の福祉を図り支援する」ことを目的として設立された市内小・中学校の保護者団体「朝霞市はぐくみ」に補助金を交付し、その活動を支援する。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	「朝霞市内の小中学校の心や身体に障がいのある児童生徒の福祉を図り支援する」ことを目的として設立された市内小・中学校の保護者団体「朝霞市 はぐくみ」に対し補助金を交付し、その活動を支援した。令和5年度は、市内小中学校15校中、特別支援学級がある14校に補助金を交付した。引き続き、支援に努めていく。					
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	令和5年度 補助金交付額 112,000円			
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)						
推進に関する課題	「はぐくみ」の活動に対し、必要な支援を継続していく。					
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント				

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート						
事業番号	42	部名	こども・健康部		課名	こども未来課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち					
基本方針	基本方針1－2 特別な配慮が必要な子どものために					
施策の方向性	施策の方向性(2)ひとり親家庭等の支援					
事業名	ひとり親家庭への自立・生活支援事業					
事業概要	母子家庭及び父子家庭の親に、自立支援教育訓練給付金、高等職業訓練促進給付金、受験料及び模試費用給付金等を支給する。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	・自立支援教育訓練給付金を支給する。 指定講座受講修了の際、講座受講のために支払った入学料及び受講料の60%相当額(雇用保険法による一般教育訓練給付金を受給している方は、60%相当額からその支給額を差し引いた額を支給(上限200,000円、下限12,000円))。 ・高等職業訓練促進給付金を支給する。 指定された資格の養成機関修業中に高等職業訓練促進費(市・県民税課税世帯100,000円、非課税世帯70,500円)、修了時に修了支援給付金(市・県民税課税世帯50,000円、非課税世帯25,000円)を支給。 ・受験料及び模試費用給付金を支給する。 中学3年生1人につき模試費用(上限6,000円)、高校3年生に1人につき模試費用(上限8,000円)、受験料(上限53,000円)を支給。					
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	【令和5年度活動指標】 自立支援教育訓練給付金申請者数 目標 1人 実績 0人 高等職業訓練促進給付金等申請者数 目標 7人 実績 8人 受験料及び模試費用給付金申請者数 目標 4人 実績 1人 【令和5年度成果指標】 自立支援教育訓練給付金申請者のうち、給付金を受給した者 目標 1人 実績 0人 高等職業訓練促進給付金等申請者のうち、支給決定した者 目標 7人 実績 8人 受験料及び模試費用給付金申請者のうち、支給決定した者 目標 4人 実績 1人			
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)						
推進に関する課題	就職や転職を考えている方や就職に有利な資格を取得したうえで安定して雇用をしたいという方が潜在的にいることが想定されること、またひとり親家庭の子の進学に対して支援を強化する観点から、引き続き、制度案内や周知を積極的に行っていきたい。また、ひとり親家庭への支援の強化を踏まえ、関係機関との連携により、生活の安定と自立支援を促進していく必要がある。					
令和6年度以降の具体的取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント				

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	43	部名	こども・健康部	課名	こども未来課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-2 特別な配慮が必要な子どものために				
施策の方向性	施策の方向性(2)ひとり親家庭等の支援				
事業名	児童扶養手当の支給				
事業概要	ひとり親家庭等に、所得に応じて児童扶養手当を支給する。 【手当月額】 全部支給 44,140円 一部支給 44,130円～10,410円				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推 進に関する課題に対する 対応はどうだったのか)	ひとり親家庭等に、所得に応じて児童扶養手当を支給した。 【手当月額】 全部支給 44,140円 一部支給 44,130円～10,410円 【支給月】 5月、7月、9月、11月、1月、3月				
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実 施により 得られた 成果	【令和5年度活動指標】 児童扶養手当支給額 253,640千円 【令和5年度成果指標】 支給予定日に遅滞なく児童扶養手当が支給されている割合 100%		
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が 変わった又はA以外の評 価が連続している場合の み記載)					
推進に関する課題	引き続き、ハローワークや県、関係団体と連携を図りながら、児童扶養手当 現況届の受付時及び支給認定の申請受付時等に生活の安定と自立を支援する ため、就職や転職等の支援も行う。				
令和6年度以降の具 体的取り組み (どんなことを予定して いるか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート						
事業番号	44	部名	こども・健康部		課名	こども未来課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち					
基本方針	基本方針1ー2 特別な配慮が必要な子どものために					
施策の方向性	施策の方向性(2)ひとり親家庭等の支援					
事業名	ひとり親家庭等医療費の助成					
事業概要	ひとり親家庭等に対して医療費の一部を助成する。 小学校に入学を予定している子どもを持つひとり親家庭の父、母に入学準備に必要な経費の一部を支給する。 ひとり親家庭環境において、学習が進んでいない中学生・高校生を対象に家庭訪問の実施や居場所づくり及び中途退学防止のため、学習教室を開催する。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	・ひとり親家庭の父母及び18歳以上到達後の最初の3月31日までの児童(一定の障害がある場合は20歳未満)、療育者に対して医療費の一部を助成した(所得要件あり)。 ・ひとり親家庭の環境において、学習が進んでいない中学生・高校生を対象に本人及び保護者に対して家庭訪問の実施や居場所づくり、高等学校等への進学及び中途退学防止のため、学習支援教室を開催した。					
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	【令和5年度活動指標】 ひとり親家庭等医療費支給額 46,427千円 ひとり親家庭児童就学支度金支給額 56千円 【令和5年度成果指標】 支給日にひとり親家庭等医療費が遅滞なく支給されている割合 100% 支給対象者に就学支度金が遅滞なく支給されている割合 100%			
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)						
推進に関する課題	ひとり親世帯で学習支援教室があるのを知らない世帯もいることが考えられることから、引き続き制度案内や周知を行っていく。					
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント				

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	45	部名	こども・健康部	課名	こども未来課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-2 特別な配慮が必要な子どものために				
施策の方向性	施策の方向性(2)ひとり親家庭等の支援				
事業名	母子生活支援施設入所				
事業概要	母子の保護及び自立の促進のための生活指導を行う。 保健上必要があるにもかかわらず、経済的理由により入院助産を受けることができない妊産婦に対し、助産施設への入所支援を行う。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	経済的理由により、入院助産を受けることができない妊婦の支援にあたった。 入所を必要とする世帯を把握するために、関係機関向けに助産制度活用に関する通知を発送した。				
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	安全に子どもを出産するために、助産施設への入所支援を行った。(令和5年度2件) 母子生活支援施設への入所実績なし。		
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	入所を必要とする世帯の把握。 関係機関と連携した対応。				
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業を継続。 入所を必要とする世帯を把握するために、引き続き関係機関向けに助産制度活用に関する通知を発送するなど、制度の周知に取り組む。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	46	部名	福祉部 こども・健康部	課名	福祉相談課 こども未来課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-2 特別な配慮が必要な子どものために				
施策の方向性	施策の方向性(3) 経済的困難を抱える家庭と保護者への支援				
事業名	生活困窮者等学習支援事業				
事業概要	生活困窮世帯やひとり親家庭の学習が進んでいない中学生や高校生を対象に、学習支援教室を開催し、学習支援や居場所づくりを行うとともに、状況に応じて、家庭訪問を実施する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	公民館を会場に週1回の学習教室を開催。また、家庭訪問での学習や進学への支援、生活習慣を身に費えるための相談等も行った。 多くの方に本事業について、校長会や生活保護担当職員などの関係機関へ事業説明を行ったほか、就学援助の決定通知や児童扶養手当の申請書類の送付時に案内チラシを同封するなどの周知に努めた。				
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	・活動指標: 学習教室の申込人数 R5目標・計画 32人 R5実績 31人 ・成果指標: 参加した中学3年生の進学率 R5目標・計画 100% R5実績 100%		
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	学習教室の会場が朝霞駅方面のみとなっていることや、開催日数（現在週1回）について、今後検討していく必要がある。				
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	引き続き、学習教室を実施し、該当する中学生、高校生が学習に取り組んだり、居場所として教室に通えるよう、委託事業者とも情報共有や連携を密に行っていく。また、関係部署にも、教室の趣旨等を周知し、必要な方の利用につなげていく。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	47	部名	福祉部	課名	生活援護課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-2 特別な配慮が必要な子どものために				
施策の方向性	施策の方向性(3) 経済的困難を抱える家庭と保護者への支援				
事業名	生活保護進学準備給付金の支給				
事業概要	生活保護世帯に属する子どもが大学等に進学した場合に、新生活立ち上げ費用として一時金を支給する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	生活保護世帯に属する子どもが大学等に進学した場合に、進学のために転居する際は30万円、現在の自宅から通学する際は10万円を新生活立ち上げ費用として支給する。				
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	生活保護世帯の子どもの大学等への進学を支援することができた。		
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	大学等への進学を希望する世帯が適切に給付を受けることができるように、毎月発行する保護だよりに制度内容を掲載し、対象世帯の訪問時に声掛けをするなどし、周知を行う。				
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート						
事業番号	52	部名	都市建設部		課名	開発建築課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち					
基本方針	基本方針1ー2 特別な配慮が必要な子どものために					
施策の方向性	施策の方向性(3)経済的困難を抱える家庭と保護者への支援					
事業名	官民の賃貸住宅ストックの活用の推進					
事業概要	住宅に困窮している低所得層の市民に対し低廉な家賃で住宅を供給する。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	コンフォール東朝霞団地の一部(50戸)を市営住宅としてUR都市機構から借上げ、住宅に困窮する低所得の市民に住宅を供給し、その運営管理(家賃算定・徴収、退去の手続き等)を行う。					
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	市営住宅50戸の運営管理 100%			
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)						
推進に関する課題	コンフォール東朝霞の借上げ期間が令和6年4月で満了することから、庁内検討委員会を立ち上げ、今後の市営住宅のあり方を検討した結果、コンフォール東朝霞に入居中の住戸は契約更新を行い、空き住戸はUR膝折団地・UR浜崎団地へ借換えを行うことに決定した。今後、計3団地にて市営住宅50戸の管理・運営を行う必要がある。					
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	新規借上げを行ったUR膝折団地・UR浜崎団地を含めた3団地における現行事業の継続					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント				

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	53	部名	学校教育部	課名	教育管理課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-2 特別な配慮が必要な子どものために				
施策の方向性	施策の方向性(3) 経済的困難を抱える家庭と保護者への支援				
事業名	小・中学校教育扶助事業				
事業概要	学校教育法第19条の規定に基づき、経済的理由によって就学困難と認められる学齢児童または生徒の保護者に対し、就学に必要な費用を支給する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	就学援助制度に認定となった保護者に対し、以下の費目について援助費を支給する。 ○医療費 ○新入学児童生徒学用品費 ○学用品・通学用品費 ○学校給食費 ○修学旅行費 ○校外活動費 ○交通費 ○体育実技用具費(柔道着) ○林間学校費 ○オンライン学習通信費等				
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	経済的に就学困難と認定される、特別支援学級へ通学する、または火災等により被災した児童・生徒の保護者に対し、就学に必要な費用の一部を援助したことにより、円滑に義務教育が受けられている。		
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	支援が必要な世帯からの申請漏れがないよう、引き続き制度周知を図る必要がある。				
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	・認定処理を適切に実施する。 ・各援助費目について、遅滞なく支給する。 ・支援を必要とする児童、生徒の家庭へ援助を行うため、制度周知を図る。 ・電子による申請の受付及び毎年度の継続審査を引き続き実施する。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	54	部名	各部	課名	各課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-2 特別な配慮が必要な子どものために				
施策の方向性	施策の方向性(4)外国につながる子どもと保護者への支援				
事業名	外国人世帯の支援				
事業概要	外国人に配慮した子育て支援の情報提供や利用支援を行う。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	・市ホームページ内に子育て情報をまとめたサブサイト「あさか子育て応援サイト」を設け、その情報は希望言語を選択することで、表示が変換される設定になっている。 ・窓口で外国人が来庁された際、外国語で応対できる職員を派遣することや外国語翻訳機(ポCKETーク)等を活用し、育児や生活全般の相談に随時対応等、意思の疎通に努めている。 ・外国語版の母子手帳の紹介や予防接種予診票の案内をしている。				
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	B	事業の実施により得られた成果	全庁的に取り組むべき内容であるため、一概に評価することは難しいが、市職員は可能な限り外国語を使用する市民等の対応に努めている。		
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)	全庁的に様々な場面や事業において取り組む必要があるため。				
推進に関する課題	・学校生活や保育所等において、外国人の方が生活するうえで必要とするコミュニティやサービスの対応など、日本では通念上理解されている事柄も違った文化や価値観において、相互理解が必要なため、事例の把握や対応方法などの情報収集が必要である。				
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	引き続き、全庁的な対応を行う。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	55	部名	市民環境部	課名	地域づくり支援課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-2 特別な配慮が必要な子どものために				
施策の方向性	施策の方向性(4)外国につながる子どもと保護者への支援				
事業名	多文化共生推進事業				
事業概要	多言語で情報を発信する。 多文化推進サポーターを募集・活用する。 外国人市民の意見を聞き、国際化推進事業庁内連絡会議で共有する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	・多文化共生に関する情報発信(広報、HP等での周知・啓発:9回) ・多文化推進サポーター事業の実施(翻訳:4人、文化交流:7人) ・国際化推進事業庁内連絡会議開催				
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	B	事業の実施により得られた成果	多文化共生事業の実施回数(目標:58回、実績:49回) 多文化共生に関する情報発信(目標:12回、実績:9回) 多文化推進サポーター活動延べ人数(目標:33人、実績:11人)		
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)	前年度に続き、広報あさか及び市HPで多文化共生に関する情報発信を行った。 多文化推進サポーター実働回数については、小中学校で提供された外国料理と文化の紹介記事の作成を新たに依頼し、実施した。 ※令和4年度から実績が増えていないためB評価としている。				
推進に関する課題	今後も増加傾向になることが見込まれることから、情報発信等を通じ多文化共生意識の醸成を図る必要がある。				
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	56	部名	学校教育部	課名	教育指導課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1－2 特別な配慮が必要な子どものために				
施策の方向性	施策の方向性(4) 外国につながるのある子どもと保護者への支援				
事業名	日本語指導支援員の配置				
事業概要	日本語の指導を必要とする帰国・外国籍児童生徒が在籍する朝霞市立小学校及び中学校に、日本語運用能力の向上と学校生活の安定化を図るため、日本語指導支援員の配置を行う。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	・児童生徒の日本語指導、基礎的な生活習慣の指導及び学習指導等の通訳を行う。 ・児童生徒が在籍する学級担任教諭及び児童等の保護者に対する助言及び援助を行う。 ・小学校合計34名の児童に対し、7名の日本語指導支援員を配置し指導を行った。 ・1日2時間を上限とし、767回分(予算枠800回)の支援を行った。				
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	新型コロナ感染拡大防止のための入国制限が緩和されたあと、日本語指導が必要な児童生徒が増加したが、令和5年度は7名の支援員を配置し(令和4年度は4名)、効果的な指導を行うことができた。		
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	・児童生徒の使用言語に対応できる支援員の確保。 ・学校生活における基本的な日本語の指導ができる支援員の確保。 ・新型コロナの入国制限の緩和に伴う外国籍児童生徒の増加。そのための予算の確保。(国内政策や国際情勢等を把握しながら、必要に応じて年度途中で補正)				
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	・現行事業の継続。 ・県費負担日本語指導加配教員の配置(朝霞市内で2名)があるため、支援内容に関して調整する。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	57	部名	こども・健康部		課名 こども未来課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1－3 地域の中の子どものために				
施策の方向性	施策の方向性(1) 子どもの健全な成長を支える居場所づくり				
事業名	児童館運営事業				
事業概要	児童の健全な成長を目指し、子どもたちが安全にかつ快適に遊び、活動できるよう、子どもたちの安心・安全な居場所として児童館ガイドラインに沿った管理・運営を行う。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	幼児事業、児童対象事業、中高生対象事業、保護者対象事業、館外事業、季節事業を開催した。 新型コロナウイルス感染症の影響により実施することができなかった一部の事業について、5類移行後も感染対策を行いながら、順次事業を再開することができた。				
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	利用者数 きたはら児童館 33,033人 はまさき児童館 20,333人 みぞぬま児童館 53,793人 ねぎしだい児童館 27,313人 ひざおり児童館 36,930人 ほんちょう児童館 56,501人 計227,903人		
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	指定管理者と協力し、利用者のニーズの把握に努め、それを踏まえた魅力ある児童館事業の実施や設備の充実を図る。				
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	子どもたちが安全かつ快適に遊び、活動できるよう、また、子どもたちの安心・安全な居場所として様々な児童館事業を実施する。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート						
事業番号	58	部名	都市建設部		課名	みどり公園課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち					
基本方針	基本方針1－3 地域の中の子どものために					
施策の方向性	施策の方向性(1)子どもの健全な成長を支える居場所づくり					
事業名	都市公園、児童遊園地の充実					
事業概要	幼児や小学校低学年の遊び場として、整備の充実を図る。 公園不足地区の解消及び既存公園の質的向上を図る。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	新設公園の整備に当たり市民ワークショップを開催し、公園の機能やアイディア、使い方等の意見交換やグループ発表を実施した。また、子どもたちが安心安全に遊べるよう、都市公園長寿命化計画に基づき、既設公園の老朽化した遊具の更新工事を実施。					
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	活動指標①公園改修件数: 目標・計画35件、実績20件 ②公園改修対象か所数: 目標・計画42か所、実績41か所 ③児童遊園地改修件数: 目標・計画18件、実績4件 ④児童遊園地改修対象か所数: 目標・計画85か所、実績83か所 成果指標①都市公園遊具の不具合による事故件数: 目標・計画0件、実績0件 ②児童遊園地遊具の不具合による事故件数: 目標・計画0件、実績0件			
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)						
推進に関する課題	特になし					
令和6年度以降の具体的取り組み (どんなことを予定しているか)	令和6年度 ・(仮称)宮戸二丁目公園及びまぼりひがし公園工事 令和7年度 ・(仮称)宮戸二丁目公園及びまぼりひがし公園供用開始 ・まぼりみなみ公園工事 令和8年度 ・まぼりみなみ公園供用開始					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント				

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート						
事業番号	59	部名	都市建設部		課名	みどり公園課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち					
基本方針	基本方針1－3 地域の中の子どものために					
施策の方向性	施策の方向性(1)子どもの健全な成長を支える居場所づくり					
事業名	冒険遊び場づくり事業(プレーパーク)					
事業概要	「子供の居場所づくり」と「子どもを中心とした地域社会の活性化」に寄与することを目的に、子どもの遊び場づくりの専門職（プレーリーダー）を配置し、適切な安全管理を行いながら、子どもの自由な外遊びを促す機会を提供する。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	基地跡地暫定利用広場「朝霞の森」において、子どもたちが自分の責任で自由に遊ぶことができる「プレーパーク」を、委託事業として年間63回開催した。また、昨年度に引き続き、朝霞の森以外の都市公園において「移動式プレーパーク」を年間30回実施した。屋外公共空間を活用し、安心・安全に子どもの居場所づくりができた。また、常連の小中学生が増え、率先してスタッフの手伝いをするなど自主性が育まれている。移動式プレーパークについては、令和5年度は開催回数を10回増やしたことでより多くの方に利用していただけた。					
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	活動指標①プレーパークの開催: 目標・計画63回、実績63回 成果指標①来場者数:実績 9, 164人 関連事業:移動式プレーパーク 年間30回開催 参加人数 1, 746人			
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)						
推進に関する課題	天候等の影響により中止や振替開催になった時の周知の徹底					
令和6年度以降の具体的取り組み (どんなことを予定しているか)	引き続きプレーパークを開催し、子供の居場所づくりに努めていく。					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント				

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート						
事業番号	60	部名	生涯学習部		課名	生涯学習・スポーツ課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち					
基本方針	基本方針1－3 地域の中の子どものために					
施策の方向性	施策の方向性(1)子どもの健全な成長を支える居場所づくり					
事業名	学校体育施設の開放					
事業概要	小・中学校の運動場、体育館を開放し、子供の心身の健康づくりをサポートする。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	学校体育施設開放利用調整会議を開催し、団体間の利用調整を行った。 学校と利用団体で組織する学校開放運営協議会における団体間の利用調整を行った。 利用団体からの意見や学校側の意向を踏まえた事業充実のための検討を行った。 併せて、近年の課題となっている利用マナーの向上やルール周知のため、利用の手引きを全面改正したほか、調整会議等の場で周知啓発を図った。					
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	学校体育施設開放事業利用実績 令和4年度 利用件数:5,813件 利用人数:173,346人 令和5年度 利用件数:5,970件 利用人数:179,816人			
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)						
推進に関する課題	利用団体数の増加に対応するための貸出枠数の確保、利用マナーの向上に向けた周知啓発の継続、調整方法の改善が課題となっている。					
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	基本的には現行事業を継続するものの、調整会議の開催頻度の見直し、調整方法の改善等、利用団体の増加に伴う負荷軽減のための取組を検討していく。					
子ども・子育て会議進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント				

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート						
事業番号	61	部名	生涯学習部		課名	生涯学習・スポーツ課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち					
基本方針	基本方針1-3 地域の中の子どものために					
施策の方向性	施策の方向性(1) 子どもの健全な成長を支える居場所づくり					
事業名	放課後子ども教室					
事業概要	市内の小学校と連携し、小学校を会場とした放課後子ども教室を実施する。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	市内の全小学生を対象として、朝霞第一、第三、第四、第五、第七、第十小学校の6校を会場とし、夏季休暇期間には、学習プログラム提供型と自主学習を見る見守型を合わせた教室を5日間ずつ計30回、秋からの土曜日の放課後子ども教室は、9月から2月までの半年間、各校全12回ずつ計72回、科学教室、工作教室、バランスボール、スポーツ教室、劇あそび、書道教室をの教室学習プログラム提供型で実施した。					
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	参加者数(延べ) 令和5年度 令和4年度 令和3年度	夏季休暇期間 485人 251人 —	秋からの教室 1,010人 982人 844人	
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)	参加者数は年々増加しており、需要が高いものであることが伺えた。					
推進に関する課題	前年度に引き続き、事業開催場所となる小学校の空き教室や、特別教室等の確保が課題となっている。					
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	令和6年度は、夏季休暇期間の教室、秋からの教室も、引き続き土曜日の午前中、市内6校において各校全12回実施する。 平日の見守り型の放課後子ども教室の実施に取り組む。					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント				

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート						
事業番号	62	部名	生涯学習部		課名	図書館
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち					
基本方針	基本方針1－3 地域の中の子どものために					
施策の方向性	施策の方向性(1)子どもの健全な成長を支える居場所づくり					
事業名	図書館における子ども向け事業					
事業概要	子どもを対象に、良書を読む機会を提供するため、おはなし会や読み聞かせなどを開催する。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	【本館】夏休みおはなし会:2回(1日)／うさみみタイム(絵本等の読み聞かせ):46回(46日)／赤ちゃんとママ・パパのおはなしタイム(絵本の読み聞かせやわらべうたなど):22回(11日)／クリスマスおはなし会:1回(1日)／子ども読書の日おはなし会:1回(1日)／夏休み子ども映画会:2回(1日)／子ども読書の日おたのしみ映画会:2回(1日) 【分館】絵本のよみきかせ(手遊びと絵本の読み聞かせ):12回／えんじょいきっず(図書貸出し返却事務など):4回／キッズシネマ:1回					
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	〈活動指数〉①イベント件数 ●夏休みおはなし会 目標:1日2回 実績:1日2回 ●うさみみタイム 目標:毎週木曜 実績:46回 ●赤ちゃんとママ・パパのおはなしタイム 目標:年12回 実績:22回(年12回、午前・午後) ●クリスマスおはなし会 目標:1回 実績:1回 ●絵本のよみきかせ 目標:12回 実績:12回 ●えんじょいきっず 目標:4回 実績:4回 ●キッズシネマ 目標:1回 実績:1回 〈成果指数〉①イベント件数 ●夏休みおはなし会 目標:30人 実績:18人 ●うさみみタイム 目標:維持(未設定) 実績:433人 ●赤ちゃんとママ・パパのおはなしタイム 目標:120組 実績:74組(156人) ●クリスマスおはなし会 目標:30人 実績:69人 ●絵本のよみきかせ 目標:1回あたり20人 実績:12回 延べ151人 ●えんじょいきっず 目標:16人 実績:22人 ●キッズシネマ 目標:168人 実績:61人			
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)						
推進に関する課題	引き続き、子どもの読書活動の推進を図る。図書館で実施しているおはなし会や展示、各種イベントについての一層の周知が課題。					
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	読書の楽しさ、読書から得る知識や発見の喜びを知る機会を提供するとともに、子どもの健やかな成長に読書が大切であることを大人に伝えて行く。また、子どもが図書館へ足を運びたくなるよう、ホームページやSNS、広報紙等を使って、読書や図書館で開催するイベント等の周知を行う。					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント				

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート						
事業番号	64	部名	生涯学習部		課名	生涯学習・スポーツ課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち					
基本方針	基本方針1－3 地域の中の子どものために					
施策の方向性	施策の方向性(2) 子ども同士の交流の機会の提供					
事業名	市民総合体育大会、ロードレース大会、小学生スポーツ教室、ウォークラリー大会等の開催					
事業概要	スポーツ振興と市民の親睦、健康増進を図るため、小学生・中学生及び市民等を対象に、市民総合体育大会、ロードレース大会、小学生スポーツ教室、ウォークラリー大会等を開催する。 また、都市間交流事業として、越生町との共催でハイキング大会を開催する。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	市民総合体育大会、ロードレース大会、小学生スポーツ教室、市民スポーツ大会、ウォークラリー大会等の開催及び都市間交流事業として越生町とのハイキング大会を開催した。					
施策の進捗状況と成果 (令和5年度)	A	事業の実施により得られた成果	ロードレース大会、小学生スポーツ教室、市民スポーツ大会、ウォークラリー大会等を開催し、合計で約6,200名の参加があった。			
自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない						
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)						
推進に関する課題	多くの人に事業を知っていただき、参加していただくための広報活動、多くの人にとって魅力的と感じられるような大会内容とすることが課題となっている。					
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント				

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	66	部名	こども・健康部	課名	こども未来課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-1 すべての子育て家庭のために				
施策の方向性	施策の方向性(1)子育てを支える環境づくり ①情報提供の充実				
事業名	子育て情報の提供				
事業概要	子育てに関する情報を一元化した子育て情報誌を作成し、子どものいる家庭に配布する。また、子育て情報誌の内容を市のホームページに掲載し、情報提供を行うとともに、子育て情報メールで、子育て等に関する情報提供を行う。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	- 子育て情報誌「あさか子育てガイドブック」を市内の児童館、子育て支援センターなどの市内公共施設等に設置したほか、母子手帳の交付時及び、子育て家庭に対して転入時に配布を行った。 - 子育て情報誌の掲載内容の改定を行い、発行した。				
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	情報を更新し新しい情報の提供を行うことができた。 冊子、ホームページ、子育て情報メールと異なる媒体で情報を提供することができた。		
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	情報誌の配布方法及び、市民のニーズに応じた内容の充実。				
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	毎年、情報を更新し、新しい情報提供に努める。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート						
事業番号	67	部名	福祉部		課名	障害福祉課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち					
基本方針	基本方針2-1 すべての子育て家庭のために					
施策の方向性	施策の方向性(1)子育てを支える環境づくり ②小児医療の確保と経済的な支援					
事業名	難病患者見舞金(小児慢性特定疾患患者を含む)					
事業概要	指定難病医療受給者証等の交付を受けている人に、見舞金を支給する。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	市内に住所を有し、埼玉県知事が発行する受給者証(次のいずれか:①指定難病②小児慢性特定疾患③指定疾患④特定疾患⑤県単独指定難病)の交付を受けている難病患者に対して、申請に基づき難病患者見舞金年額20,000円を支給。					
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	難病患者及びその家庭への経済的支援につながった。			
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)						
推進に関する課題	埼玉県が発行する受給者証の新規取得者を制度の利用へとつなげる。					
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント				

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	68	部名	こども・健康部	課名	こども未来課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-1 すべての子育て家庭のために				
施策の方向性	施策の方向性(1) 子育てを支える環境づくり ②小児医療の確保と経済的な支援				
事業名	こども医療費の助成				
事業概要	対象となる子どもに対し、医療費を助成する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推 進に関する課題に対する 対応はどうだったのか)	・対象／こどもに対し、医療費を助成した。 ・助成内容等／通院費対象:0歳児～中学3年生 入院費対象:0歳児から高校3年生 ・助成方法／通院費:朝霞地区4市内の医療機関で21,000円未満の場合は現物給付、それ以外は償還払い、入院費:償還払い				
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	【令和5年度活動指標】 こども医療費支給額 720,058千円 【令和5年度成果指標】 支給日に遅滞なく医療助成費が支給されている割合 100%		
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	引き続き、こども医療費の支給を円滑に進めていく。				
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	69	部名	こども・健康部	課名	こども未来課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-1 すべての子育て家庭のために				
施策の方向性	施策の方向性(1) 子育てを支える環境づくり ②小児医療の確保と経済的な支援				
事業名	児童手当の支給				
事業概要	子育て世帯に対して、児童手当を支給する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推 進に関する課題に対する 対応はどうだったのか)	子育て家庭に対し、児童手当を支給した。 ・受給資格者／中学3年生までの対象となる児童を養育する保護者 ・手当月額 0～3歳未満:(一律)15,000円 3歳～小学校修了前(第1子・第2子):10,000円、(第3子以降は15,000円) 中学生:(一律)10,000円 所得制限基準額以上の世帯児童:5,000円 ・支給時期:6月、10月、2月				
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	【令和5年度活動指標】 児童手当支給額 2,059,360千円 【令和5年度成果指標】 支給日に手当が遅滞なく支給されている割合 100%		
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	引き続き、児童手当の支給が円滑に行われるよう努める。				
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	70	部名	こども・健康部	課名	健康づくり課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-1 すべての子育て家庭のために				
施策の方向性	施策の方向性(1)子育てを支える環境づくり ②小児医療の確保と経済的な支援				
事業名	小児救急医療における朝霞地区4市との共同事業				
事業概要	医師会と連携し、救急指定病院等をローテーションして小児救急医療を実施				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	・在宅当番医制運営事業(日曜・休日 午前10時～午後4時)・小児救急医療支援事業(平日・日曜・休日 午後6時～午前8時) (日曜・休日 午前8時～午後6時)・病院群輪番制病院運営事業(平日・日曜・休日 午後6時～午前8時) (日曜・休日 午前8時～午後6時)				
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	令和5年度の実績・在宅当番医制運営事業では、1,698人(内小児受診者275人)が受診できた。・小児救急医療支援事業では、4,599人(入院905人(内小児受診者296人)・外来3,694人(内小児受診者2,531人))が受診できた。・病院群輪番制病院運営事業では、989人(入院183人・外来806人)が受診できた。		
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	朝霞地区4市在学、在勤者など、地区以外の利用者が属する自治体からは、この制度の運営費を負担していない。				
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	71	部名	生涯学習部	課名	生涯学習・スポーツ課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-1 すべての子育て家庭のために				
施策の方向性	施策の方向性(1) 子育てを支える環境づくり ②小児医療の確保と経済的な支援				
事業名	PTA連合会補助金				
事業概要	朝霞市立小中学校のPTA及び類似の団体（以下、単位PTA）と相互の連絡協調を図り、単位PTAの発展に努め、児童生徒の福祉の増進と教育の振興を促進することを目的とした団体である保護者代表連絡会に補助金を交付し、その活動を支援する。 ※「朝霞市PTA連合会」は、令和5年5月19日付けで「朝霞市保護者代表連絡会」と名称を変更し、朝霞市立小中学校のPTA及び類似の団体（単位PTA）をもって構成することとされた。				
具体的な事業内容 （どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか）	保護者代表連絡会(旧PTA連合会)に補助金を交付し、活動支援を行った。				
施策の進捗状況と成果 （令和5年度） 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	令和5年度補助金交付額 169,200円		
自己評価ランクの理由 （令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載）					
推進に関する課題	今後も保護者代表連絡会の活動に対し、必要な支援に努める。				
令和6年度以降の具体的な取り組み （どんなことを予定しているか）	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 （令和5年度） A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	72	部名	総務部	課名	人権庶務課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-1 すべての子育て家庭のために				
施策の方向性	施策の方向性(2) 家庭における子育て支援の充実				
事業名	女性総合相談				
事業概要	女性総合相談事業を年間を通じて実施する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	・女性総合相談の実施(毎週木曜日 午前10時～午後3時) ・配偶者暴力相談支援センター相談員及び女性総合相談員研修・交流会(1回)				
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	女性総合相談 年間実施日数 52日 年間相談者数 46人		
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	相談内容は複雑化、複合化し多岐にわたるため、引き続き、相談窓口の周知を図るとともに、女性総合相談だけでなく、関係機関やDV相談等、必要な相談先等につないでいく。				
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	令和6年4月より、「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」の施行に伴い、女性総合相談の相談時間をこれまでは午前10時～午後3時としていたところ、午後4時まで拡大するとともに、相談方法に電話相談を加え相談体制の充実を図る。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート						
事業番号	73	部名	市民環境部		課名	産業振興課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち					
基本方針	基本方針2-1 すべての子育て家庭のために					
施策の方向性	施策の方向性(2)家庭における子育て支援の充実					
事業名	内職相談事業					
事業概要	週 2 回、市民相談室において内職の相談・斡旋事業を実施している。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	・毎週火曜日・金曜日の午前9時から午後4時まで実施している。 ・広報あさかに毎号掲載するとともに、市ホームページにおいても情報を掲載することで周知を図っている。また、チラシを作成し、市内公共施設等に配架している。 ・令和5年度の求職相談件数は138件、うち紹介件数は20件 ・令和5年度の求人相談件数は8件					
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	C	事業の実施により得られた成果	活動指標 内職相談実施回数 目標・計画 100回 実績 98回 成果指標 内職相談人数 目標・計画 200人 実績138人 内職紹介件数 目標・計画 20人 実績 20人			
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)	相談人数は昨年度比では多少増加したものの、依然として目標に対し低い水準であるため。					
推進に関する課題	働き方が多様化する中で、家内で働くことを希望する方に対し、より広く情報を周知することが課題である。また、他市においては、相談業務を終了し、内職情報一覧の配布に切り替える動きもあるため、相談事業のあり方について、市民ニーズや他市の動向を注視しながら検討する必要がある。					
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	今後も引き続き効果的な情報発信を模索するとともに、新たな求人を開拓し、求職者とのマッチングにつながるよう努めていく。					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント				

第2期子ども・子育て支援事業計画　《次世代育成支援行動計画:関連事業》　進捗管理シート						
事業番号	74	部名	生涯学習部		課名	生涯学習・スポーツ課
基本目標	基本目標2　すべての家庭が安心して子育てするまち					
基本方針	基本方針2－1　すべての子育て家庭のために					
施策の方向性	施策の方向性(2)家庭における子育て支援の充実					
事業名	あさか学習おとどけ講座					
事業概要	関係各課や企業等との連携、協力を得て、市民の学習の場として講座を提供する「あさか学習おとどけ講座」を実施する。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	令和5年度のあさか学習おとどけ講座の登録件数は、行政メニューが69件、企業メニューが6件だった。また、あさか学習おとどけ講座の利用件数は13件、利用延べ人数は213人だった。					
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	あさか学習おとどけ講座の事業後に実施したアンケートでは、「満足した」、「やや満足した」という回答が、93. 5% (「あまり満足しなかった」という回答は4件) という結果となり、利用した方々からは概ね好評をいただいた。			
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)						
推進に関する課題	家庭での教育力の向上を図るため、子どもや子育てに関わるメニューの充実に努める。					
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続					
子ども・子育て会議 進捗状況　確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント				

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	75	部名	生涯学習部	課名	生涯学習・スポーツ課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-1 すべての子育て家庭のために				
施策の方向性	施策の方向性(2) 家庭における子育て支援の充実				
事業名	家庭教育学級の支援				
事業概要	・家庭での教育力の向上を図るため、子育てサークル、PTA等の家庭教育学級の学習活動を支援し、子どもや子育てに関わる各種講座・教室の充実を図る。 ・子育て講座を実施する				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	・家庭教育学級(サークル3団体、PTA等5団体)に補助金を交付し、家庭教育学級の開催及びその学習活動を支援した。 ・子育て講座を3回実施した。				
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	①家庭教育学級数:7団体 ②家庭教育学級参加者数:449人		
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	引き続きPTA等団体及びサークル、保護者や一般市民に対し、家庭教育の重要性と家庭教育学級事業の周知に努める。また、学んだ保護者(学級生)が、今後も学びを継続できるよう、PTA等団体やサークルが情報を共有し、相互に連携を深めるとともに、保護者同士の結びつきを強める必要がある。				
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	76	部名	生涯学習部	課名	生涯学習・スポーツ課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-1 すべての子育て家庭のために				
施策の方向性	施策の方向性(2) 家庭における子育て支援の充実				
事業名	家庭教育学級事業補助金				
事業概要	・家庭での教育力の向上を図るため、子育てサークル等の家庭教育学級活動に補助金を交付する。 ・家庭教育学級活動報告集を作成し、各学級の活動を広く紹介し、家庭教育の重要性を啓発する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	・家庭教育学級(サークル3団体)に補助金を交付し、学習活動の支援を行った。 ・各学級がそれぞれに学習活動を行った。 ・家庭教育学級活動報告集を作成し、学級生等に配布した。 ・子育て講座を3回実施した。				
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	①家庭教育学級数:3団体 ②家庭教育学級参加者数:44人		
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	引き続きサークルや市民に対して事業のPRに努める。また、学んだ保護者(学級生)が、今後も学びを継続できるよう、PTA等団体やサークルが連携を深め、保護者同士の結びつきを強める必要があり、家庭教育学級の活動・運営等に対する相談体制の充実を図り、団体への必要な支援に努めていく。				
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	77	部名	生涯学習部	課名	生涯学習・スポーツ課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-1 すべての子育て家庭のために				
施策の方向性	施策の方向性(2) 家庭における子育て支援の充実				
事業名	家庭教育学級補助金				
事業概要	・家庭での教育力の向上を図るため、PTA等の家庭教育学級活動に補助金を交付する。 ・家庭教育学級活動報告集を作成し、各学級の活動を広く紹介し、家庭教育の重要性を啓発する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	・家庭教育学級(幼稚園・小中学校PTA等5団体)に補助金を交付し、学習活動の支援を行った。 ・家庭教育学級活動報告集を作成し、学級生等に配布した。				
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	①家庭教育学級数:5団体 ②家庭教育学級参加者数:405人		
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	引き続き継続して、幼稚園、小・中学校のPTA等に家庭教育の重要性を啓発するとともに、事業のPRに努める。また、学んだ保護者(学級生)が、活動を継続して行うことができるよう、PTA等団体やサークル間の連携を深め、保護				
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート						
事業番号	78	部名	生涯学習部		課名	中央公民館
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち					
基本方針	基本方針2-1 すべての子育て家庭のために					
施策の方向性	施策の方向性(2)家庭における子育て支援の充実					
事業名	子育て(育児)講座					
事業概要	・ 人間形成に大切な乳幼児期についての知識を習得し、また、同じ世代の子どもを持つ保護者同士の交流等を通して子育ての悩みや育児不安の軽減と仲間づくりを促進する。 ・ 各種講座の開催					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	・こども天体教室、サイエンスキッズ(中央公民館) ・子どもふれあい広場、育児パパ・ママ応援講座(東朝霞公民館) ・伝統文化講座、レッツチャレンジ、育児講座(西朝霞公民館) ・南っ子クラブ(南朝霞公民館) ・子育て講座、わんぱくキッズランド(北朝霞公民館) ・子どもランド(内間木公民館)					
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	・こども天体教室:定員15組30人 受講者18組36人 ・サイエンスキッズ:定員計60人 受講者79人 ・子どもふれあい広場:2講座定員30人 受講者33人 ・育児パパ・ママ応援講座:2講座定員36人 受講者27人 ・伝統文化講座:2講座定員30人 受講者43人 ・レッツチャレンジ:3講座定員計54人 受講者55人 ・育児講座:4講座定員計110組220人 受講者59組144人 ・南っ子クラブ:3講座定員計63人 受講者56人 ・子育て講座:2講座定員計40人 受講者36人 ・わんぱくキッズランド:2講座定員計24人 受講者26人 ・子どもランド:2講座定員計39人 受講者32人			
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)						
推進に関する課題	今後も公民館の事業への期待は高いものと考えられる。引き続き、こども向け講座や子育て関連講座を充実させていく。					
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント				

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート						
事業番号	79	部名	生涯学習部		課名	図書館
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち					
基本方針	基本方針2-1 すべての子育て家庭のために					
施策の方向性	施策の方向性(2) 家庭における子育て支援の充実					
事業名	ブックスタート事業					
事業概要	月2回4ヶ月健診の受診者に赤ちゃん絵本を配布し、読書のきっかけとする。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	4ヶ月健診の受診の際に、メッセージを添えて絵本の入ったパックを配布した。ブックスタート・ボランティアによる読み聞かせを再開し、絵本を読む楽しさや有用性、読み聞かせの楽しみ方等の啓発や、図書館利用の案内を直接行った。					
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	R5年度開催予定:24回 実施:24回 受診者数:1,119人 パック配布数:1,115パック			
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)						
推進に関する課題	新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、読み聞かせ体験を再開できた。母（保護者など）と子の反応は良好で、少人数による直接アプローチの効果を実感しており、今後も、ボランティアと協力しながら確実に進めていく。4ヶ月健診受診者の99.6%が参加しており、引き続き順調に推移して行くよう努める。					
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	保健センターの協力を得て、対面による読み聞かせ体験や、乳幼児の読書啓発を推進する。また、後のフォローアップ事業である「赤ちゃん和妈妈・パパのおはなしタイム」につながるよう、より積極的に周知を行うとともに、ブックスタートに先立つ妊娠期の母子と家族向けの「プレママ・パパ絵本講座」についても周知を図り、切れ目のない読書支援を推進していく。					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント				

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート							
事業番号	81	部名	こども・健康部	課名	保育課	記入者	佐久間
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち						
基本方針	基本方針2-1 すべての子育て家庭のために						
施策の方向性	施策の方向性(3)生まれる前から乳幼児期までの一貫した支援						
事業名	子育て電話相談						
事業概要	子育て中の保護者を対象に、子育て支援センターにおいて乳幼児の育児に関する相談を受ける。						
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	さくら子育て支援センターに、電話相談専用回線を設け、育児全般の相談を受けた。 受付:月～土曜日 午前9時～午後5時						
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	B	事業の実施により得られた成果	生活習慣、発育・発達・障害、予防接種に関する相談などをを受け、アドバイスすることにより、保護者の不安を解消することができた。 さくら子育て支援センター 電話相談件数:81件(前年度比33件増)				
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)	子育てに関する相談を電話でも受けることで、外出が困難な保護者に対しても、育児に関する相談の場を提供できたことにより、不安が解消され育児支援ができたと考えたため。						
推進に関する課題	さくら子育て支援センター以外の、市内7か所のセンターにおいても相談を受け付けているが、電話相談専用回線があるのは、さくら子育て支援センターのみである。他のセンターでは、事業や来所の予約も電話で受け付けていることから、長時間の電話相談に応じることが難しく、さくら子育て支援センターの電話番号の周知を進める必要がある。						
令和6年度以降の具体的取り組み (どんなことを予定しているか)	市HPだけではなく、SNSを通じて、子育て支援センターの電話相談事業を周知していく。						
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント					

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	82	部名	こども・健康部	課名	健康づくり課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-1 すべての子育て家庭のために				
施策の方向性	施策の方向性(3)生まれる前から乳幼児期までの一貫した支援				
事業名	母子保健相談事業				
事業概要	妊娠期から妊娠・出産・育児に関して、訪問・面接・電話等での保健師・栄養士・助産師等が個別の相談を受け、子どもとその保護者の健康保持・増進のための支援を実施する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	電話・面接・訪問による育児や健康に関する相談や指導等の支援を行う。				
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	令和5年度相談件数 面接:521件、電話:2,463件		
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	育児支援が必要なケースや児童虐待のリスクのある世帯も含めて、適切な次期に相談を行えるよう、関係機関との情報共有や連携を図り、支援の強化を図る。				
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	83	部名	こども・健康部	課名	健康づくり課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-1 すべての子育て家庭のために				
施策の方向性	施策の方向性(3)生まれる前から乳幼児期までの一貫した支援				
事業名	栄養相談事業				
事業概要	来所や電話での個別の栄養指導。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推 進に関する課題に対する 対応はどうだったのか)	乳幼児期や児童期の食生活の不安や疑問に対応するため、随時、来所や個別栄養 相談を実施。				
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実 施により 得られた 成果	令和5年度実績 相談件数:406件		
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が 変わった又はA以外の評 価が連続している場合の み記載)					
推進に関する課題	保育園や医療機関等との連携や情報共有の進め方、連携策の方針等の調整を 行っていく。				
令和6年度以降の具 体的取り組み (どんなことを予定して いるか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート						
事業番号	84	部名	こども・健康部		課名	健康づくり課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち					
基本方針	基本方針2－1 すべての子育て家庭のために					
施策の方向性	施策の方向性(3)生まれる前から乳幼児期までの一貫した支援					
事業名	妊婦健康診査					
事業概要	母子手帳交付時に、妊婦健康診査・産婦健康診査助成券の交付を行い、その費用の一部を助成し、妊産婦期の健康管理を勧める。 ※令和5年度より産婦健康診査1回分の助成が追加になっている。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	・妊婦健康診査助成(委託医療機関分) ・委託医療機関以外の医療機関を受診している妊婦にたいして補助金を交付。 一人あたり補助金上限:107,990円					
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	令和5年度 活動指標:妊婦健康診査公費負担回数 目標・計画:14回 実績:15回 成 果:妊婦一般健康診査受診者数 1,140人 妊婦一般健康診査受診率(1回目を評価) 目標・計画:97% 実績:98%			
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)						
推進に関する課題	本事業は、妊婦健康診査に係る経済的負担の軽減を図れることから、母子の健康管理のためにも、効果的な活用が図られるよう、妊娠届出時等の周知を徹底する必要がある。					
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続。					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント				

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	85	部名	こども・健康部	課名	健康づくり課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-1 すべての子育て家庭のために				
施策の方向性	施策の方向性(3)生まれる前から乳幼児期までの一貫した支援				
事業名	母子健康教育事業				
事業概要	母性または乳幼児の健康の保持増進に必要な知識や技術について、集団や個別で相談および教育を行う。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	マタニティ教室:18回/年 母と子のつどい:3回/年 離乳食スタート教室:24回/年 離乳食ステップアップ教室:12回/年 すこやか相談(発育発達相談):6回/年				
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	令和5年度実績 マタニティ教室実施回数 目標:18回 実績:18回 マタニティ教室参加満足度 目標80% 実績:89%		
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	コロナ以降、病院での教室実施がオンライン開催になっているところもまだあり、対面での実施で、体験ができる本事業のニーズは高いことから、より多くの方に参加いただけるよう、内容を検討する必要がある。				
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	86	部名	こども・健康部	課名	健康づくり課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-1 すべての子育て家庭のために				
施策の方向性	施策の方向性(3)生まれる前から乳幼児期までの一貫した支援				
事業名	乳幼児健康診査				
事業概要	乳児（4か月児・10か月児）及び乳児（1歳6か月児・3歳児）に対する健康診査及び保健指導を実施。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推 進に関する課題に対する 対応はどうだったのか)	・4か月児健康診査 24回／年 ・10か月児健康診査 24回／年 ・1歳6か月児健康診査 24回／年 ・3歳児健康診査 24回／年 1歳6か月児歯科健康診査 24回／年 3歳児歯科健康審査 24回／年				
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実 施により 得られた 成果	令和5年度実績 活動指標: 乳幼児健康診査実施回数 目標値96回 実績: 96回 成果指標: 乳幼児健康診査受診率 目標値: 95% 実績: 97.7%		
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が 変わった又はA以外の評 価が連続している場合の み記載)					
推進に関する課題	乳幼児健康診査では、母子保健の視点と児童虐待予防の視点の両面から、未受診者の把握及びその支援のあり方について、関係機関と連携して対応していく必要がある。				
令和6年度以降の具 体的取り組み (どんなことを予定して いるか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画　《次世代育成支援行動計画：関連事業》　進捗管理シート					
事業番号	87	部名	こども・健康部	課名	健康づくり課
基本目標	基本目標2　すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-1　すべての子育て家庭のために				
施策の方向性	施策の方向性(3)生まれる前から乳幼児期までの一貫した支援				
事業名	歯科保健事業				
事業概要	乳幼児に対して歯の健康診査、フッ化塗布、保健指導、教育を行う。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推 進に関する課題に対する 対応はどうだったのか)	3歳児フッ化物塗布(3歳児健康診査) 幼児歯科健康診査(5歳児歯科健康診査)				
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実 施により 得られた 成果	活動指標: フッ化物塗布実施回数 目標値: 24回　実績: 24回 成果指標: フッ化物塗布率 目標値: 85%　実績: 79.6%		
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価 が変わった又はA以外の 評価が連続している場合 のみ記載)					
推進に関する課題	乳幼児期から高齢者まで生涯にわたり、歯科保健対策をすすめる必要がある。				
令和6年度以降の具体 的取り組み (どんなことを予定して いるか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況　確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	88	部名	こども・健康部	課名	健康づくり課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-1 すべての子育て家庭のために				
施策の方向性	施策の方向性(3)生まれる前から乳幼児期までの一貫した支援				
事業名	各種予防接種の実施				
事業概要	子どもを対象に、定期的に予防接種を実施				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	ロタウイルス、B型肝炎、ヒブ、小児用肺炎球菌、四種混合、BCG、麻しん・風しん、水痘、日本脳炎、二種混合、ヒトパピローマウイルス				
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	令和5年度の実績定期予防接種の実施者数 ロタウイルス 2,723人、B型肝炎 3,329人、ヒブ 4,476人 小児用肺炎球菌 4,429人、四種混合 4,762人、BCG 1,106人 麻しん・風しん混合 2,403人、水痘 2,291人、日本脳炎 5,395人 二種混合 959人、ヒトパピローマウイルス 922人		
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	特になし				
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	予防接種法に基づく各種予防接種を継続して実施する。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	89	部名	こども・健康部	課名	健康づくり課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-1 すべての子育て家庭のために				
施策の方向性	施策の方向性(3)生まれる前から乳幼児期までの一貫した支援				
事業名	母子健康手帳交付事業				
事業概要	子育て世代包括支援センターで妊娠の届出時に母子手帳を交付する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	妊娠届出時に母子健康手帳を交付する。				
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	令和5年度実績 妊娠届出数 1,165人 うち妊婦との面談数 1,122人		
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	妊娠届出の時期は、妊娠初期で体調がすぐれない妊婦も多く、すべての妊婦と直接面接することは難しい。				
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	90	部名	こども・健康部	課名	健康づくり課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-1 すべての子育て家庭のために				
施策の方向性	施策の方向性(3)生まれる前から乳幼児期までの一貫した支援				
事業名	未熟児養育医療費給付事業				
事業概要	入院医療が必要な未熟児に対し、医療費の給付を行う。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推 進に関する課題に対する 対応はどうだったのか)	未熟児で出生した子どもに対し、必要な医療の給付を行う。				
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実 施により 得られた 成果	未熟児養育医療処理件数 目標値:100回 実績:109回 成果指標:未熟児養育医療給付人数 目標値:40人 実績:52人		
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が 変わった又はA以外の評 価が連続している場合の み記載)					
推進に関する課題	特になし				
令和6年度以降の具 体的取り組み (どんなことを予定して いるか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	91	部名	こども・健康部	課名	健康づくり課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-1 すべての子育て家庭のために				
施策の方向性	施策の方向性(3)生まれる前から乳幼児期までの一貫した支援				
事業名	妊娠期からの包括的な子育て支援				
事業概要	妊娠期から子育て期にわたるまでの様々なニーズに対して総合的相談支援を提供するワンストップ拠点（子育て世代包括支援センター）で、保健師等の専門職がすべての妊産婦等を継続的に把握し、必要に応じて支援プランを作成し、妊産婦に対して切れ目のない支援を図る。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	母子健康手帳の交付をとおして、保健師等の専門職がすべての妊産婦等の状況を把握する。 必要に応じて支援プランを作成することにより、妊産婦に対し、面談・訪問・電話等を行い、切れ目のない支援を図る。また、退院直後の母子についても心身のケアや育児サポート等を行う(訪問型)。				
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	令和5年度実績 妊娠届出数 1,165人 うち妊婦との面談数 1,122人 乳児全戸訪問件数 1,118件		
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	妊娠届出の時期は、妊娠初期で体調がすぐれない妊婦も多いことや、子育て世代包括支援センターが1箇所であるため、利便性の課題がある。				
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	引き続き、北朝霞方面への設置について検討する。また、訪問での対応など柔軟な対応を行う。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	92	部名	こども・健康部	課名	保育課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-2 地域における子育てのために				
施策の方向性	施策の方向性(1) 子育てネットワークの充実				
事業名	子育て支援センター事業				
事業概要	子育て中の保護者と児童を対象に、子育て支援センターにおいて、子育てに関する相談を受けるほか、各種事業を実施し、子育てサークルに活動場所を提供するなど支援する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	子育てに関する相談、指導、各種事業(誕生会、身体計測、食の安心サロン、児童の月齢に応じた集り等)を企画・実施した。 また、市内子育て支援センター8か所の職員を集めたセンター会議を2回開催し、新型コロナウイルス感染症等への対応や行事の開催方法など、各センターで実施している内容を共有するとともに、各センターの改善に取り組んだ。				
施策の進捗状況と成果 (令和5年度)	A	事業の実施により得られた成果	市内子育て支援センター 全8か所 (公設公営2か所、公設民営2か所、民設民営4か所)		
自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない			来所者数(公設公営のみ) 23,231人(前年度比1,038人増) 事業参加者数(公設公営のみ) 4,096人(前年度比270人減) 相談者数(公設公営のみ) 206人(前年度比11人増) 電話相談件数(公設公営のみ) 86件(前年度比23人増)		
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)	0歳児の集まるイベント、1歳児の集まるイベントなど、年齢を限定したイベントを実施したことで、同じ年齢の児童を持つ保護者が知り合える機会を提供することができた。また、子育てに関する相談を受け、保護者の育児に関する不安を軽減できたと考えるため。				
推進に関する課題	新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、外出を控えていた家庭が子育て支援センターを利用するなど、8施設合計で約3,600人の利用者増となった。事業の参加者が特定の利用者に偏らないように、新規の予約枠を設けるなど、新規利用者が子育て支援センターを利用しやすい環境を作っていく。				
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	民間の子育て支援センターの職員に対して、朝霞市が実施している子育て関連施策を共有し、各センターにおいて、保護者からの相談に対して、同様の対応ができるように研修会を実施する予定である。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート						
事業番号	93	部名	こども・健康部		課名	保育課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち					
基本方針	基本方針2-2 地域における子育てのために					
施策の方向性	施策の方向性(1)子育てネットワークの充実					
事業名	保育園園庭開放・いっしょに遊ぼう保育園で					
事業概要	保育所の遊びを通して未就園児の子育て家庭を支援するため、公立保育所の園庭を開放する。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	毎月2回、園庭で体操したり、日頃あそんでいる体操遊具(トンネル等)を出して自由にあそぶ。令和5年度より、コロナ禍で昨年度まで中止していた出張家庭児童相談室を再開した。 これまでの周知方法に加え、令和5年度より保育課で開設したツイッターによる周知を行ったこととコロナ明けが重なり、利用者数の増加が見られた。					
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	令和5年度 利用者数:大人730人 子ども757人 合計1,487人 令和4年度 利用者数:大人491人 子ども494人 合計985人			
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)						
推進に関する課題	後述の通り、令和6年度より出張家庭児童相談室が中止となるため、個別に適切な関係機関への橋渡しができるよう、きめ細かな対応が必要。					
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	引き続き、市保育課公式X(旧ツイッター)等で周知を行いながら、「園庭開放(いっしょにあそぼう保育園で)」として、毎月2回の園庭開放の中で自由にあそぶ事業を実施する。 出張家庭児童相談室事業については、共催しているこども未来課と協議した結果、令和6年度から中止とする。					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント				

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	94	部名	こども・健康部	課名	こども未来課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2ー2 地域における子育てのために				
施策の方向性	施策の方向性(2)子どもの健全育成の充実				
事業名	青少年育成事業				
事業概要	青少年健全育成団体に補助金を交付し、団体の活動を支援するとともに、関係機関・学校・地域と連携して、青少年健全育成啓発活動を実施する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	・青少年健全育成団体に補助金を交付し、団体の活動を支援した。 ・青少年健全育成の集い、ふれあい体験事業、駅頭キャンペーン、ふれあい標語、青少年を守り育成する家等の啓発活動事業を実施した。				
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	・青少年健全育成活動事業数 9回 ・青少年健全育成活動事業延べ参加者数 6, 271名		
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	青少年教育を所管する関係課と引き続き連絡調整を図るとともに、関係団体・学校・地域が連携して事業を実施できるよう努める。				
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	96	部名	学校教育部	課名	教育指導課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-2 地域における子育てのために				
施策の方向性	施策の方向性(2)子どもの健全育成の充実				
事業名	朝霞市ふれあい推進事業				
事業概要	地域における奉仕活動、体験活動等を展開し、心豊かな青少年の育成を図るとともに、地域で子供を育てる意識を醸成し、地域の教育力の活性化を図る。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	・朝霞市ふれあい推進事業推進委員会を組織し、事業の推進方策の検討・運営を行い、各中学校区での主催事業を支援した。				
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	・コロナ禍後、初めて5つの全中学校区において実施することができた。 ・学校と地域や家庭が連携し、子どもの健全育成に受けて地域に根差した活動を展開することができた。 ・事業参加者数 実績7,817人(前年度比 +2,322人)		
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)	令和4年度は新型コロナウイルスの影響により、2つの中学校区で実施できなかったが、令和5年度は全ての校区で開催でき、参加者も増加したため。				
推進に関する課題	・各中学校区での運営面での負担が大きい。				
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続。 5つの中学校区でふれあい推進事業を実施する。 5月28日に第1回ふれあい推進事業実行委員会を開催する。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	97	部名	市民環境部	課名	産業振興課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-2 地域における子育てのために				
施策の方向性	施策の方向性(3) 世代を超えた子育て支援の推進				
事業名	農業体験事業				
事業概要	市内の農家の協力のもと、都市農業への理解を深めるため、芋ほり、田植えなどの体験を通じて地域との交流を図る。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	・5月 田植え体験 参加人数:149人 ・6月 じゃがいも掘り体験 参加人数:280人 ・9月 稲刈り体験 参加人数:144人 ・10月 さつまいも掘り体験 参加人数:296人 ・12月 にんじん掘り体験 参加人数:431人				
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	活動指標 農業体験の開催回数 目標・計画:5回 実績:5回 成果指標 農業体験の参加人数 目標・計画:1260人 実績:1300人		
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)	いずれの指標も目標を達成することができた。コロナ5類を受けて、参加申込も回復傾向にあり、参加者が着実に増えているものと考えられる。				
推進に関する課題	農業体験事業は、生産者の協力が必要不可欠あり、当該事業が継続できるよう普段から生産者とコミュニケーションを図る必要がある。				
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	体験内容を見直しながら、引き続き事業を進めていく。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	98	部名	福祉部	課名	長寿はつらつ課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-2 地域における子育てのために				
施策の方向性	施策の方向性(3) 世代を超えた子育て支援の推進				
事業名	児童館における高齢者と児童の交流事業				
事業概要	老人クラブ会員が児童館事業の伝承遊びの講師として指導することにより、世代間の交流を行う。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における 推進に関する課題に対 する対応はどうだった のか)	◆浜崎老人福祉センター 1 はまさき児童館 夏祭りにて朝霞音頭を子供達と一緒に踊る 目 的:異世代間交流 実施日:R5.7.30(日) 対象者:老人福祉センター利用者、児童館利用者 参加者:165名(うち児童133名) 2 児童・障害者・高齢者合同コンサート 目 的:異世代間交流 実施日:R6.3.21(木) 対象者:老人福祉センター利用者、児童館利用者、 児童発達支援事業所利用者、福祉作業所利用者 参加者:89名 (うち児童36名、児童の保護者22名、障害者23名、 障害者の保護者2名) ◆溝沼老人福祉センター 1 児童館との子供達とテレビゲームで交流事業 目 的:異世代間交流 実施日:R5.8.9(水) 対象者:老人福祉センター利用者、児童館利用者 参加者:13名(うち児童8名) 2 バンパーゲームで遊ぼう 目 的:異世代間交流 実施日:R5.12.9(土) 対象者:老人福祉センター利用者、児童館利用者 参加者:10名(うち児童6名)				
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実 施により 得られた 成果	両センターとも学校の夏休みや冬休みなどを利用して企画を実施しているほか、新型コロナウイルスの類型見直しに伴い、多くの高齢者や児童に参加していただき、異世代間交流を図ることができた。		
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が 変わった又はA以外の評 価が連続している場合の み記載)					
推進に関する課題	多くの児童や高齢者に参加していただける事業の検討。				
令和6年度以降の具体的 取り組み (どんなことを予定してい るか)	多くの児童や高齢者に興味を持っていただける事業内容について、社会福祉協議会等と検討を行う。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗してい る C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	99	部名	危機管理室	課名	危機管理室
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-3 子どもの安心・安全のために				
施策の方向性	施策の方向性(1)子どもが犯罪・事故に巻き込まれない社会づくり ①子どもが犯罪に巻き込まれない社会づくり				
事業名	防犯灯設置工事費補助金の交付				
事業概要	地域の方々による防犯活動の推進を図るため、通学路を含めた道路などに設置する防犯灯に関する工事費を自治会・町内会等に補助する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	新たに防犯灯を設置する自治会・町内会等に対し、補助金を交付した。				
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	B	事業の実施により得られた成果	令和5年度成果目標「夜間の照明確保」 目標:適切に確保 実績:適切に確保		
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)	事業内容について、自治会・町内会等との協働が今後の課題であるため。				
推進に関する課題	自治会・町内会等との協働				
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	100	部名	危機管理室	課名	危機管理室
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-3 子どもの安心・安全のために				
施策の方向性	施策の方向性(1)子どもが犯罪・事故に巻き込まれない社会づくり ①子どもが犯罪に巻き込まれない社会づくり				
事業名	防犯灯維持管理費補助金の交付				
事業概要	地域の方々による防犯活動の推進を図るため、通学路を含めた道路などに設置した防犯灯の維持管理に関する費用を自治会・町内会等に補助する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	自治体・町内会等が設置した防犯灯の維持管理(電気料金)に対する補助を行う。				
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	B	事業の実施により 得られた 成果	令和5年度成果目標「夜間の照明確保」 目標:適切に確保 実績:適切に確保		
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)	事業内容について、自治会・町内会等との協働が今後の課題であるため。				
推進に関する課題	自治会・町内会等との協働				
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート						
事業番号	101	部名	危機管理室		課名	危機管理室
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち					
基本方針	基本方針2-3 子どもの安心・安全のために					
施策の方向性	施策の方向性(1)子どもが犯罪・事故に巻き込まれない社会づくり ①子どもが犯罪に巻き込まれない社会づくり					
事業名	広報による防犯啓発活動					
事業概要	防犯に対する意識啓発のため、市広報に防犯記事の掲載、防犯研修会・防犯街頭キャンペーンを実施する。また、青色防犯パトロールを運行し、注意喚起を行う。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	・青色防犯パトロールカーを運行し、注意喚起を行う。 ・毎週ホームページに朝霞警察署からの地域防犯ニュースを掲載している。					
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	青色防犯パトロールカーを243日運行			
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)						
推進に関する課題	特になし					
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント				

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	102	部名	危機管理室	課名	危機管理室
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-3 子どもの安心・安全のために				
施策の方向性	施策の方向性(1) 子どもが犯罪・事故に巻き込まれない社会づくり ①子どもが犯罪に巻き込まれない社会づくり				
事業名	朝霞防犯パトロール隊の認定				
事業概要	地域の方々による防犯活動の推進を図るため、防犯パトロールを実施する自主防犯組織を朝霞市防犯パトロール隊として認定する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	・防犯パトロールを実施する自主防犯組織の活動報告により、市内の防犯活動の状況把握を行う。 ・年間をとおして活動した自主防犯組織に対し、感謝状を贈呈する。 ・防犯パトロールを実施する自主防犯知識に対する補助を行う。				
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	B	事業の実施により得られた成果	令和5年度成果目標「自主防犯パトロール団体数」 目標:65団体 実績:62団体		
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)	自治会員の高齢化により新たに防犯パトロールを結成してもらうことが難しいため。				
推進に関する課題	自治会・町内会等との協働及び新規自主防犯パトロール団体の結成の推進				
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	103	部名	学校教育部	課名	教育総務課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-3 子どもの安心・安全のために				
施策の方向性	施策の方向性(1)子どもが犯罪・事故に巻き込まれない社会づくり ①子どもが犯罪に巻き込まれない社会づくり				
事業名	防犯ブザーの貸与				
事業概要	小・中学生全員に防犯ブザーを貸与する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推 進に関する課題に対する 対応はどうだったのか)	朝霞市内の小・中学校全児童生徒のほか、市内在住で国立・私立等の小・中学校へ 通学し貸与を希望する児童生徒に対し、登下校時及び放課後の安全対策の一環と して防犯ブザーを貸与する。また、貸与時に使用方法等を指導する。				
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実 施により 得られた 成果	継続(目標値等の設定なし)		
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が 変わった又はA以外の評 価が連続している場合の み記載)					
推進に関する課題	特になし				
令和6年度以降の具 体的取り組み (どんなことを予定して いるか)	現状事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	104	部名	学校教育部	課名	教育管理課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-3 子どもの安心・安全のために				
施策の方向性	施策の方向性(1)子どもが犯罪・事故に巻き込まれない社会づくり ①子どもが犯罪に巻き込まれない社会づくり				
事業名	通学路の安全点検				
事業概要	毎年通学路の危険箇所について安全点検を行うことにより、通学路の安全確保に努める。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	各学校において通学路安全点検を行うことにより、学校等から報告を受けた通学路の危険箇所について市役所の関係各課と協力し、整備や修繕を行うことで、通学路の安全対策を図っていく。				
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	各学校等から報告を受けた通学路の危険箇所の多くの部分において、整備や修繕を行うことで、通学路の安全が確保された。また、通学路の危険箇所について市役所と学校とで認識の共有が図られた。		
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	今後も継続して学校に調査依頼することにより、通学路の状況を適宜把握していく。				
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業を継続する。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	105	部名	学校教育部	課名	教育指導課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-3 子どもの安心・安全のために				
施策の方向性	施策の方向性(1)子どもが犯罪・事故に巻き込まれない社会づくり ①子どもが犯罪に巻き込まれない社会づくり				
事業名	朝霞市生徒指導委員会の開催				
事業概要	生徒指導に関する実質的な課題解決のために、朝霞市生徒指導委員会を開催し、生徒指導に関しての連携を図る。学校間の情報交換をはじめ、非行・問題行動等の対策について協議する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	委員会を年に2回開催し、情報交換を行うとともに、連携を図った。また、朝霞市小・中連携推進協議会を同時開催し、各中学校区で実質的な生徒指導上の連携を強化した。				
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	・朝霞市小・中連携推進協議会を発足させ、各中学校区で実質的な生徒指導上の連携を強化した。 ・学区内外の生徒指導に関する取組についての情報交換及び、新しい知見の情報提供ができた。		
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	小学校と中学校の実効性の高い行動連携。及び各中学校区での特色ある取組。				
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	106	部名	学校教育部	課名	教育指導課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-3 子どもの安心・安全のために				
施策の方向性	施策の方向性(1) 子どもが犯罪・事故に巻き込まれない社会づくり ①子どもが犯罪に巻き込まれない社会づくり				
事業名	朝霞地区学校警察連絡協議会の開催				
事業概要	学校と警察が連携し、犯罪から児童生徒を守るための連絡会を開催する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推 進に関する課題に対する 対応はどうだったのか)	・総会・全体協議会を実施。 ・第2回総会、講演会及び朝霞警察署との情報交換会を実施。				
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	B	事業の実 施により 得られた 成果	子どもたちをそれぞれの立場から見ることや、行動連携により、子どもたちの健全育成に努めることができる。		
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が 変わった又はA以外の評 価が連続している場合の み記載)	過渡期を迎え、事業内容を検討しているため。				
推進に関する課題	各市立小・市立中・朝霞警察管内高等学校と警察、教育委員会との行動連携。				
令和6年度以降の具 体的取り組み (どんなことを予定して いるか)	・5月中旬、役員会開催。 ・5月下旬、全体協議会を開催。 ・10月中旬、第2回役員会開催。 ・10月下旬、講演会及び朝霞警察署との情報交換会を実施。 ・2月上旬、第3回役員会開催。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	107	部名	学校教育部	課名	教育指導課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-3 子どもの安心・安全のために				
施策の方向性	施策の方向性(1)子どもが犯罪・事故に巻き込まれない社会づくり ①子どもが犯罪に巻き込まれない社会づくり				
事業名	通学路等での定期・臨時パトロールの実施				
事業概要	学校付近や通学路をPTAやボランティア等が連携してパトロール活動を行う。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	・スクールガードリーダー及びボランティアが連携してパトロールを行った。 ・スクールガード・アドバイザーとの連絡回数を増やした。 ・スクールガードを対象とした講習会を開催し、埼玉県県民生活部の職員による講演を実施。				
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	目標値等は定めていない 継続		
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	各学校のスクールガード・リーダー同士の連携がなかなか取れない。 中学校・小学校での見守り活動の連携。				
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	・現行事業の継続 ・スクールガード養成講習会を実施する際、各学校のスクールガード・リーダーお方に出席してもらうよう依頼し、開会前に顔合わせを実施する。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	108	部名	学校教育部	課名	教育指導課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-3 子どもの安心・安全のために				
施策の方向性	施策の方向性(1)子どもが犯罪・事故に巻き込まれない社会づくり ①子どもが犯罪に巻き込まれない社会づくり				
事業名	非行防止教室の実施				
事業概要	各学校が保護者、地域、警察等の関係機関と連携を図り、児童生徒の非行・問題行動等の予防・根絶を図ることを目的とし、講演会等の取組を実施する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	各学校の実態に応じ、朝霞警察や埼玉県警、NPO等と連携し、非行防止教室(講演会等)を開催した。				
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	各学校の実態に応じて、教員の話だけでなく、警察官をはじめとする専門家から、より具体的な内容の話を聞くことで、子どもたちの規範意識を高めることができた。		
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	警察、関係機関、学校の連携。保護者の参加。学校の実施状況の把握。児童生徒の実態に応じたテーマ設定。 スマートフォン等が関係するトラブルや非行を防ぐための啓発。				
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート						
事業番号	109	部名	都市建設部		課名	まちづくり推進課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち					
基本方針	基本方針2-3 子どもの安心・安全のために					
施策の方向性	施策の方向性(1)子どもが犯罪・事故に巻き込まれない社会づくり ②子どもが交通事故に巻き込まれない社会づくり					
事業名	道路区画線の工事					
事業概要	グリーンベルトや外側線等の新設及び摩耗した区画線の引き直しを行い交通安全の確保に努める。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	市民(自治会・小学校等)からの要望を受け、朝霞警察署等の関係機関と連携の上、外側線・グリーンベルト等の新設及び摩耗している区画線の復旧工事を実施し、車両の通行帯を明確にすることで歩行者の安全確保に努めた。					
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実 施により 得られた 成果	道路区画線等路面表示 R5目標 6,000 m R5実績 5,324.9 m グリーンベルト等のカラー表示 R5目標 150 m ² R5実績 109.6 m ²			
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が 変わった又はA以外の評価 が連続している場合のみ記載)						
推進に関する課題	本来であれば、長期的、中期的な視点に基づき、配置や予算に対する事業計画を立てて実施するべきであるが、対応に緊急性があることから随時対応を行っている。					
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント				

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート						
事業番号	110	部名	都市建設部		課名	まちづくり推進課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち					
基本方針	基本方針2-3 子どもの安心・安全のために					
施策の方向性	施策の方向性(1)子どもが犯罪・事故に巻き込まれない社会づくり ②子どもが交通事故に巻き込まれない社会づくり					
事業名	交通立看板、警戒標識等の設置					
事業概要	道路交通環境の整備として、交通事故発生箇所などを再点検し、交通安全の確保を行う。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	通学路等における危険箇所や、自動車・自転車運転者などへの注意喚起を促すため、交通安全啓発看板を設置した。					
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	交通安全啓発看板の作成、設置数 R5実績 50枚 危険な箇所に対する注意喚起を行うことで、安全意識の向上を図ることができた。			
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)						
推進に関する課題	看板の設置にあたっては、道路構造に適したものを設置する。また、既存の看板等の維持管理が必要になる。					
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント				

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	111	部名	都市建設部	課名	まちづくり推進課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-3 子どもの安心・安全のために				
施策の方向性	施策の方向性(1)子どもが犯罪・事故に巻き込まれない社会づくり ②子どもが交通事故に巻き込まれない社会づくり				
事業名	新入学児童への交通安全教育の実施				
事業概要	新入学児童を対象に教育用信号機を使った交通安全教育を警察署員、各小学校教員が実施する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推 進に関する課題に対する 対応はどうだったのか)	新入学児童を対象に、教育用信号機を用いた交通安全教育を警察署、小学校等の関係機関による連携のもと実施した。				
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実 施により 得られた 成果	安全教育の実施により、交通ルールを学ぶとともに、交通安全意 識の高揚につながった。 【実施数】 小学校 10校		
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が 変わった又はA以外の評 価が連続している場合の み記載)					
推進に関する課題	特になし				
令和6年度以降の具体 的取り組み (どんなことを予定して いるか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	112	部名	都市建設部	課名	まちづくり推進課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-3 子どもの安心・安全のために				
施策の方向性	施策の方向性(1)子どもが犯罪・事故に巻き込まれない社会づくり ②子どもが交通事故に巻き込まれない社会づくり				
事業名	保育園児、幼稚園児に交通ルールの指導				
事業概要	パネルシアターやビデオ上映等を行い、園児に正しい交通ルールを警察署員が指導する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推 進に関する課題に対する 対応はどうだったのか)	保育園児、幼稚園児を対象に、プロジェクターを使った交通安全教育を警察署員が実施した。				
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実 施により 得られた 成果	安全教育の実施により、交通ルールを学ぶとともに、交通安全意識の高揚につながった。 【実施数】 保育園: 35園 幼稚園: 7園 合 計: 42園		
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が 変わった又はA以外の評 価が連続している場合の み記載)					
推進に関する課題	年々、対象保育園が増加しており、保育園の行事等の関係上、日程調整が困難になってきている。				
令和6年度以降の具 体的取り組み (どんなことを予定して いるか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート						
事業番号	113	部名	都市建設部		課名	まちづくり推進課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち					
基本方針	基本方針2-3 子どもの安心・安全のために					
施策の方向性	施策の方向性(1)子どもが犯罪・事故に巻き込まれない社会づくり ②子どもが交通事故に巻き込まれない社会づくり					
事業名	交通安全運動チラシによる啓発活動					
事業概要	交通事故防止、交通安全意識の普及を図るため、啓発活動を展開する。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	四半期ごとにごとに実施している街頭活動のほか、市ホームページや広報あさかへの交通安全に関する啓発記事の掲載、総合防災訓練と同時に開催された「朝霞市防災フェア」に交通安全ブースを出展した。また、交通安全作品の受賞作品を基に横断幕、ポスター、立て看板を作成する等、様々な機会を捉えて交通安全等に関する啓発を実施した。					
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	年間交通事故発生件数(人身事故) R5目標 275件 R5実績 264件			
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)						
推進に関する課題	特になし					
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント				

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	114	部名	学校教育部	課名	教育指導課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-3 子どもの安心・安全のために				
施策の方向性	施策の方向性(1)子どもが犯罪・事故に巻き込まれない社会づくり ②子どもが交通事故に巻き込まれない社会づくり				
事業名	自転車運転免許制度の実施				
事業概要	朝霞警察署が主体となり、市内小学校4年生児童全員に、自転車運転の試験を行う。その結果、免許を児童がもらい、安全に自転車に乗るよう指導していく。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推 進に関する課題に対する 対応はどうだったのか)	・夏季休業の事故防止と安全意識を向上させるため、5月～6月に市内小学校4年生 を対象に自転車免許運転実技試験の実施を計画し、朝霞警察署、学校、まちづくり 推進課、交通指導員、教育管理課、教育指導課が協力し、自転車を安全に運転す るために大切なことについて指導した。				
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実 施により 得られた 成果	目標値等は定めていない。 継続 コロナ禍前の通常の形態で実施できた。		
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が 変わった又はA以外の評 価が連続している場合の み記載)					
推進に関する課題	交通ルールを守る姿勢を育むとともにヘルメットの着用を推進する。				
令和6年度以降の具体 的取り組み (どんなことを予定して いるか)	事業を継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	115	部名	総務部	課名	財産管理課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2ー3 子どもの安心・安全のために				
施策の方向性	施策の方向性(2)ユニバーサルデザインに配慮したまちづくり				
事業名	すべての方が利用しやすい公共施設の整備				
事業概要	市民の意見・要望を踏まえ、すべての方が利用しやすいよう市内の公共施設の整備を推進する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	令和5年度は朝霞第六小学校校舎増築工事や朝霞第九小学校校舎増築工事、武道館耐震等改修工事設計業務委託、仲町市民センター大規模改修工事設計業務委託においてエレベータの設置やその他ユニバーサルデザイン・バリアフリー化について工事および設計を行った。				
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	すべての方が利用しやすい公共施設となる整備を行うための設計を行った。		
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	市民の意見・要望を踏まえ、すべての方が利用しやすいよう市内の公共施設の整備を引き続き推進する。				
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	朝霞市公共施設等マネジメント実施計画に基づき、施設の長寿命化改修、大規模改修工事等を行う際に、併せてユニバーサルデザインの深化、バリアフリー化推進を図る。 令和6年度は朝霞第六小学校校舎増築工事や朝霞第九小学校校舎増築工事、武道館耐震等改修工事、仲町市民センター大規模改修工事、中央公民館長寿命化改修工事設計業務委託においてエレベーターの設置やその他、ユニバーサルデザイン・バリアフリー化について工事および設計を行う予定。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	116	部名	都市建設部	課名	まちづくり推進課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-3 子どもの安心・安全のために				
施策の方向性	施策の方向性(2)ユニバーサルデザインに配慮したまちづくり				
事業名	都市計画道路整備事業				
事業概要	都市計画道路を整備することで、歩車道の分離や自転車通行帯の整備などを図り、歩行者や自転車の安全性の確保を目指す。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推 進に関する課題に対する 対応はどうだったのか)	- 取得した事業用地について、除草委託及び木柵設置工事、歩道整備工事を実施することで、適切な維持管理ができた。 - 新たな事業用地取得に向けて不動産鑑定及び測量委託を実施し、岡通線において1件の土地売買契約を締結した。				
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実 施により 得られた 成果	- 取得した事業用地について、除草委託及び木柵設置工事、歩道整備工事を実施することで、適切な維持管理ができた。 - 新たな事業用地取得に向けて不動産鑑定及び測量委託を実施し、岡通線において1件の土地売買契約を締結した。		
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が 変わった又はA以外の評 価が連続している場合の み記載)					
推進に関する課題	特になし				
令和6年度以降の具 体的取り組み (どんなことを予定して いるか)	駅東通線及び岡通線については、引き続き用地取得に向けた交渉を進めていく。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	117	部名	都市建設部	課名	道路整備課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-3 子どもの安心・安全のために				
施策の方向性	施策の方向性(2)ユニバーサルデザインに配慮したまちづくり				
事業名	市道整備・道路管理の充実				
事業概要	主要市道に歩道を整備し、歩行者等の安全を確保する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	用地の協力が得られた箇所について歩道整備を行うことで、歩行者等の安全を確保した。 市道20号線歩道築造工事				
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	B	事業の実施により得られた成果	令和5年度 活動指標 歩道整備延長 目標 L=117.4m 実績 L=38m 成果指標 歩道整備率 目標 100% 実績 32%		
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)	歩道築造工事の1件が令和6年度に繰越となり目標を下回ったが、繰越した工事においても可能な限り工事を進めることができたため。				
推進に関する課題	歩道整備のための用地交渉にあたり、厳しい財政状況の影響や関係地権者の理解と協力を得られないこともあり、一気に進捗しない難しさがある。				
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	118	部名	学校教育部	課名	教育管理課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-3 子どもの安心・安全のために				
施策の方向性	施策の方向性(2)ユニバーサルデザインに配慮したまちづくり				
事業名	学校施設に対する教室等の空気検査				
事業概要	・教室等の空気検査を小中学校5校で実施（全15校を5校毎にローテーション実施） ・ダニの検査を小中学校15校で実施				
具体的な事業内容 （どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか）	・中学校5校の教室等のホルムアルデヒド及びトルエン含有量の分析を実施 ・各小中学校の保健室等の寝具等のダニ検査を実施				
施策の進捗状況と成果 （令和5年度） 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	教室等の空気検査及び保健室等のダニ検査を実施することにより児童生徒に対して良好な学校環境の維持が図られた。		
自己評価ランクの理由 （令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載）					
推進に関する課題	今後も継続して検査を実施することにより良好な学校環境を整備する。				
令和6年度以降の具体的な取り組み （どんなことを予定しているか）	現行事業を継続する。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 （令和5年度） A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート						
事業番号	119	部名	こども・健康部		課名	保育課
基本目標	基本目標3 すべての子どもが質の高い教育・保育を受けるまち					
基本方針	基本方針3－1 教育・保育の充実のために					
施策の方向性	施策の方向性(1)幼稚園、認定こども園、保育所、小規模保育事業等の充実 ①保育所、地域型保育給付施設の整備					
事業名	保育事業					
事業概要	仕事や疾病などで、家庭において子どもを保育できない場合に、保護者に代わって保育園や小規模保育事業での保育を行う。また、待機児童解消のため、適切な定員設定や保育施設の整備を進める。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	適切な定員設定として、令和4年4月入所に引き続き、令和5年4月入所の定員について公設保育園の0歳児受入人数を減少して設定(受入減により翌年度1歳児としての受入増に繋がる内容)。 また、待機児童解消に向けて、保育所2施設が令和5年4月から開所した。					
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	受入定員 4,062人(令和6年4月1日) 保育園 3,467人 認定こども園 147人 小規模 441人 事業所内 7人 入所児童 3,854人(令和6年4月1日時点) 保育園 3,279人 認定こども園 146人 小規模 423人 事業所内 6人 待機児童 17人(R6年4月)、9人(R5年4月)、21人(R4年4月)			
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)						
推進に関する課題	保育園を希望する家庭が増加する中、待機児童の解消に至っていない。					
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続に加え、待機児童の発生要因を分析し、各年齢による定員配分の見直しを行うなど、待機児童の解消に向けた取組を行う。					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント				

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート						
事業番号	120	部名	こども・健康部		課名	保育課
基本目標	基本目標3 すべての子どもが質の高い教育・保育を受けるまち					
基本方針	基本方針3－1 教育・保育の充実のために					
施策の方向性	施策の方向性(1)幼稚園、認定こども園、保育所、小規模保育事業等の充実 ①保育所、地域型保育給付施設の整備					
事業名	認可外保育施設等利用補助事業					
事業概要	認可外保育施設を利用する保護者に対し、補助金を交付する。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	認可外保育施設に通う児童の保護者が、幼児教育・保育の無償化を受けることができる者であることを確認し、認定した。 保育料の無償化分の請求(上限37,000円/月または上限42,000円/月)に対しては、提出書類を審査し、遅滞なく給付した。					
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	対象施設数 12施設 対象者数 18人			
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)	利用開始日より前の認定申請を徹底し、無償化分の請求が保護者からあった場合は、提出書類を審査し、遅滞なく給付をすることができたため。					
推進に関する課題	幼児教育・保育の無償化に伴い、対象となる人がサービスを利用するためには、利用開始日前に認定を受ける必要がある。また、原則、無償化分の支払いについては、償還払いであることから、時効が2年であることを改めて周知し、保護者の請求漏れがないように取り組む必要がある。					
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	認可外保育施設は、国が定める「認可外保育施設指導監督基準」を満たす必要があるが、現在、経過措置として5年間の猶予期間が設けられている。この猶予期間は、令和6年9月30日までであることから、令和6年10月1日以降に、当該基準を満たしていない施設は、無償化の対象とはならない(朝霞市は猶予期間を設けていないが、他市では事例あり)。認可外保育施設を利用している(利用を考えている)保護者に対しては、施設に無償化の対象であることを確認した上で、入園するよう周知を進めていく。					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント				

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート						
事業番号	121	部名	こども・健康部		課名	保育課
基本目標	基本目標3 すべての子どもが質の高い教育・保育を受けるまち					
基本方針	基本方針3－1 教育・保育の充実のために					
施策の方向性	施策の方向性(1)幼稚園、認定こども園、保育所、小規模保育事業等の充実 ①保育所、地域型保育給付施設の整備					
事業名	家庭保育室補助事業					
事業概要	認可外保育施設で市と指定契約を結んだ施設（家庭保育室）に対する運営費補助を行う。また、保護者に対して、保育料軽減費補助を行う。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	認可外保育施設で市と指定契約を結んだ施設(家庭保育室)に運営費補助金を交付するとともに、家庭保育室を利用した保護者に対して、保育料を補助した。					
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	家庭保育室 市内1か所 市外1か所 合計2か所 年間延べ利用者数(令和5年度) 0歳児 43人(うち市外施設利用18人) 1歳児 73人(うち市外施設利用3人) 2歳児 11人(うち市外施設利用0人) 合計 127人(うち市外施設利用21人)			
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)						
推進に関する課題	認可保育園等との保育料格差が課題					
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	認可保育園の定員数増加により、家庭保育室の利用者は減少しているが、家庭保育室の需要が一定数あることから、現行事業を継続していく。					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント				

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート						
事業番号	122	部名	こども・健康部		課名	保育課
基本目標	基本目標3 すべての子どもが質の高い教育・保育を受けるまち					
基本方針	基本方針3－1 教育・保育の充実のために					
施策の方向性	施策の方向性(1)幼稚園、認定こども園、保育所、小規模保育事業等の充実 ②幼稚園の利用促進					
事業名	幼稚園事業					
事業概要	県等の認可を受けている私立幼稚園（私学助成）に就園する園児の施設利用費を補助するほか、保育の必要性の認定を受けた保護者に預かり保育補助金を交付する。また、低所得者等に副食費を補助する。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	満3～5歳児クラスの児童(市民)が在籍する幼稚園に対し、1人当たり月額25,700円を上限に入園料及び利用料を補助した。 保育の必要性の認定を受けた保護者に預かり保育補助金を交付した。 低所得者等に副食費(おかず代)を補助した。					
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	私立幼稚園(私学助成)数 21園 私立幼稚園(私学助成)在籍者数 1,758人 預かり保育補助金対象者数 601人（前年度比147人増） 副食費補助金申請者数 127人（前年度比64人増）			
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)	対象者が在籍する私立幼稚園に対し、月額25,700円を上限に入園料及び利用料を遅滞なく交付できた。また、預かり保育補助金及び副食費補助金の申請があった際には、提出書類を審査し、遅滞なく交付したため。					
推進に関する課題	幼児教育・保育の無償化に伴い、対象となる人がサービスを利用するためには、利用開始日前に認定を受ける必要があるが、保護者の中には、サービスの利用を開始してから申請書を提出する人もいることから、幼稚園との連携を図る。また、原則、預かり保育及び副食費の各補助金の支払いについては、償還払いであることから、時効が2年であることを改めて周知し、保護者の請求漏れがないように取り組む必要がある。					
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	共働き世帯の増加などで、保育園を希望する世帯が増え、幼稚園利用者が減少傾向にある。市内幼稚園8園すべてにおいて預かり保育を実施し、働きながら幼稚園に通うことができる環境を整えていることから、幼稚園の利用を積極的に進めていきたいと考えている。					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント				

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート						
事業番号	124	部名	こども・健康部		課名	こども未来課
基本目標	基本目標3 すべての子どもが質の高い教育・保育を受けるまち					
基本方針	基本方針3ー2 ライフスタイルに応じた子育て支援のために					
施策の方向性	施策の方向性(1)多様なニーズにこたえる子育て支援の充実					
事業名	子育て短期支援事業(ショートステイ事業)					
事業概要	保護者の疾病や仕事等により、子どもを養育することが困難になった場合に、一時的に市内の里親宅でその子どもの預かりを行う。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	保護者からの相談を受けて子どもの状況に合った里親を選定し、里親宅で一定期間養育を行った。 地区里親会の総会や、所沢児童相談所の里親認定調査に同行するなどして、里親に事業への協力を依頼し、11世帯の里親と委託契約を締結した。 委託契約を締結した11世帯のうち、6世帯に事業を委託した。					
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	令和5年度実績 委託里親6世帯 ショートステイ委託日数92日、委託児童数延べ33人 児童内訳:2歳未満1人、2歳以上32人 利用目的:レスパイト11件、父母の仕事18件、父母の休養4件			
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)						
推進に関する課題	ショートステイ事業の市民への周知。 委託里親の確保。 里親制度の広報。					
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続。 相談業務を通じ、ショートステイ事業を周知。					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント				

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	125	部名	こども・健康部	課名	保育課
基本目標	基本目標3 すべての子どもが質の高い教育・保育を受けるまち				
基本方針	基本方針3-2 ライフスタイルに応じた子育て支援のために				
施策の方向性	施策の方向性(1) 多様なニーズにこたえる子育て支援の充実				
事業名	ファミリー・サポート・センター事業				
事業概要	子どもを預けたい人からの依頼に対し、アドバイザーが子どもを預かる人を斡旋する。 子どもを預けたい人、子どもを預かりたい人、両方をしたい人の会員登録するための説明会を開催し、受講が完了した人の会員登録の管理を行う。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	入会説明会を3回、サポート会員養成講習会を2回、ステップアップ講習会を1回開催した。サポート会員の獲得に向け、自治会にも協力を依頼したほか、市広報紙に掲載するとともに市HPも適切に更新し、目に届くように工夫をした。 また、令和5年度は、朝霞市ファミリー・サポート・センターの発足20年であることから、令和5年11月に、記念事業として、会員の交流の場としての全体交流会を朝霞の森において実施した。				
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	会員数(令和5年度末現在) 1,883人 (前年度比144人増) (内訳) ファミリー会員 1,611人 (前年度比151人増) サポート会員 199人 (前年度比7人増) 両方会員 73人 (前年度比14人減) 延べ活動回数 4,669回 (前年度比741回増)		
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)	サポート会員養成講習会には、毎回10人を超える参加者があり、若干数ながらサポート会員数を増やすことができた。				
推進に関する課題	令和4年度と比較し、サポート会員を増やすことはできたが、子どもを預けたい人の要望に十分に対応するために、さらなるサポート会員の成り手を増やしていく必要がある。				
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	サポート会員を増やすために、サポート会員養成講習会を広く周知する。 また、市HP・市広報紙・保育課SNSのほか、朝霞駅前の掲示板や市内商業施設等への掲示などについても引き続き依頼を行い、周知に努める。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	126	部名	こども・健康部	課名	保育課
基本目標	基本目標3 すべての子どもが質の高い教育・保育を受けるまち				
基本方針	基本方針3-2 ライフスタイルに応じた子育て支援のために				
施策の方向性	施策の方向性(1) 多様なニーズにこたえる子育て支援の充実				
事業名	延長保育事業(時間外保育事業)				
事業概要	保育園を利用する保護者の就労時間の長時間化や通勤範囲の広がり等に伴う、保育時間のニーズを把握し、延長保育の充実をすすめる。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	保育園の開所時間を午後7時まで時間延長(一部の園では午後8時まで)する。				
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	市内保育施設数:72 延長保育実施数 午後7時まで:41 午後7時30分まで:13 午後8時まで:18		
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	延長保育料の設定				
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	127	部名	こども・健康部	課名	保育課
基本目標	基本目標3 すべての子どもが質の高い教育・保育を受けるまち				
基本方針	基本方針3-2 ライフスタイルに応じた子育て支援のために				
施策の方向性	施策の方向性(1) 多様なニーズにこたえる子育て支援の充実				
事業名	一時預かり事業				
事業概要	保護者の就労、病気、育児疲れ解消（リフレッシュ）等の理由により、家庭での保育が困難な小学校入学前の児童を一時的に保育する。また、指定家庭保育室で、保育所と同様に一時保育を実施している場合、保育料を補助する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	公設公営園2園、公設民営園1園、民設民営園1園の計4園で一時預かり事業を実施した。また、幼稚園型Ⅰで一時預かり事業を実施した5園に対し、補助金を交付した。 低所得者(住民税非課税世帯)等に対し、保育料を軽減した。				
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	利用者数 東朝霞保育園(公設公営) R5年度:520人 R4年度:412人 さくら保育園(公設公営) R5年度:1,006人 R4年度:514人 仲町保育園(公設民営) R5年度:1,428人 R4年度:1,885人 朝霞どろんこ保育園(民設民営) R5年度:28人 R4年度:3人 (※朝霞どろんこ保育園は令和4年度の11月から3月まで事業休止)		
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)	昨年度の課題に取り組むことができ、リフレッシュが必要な世帯の利用者数が増えたため。 (※リフレッシュによる利用者数:公設3園で、前年度比229件の増)				
推進に関する課題	引き続き、利用したい人が利用できるように制度の周知を充実させる。				
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	市HPのほか、保育課のSNSを活用して広く制度を周知するよう努め利用したい人が利用できるようにする。また保護者が気軽に見れるようなリーフレットを作成し、周知を図る。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	128	部名	こども・健康部	課名	保育課
基本目標	基本目標3 すべての子どもが質の高い教育・保育を受けるまち				
基本方針	基本方針3-2 ライフスタイルに応じた子育て支援のために				
施策の方向性	施策の方向性(1) 多様なニーズにこたえる子育て支援の充実				
事業名	休日保育事業				
事業概要	休日に保護者の就労等で保育を必要とする児童を対象に、保育所において保育を行う。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	年末年始(12月29日～1月3日)を除く日曜、祝日などに保育園において保育を実施した。 実施保育園:仲町保育園				
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	実施保育園 仲町保育園 対象児童 8か月～5歳 利用者数(延べ) 令和5年度:417人 令和4年度:437人		
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	利用者との連携を図り、必要な連絡、確認等に関して十分な対応が行えるよう、改めて周知を図っていく。				
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	129	部名	こども・健康部	課名	保育課
基本目標	基本目標3 すべての子どもが質の高い教育・保育を受けるまち				
基本方針	基本方針3-2 ライフスタイルに応じた子育て支援のために				
施策の方向性	施策の方向性(1)多様なニーズにこたえる子育て支援の充実				
事業名	病児保育事業				
事業概要	児童が急な病気となり、保育所等が利用できず、また、保護者も就労などにより、保育ができない場合に、病院などに併設される専用の保育室で、看護師等が一時的に児童を保育する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	病児保育室たまご(運営主体:TMGあさか医療センター)にて病児保育を実施した。 生活保護受給世帯等が病児保育を利用した場合に、利用料を補助した。				
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	B	事業の実施により得られた成果	病児保育室たまご 新規登録者数 R5年度: 94人 R4年度:52人 R3年度:93人 利用者数 R5年度:117人 R4年度:43人 R3年度:59人		
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)	市民を優先的に受け入れてもらうように協定を結んでいることから、急な病気により保育所等が利用できない児童に対して保育を提供でき、利用者数は前年度に比べて大幅に増えたものの、事前の登録が必要であることについては制度の周知が今後必要であると考えするため。				
推進に関する課題	事前の登録が必要であることから、利用方法や利用条件の周知徹底を図る。				
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	市HPのほか、保育課のSNS等を活用して広く制度を周知し、病児保育の利用を必要とされる方が、必要な時に利用できるようにする。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	130	部名	こども・健康部	課名	保育課
基本目標	基本目標3 すべての子どもが質の高い教育・保育を受けるまち				
基本方針	基本方針3-3 教育・保育の質を高めるために				
施策の方向性	施策の方向性(1) 教育・保育に携わる人材の確保・資質向上				
事業名	保育士研修事業				
事業概要	県や関係機関等の主催する各種研修会等への保育士の派遣や、内部での研修会などを開催し、職員等の資質の向上を図る。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	県や関係機関等の主催する各種研修会等に保育士を派遣。 保育園等の職員を対象とした保育園職員研修会を実施。				
施策の進捗状況と成果 (令和4年度末) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	各種研修会等への参加を通じて、職員等の資質の向上に繋げることができた。 各種研修会等への保育士の派遣: 213人 保育園職員研修会: 計4回開催、762人(公立669人・民間93人)		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	保育園職員研修会等の開催や各種研修会への保育士の派遣の継続。				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続。 令和6年度も引き続き、民間保育所にも研修の案内を行う。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	131	部名	こども・健康部	課名	保育課
基本目標	基本目標3 すべての子どもが質の高い教育・保育を受けるまち				
基本方針	基本方針3－3 教育・保育の質を高めるために				
施策の方向性	施策の方向性(1)教育・保育に携わる人材の確保・資質向上				
事業名	保育士等人材確保事業				
事業概要	市内の認可保育園や小規模保育施設における保育士等の不足解消及び放課後児童クラブ指導員を確保するため、就職を希望する方（学生・転職・再就職）を対象として、合同の保育園職員・放課後児童クラブ指導員就職相談会を実施する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	市内の保育園等の魅力や保育理念並びに運営などを知っていただくため、合同の就職相談会を実施する。				
施策の進捗状況と成果 (令和2年度末) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	ハローワーク朝霞や埼玉県雇用対策協議会との連携や、産業振興課主催の「就職支援セミナー」を同時開催などを行い、就職相談会を開催した。すべての法人ブースで相談が行われ、職員の採用に繋げることができた。新型コロナウイルスの感染対策を行いながら、10法人が参加し就職相談会を実施することができた。 参加者数:48名(令和5年度)		
自己評価ランクの理由 (前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	学生の就職活動に合わせた周知方法の変更。				
令和5年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続。 また、令和5年度は、これまでの周知方法に加え、公立保育園で学生の保育実習を受け入れている大学などへの周知やX(エックス)による周知を行ったため、令和6年度も同様に周知していく。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和4年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	132	部名	学校教育部	課名	教育指導課
基本目標	基本目標3 すべての子どもが質の高い教育・保育を受けるまち				
基本方針	基本方針3-3 教育・保育の質を高めるために				
施策の方向性	施策の方向性(1) 教育・保育に携わる人材の確保・資質向上				
事業名	小学校と幼稚園・保育所の連携				
事業概要	・「朝霞市幼児教育振興協議会」を中心とし、保育園見学、小学校生活科の授業公開、小学校教員と保育園・幼稚園・こども園の職員との情報交換会等を行い、保幼小の連携を図る。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	①令和5年度朝霞市幼児教育振興協議会に係る幼・保・小合同研修会および保育園見学会 令和5年度2月8日・2月14日・2月20日 市内幼稚園3園公開 ②「令和5年度小学校入学に係る保幼小連絡会」朝霞市民会館にて開催。小学校教員と保育園・幼稚園・こども園の職員との情報交換会を実施。 令和5年1月31日 ③ 生活科授業参観・合同研修会 11月7日 (朝霞三小)				
施策の進捗状況と成果 (令和5年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	・幼児教育と小学校教育に携わる教員・職員間で、情報共有を図り、指導に生かすことができた。 ・「令和6年度入学に係る保幼小連絡会」を開催し、新就学時に 関する情報共有を図ることができた。		
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	特になし				
令和6年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	・「令和6年度朝霞市幼児教育振興協議会に係る生活科授業参観・合同研修会及び生活科主任研修会」の会場は朝霞第五小学校の予定。 ・「令和7年度小学校入学に係る保幼小連絡会」令和7年1月下旬に開催予定。 ・「保育園見学」(小学校教員対象)を3学期(1～2月)に実施の方向で準備中。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

子ども・子育て支援事業計画 支援事業 評価シート

評価者氏名 _____

子ども・子育て支援事業計画（支援事業）評価シートは、15の事業計画について、全ての委員に評価（A・B・C・D）と理由を記載いただくものです。（令和5年度実績）

事業番号	評 価	理 由
5		
6－（１）		
6－（２）		
6－（３）		
6－（４）		
6－（５）		
6－（６）		
6－（７） ①		

提出物 1 : 必須

事業番号	評 価	理 由
6－(7) ②		
6－(8)		
6－(9)		
6－(10)		
6－(11)		
6－(12)		
6－(13)		

※全員提出となります。

※すべての事業について、評価（コメントはある場合のみ）を御記入ください。

9月20日（金）までに、こども未来課へ御提出ください。

こども未来課 宛

氏名

質問票

事業（複数回答可、質問する事業番号に○をつけてください）	
【支援事業】	
5	幼児期の学校教育・保育の提供
6-(1)	延長保育事業（時間外保育事業）
6-(2)	放課後児童クラブ
6-(3)	子育て短期支援事業（ショートステイ事業）
6-(4)	乳児家庭全戸訪問事業
6-(5)	養育支援訪問事業及び要保護児童支援事業
6-(6)	地域子育て支援拠点事業
6-(7)-①	一時預かり事業（幼稚園）
6-(7)-②	一時預かり事業（保育園等）
6-(8)	病児保育事業
6-(9)	ファミリー・サポート・センター事業
6-(10)	妊婦健康診査
6-(11)	利用者支援事業
6-(12)	実費徴収に係る補足給付を行う事業
6-(13)	多様な事業者の参入促進・能力活用事業
【関連事業】	
・	（事業番号・事業名をご記入ください）
・	（事業番号・事業名をご記入ください）
・	（事業番号・事業名をご記入ください）



事業番号 (○をつけた事業)	上記事業の質問内容（質問内容を御記入ください）	インタビュー 希望
		有 ・ 無
		有 ・ 無
		有 ・ 無
		有 ・ 無
		有 ・ 無

○各事業についての詳細や疑問等、質問がありましたら、8月16日（金）までにこの質問票を御持参いただくか返信用封筒で郵送してください。事業担当課に確認し、回答の御連絡をします。

※各事業について、担当課に質問等がある場合のみご提出ください。

子ども・子育て支援事業計画 関連事業 評価コメントシート

評価者氏名 _____

この子ども・子育て支援事業計画評価コメントシートは、事業担当課と評価は同じですが、意見やコメントを残したい場合に、事業番号とコメント等を記載いただくものです。

※特にコメント等がない場合は、提出不要です。

※質問については、こちらの用紙ではなく「質問票（提出物2）」に御記入ください。

事業番号	コメント

提出物 3 : 任意

事業番号	コメント

※特にコメント等がない場合は、提出不要です。

※質問については、「質問票（提出物 2）」に御記入ください。

提出物 4 : 任意

子ども・子育て支援事業計画 関連事業 評価検討シート

評価者氏名

この子ども・子育て支援事業計画評価検討シートは、事業担当課と委員の意見が異なる場合に事業番号、評価（Ａ・Ｂ・Ｃ・Ｄ）と理由を記載いただくものです。

※事業担当課と異なる評価をしない場合は、提出不要です。

※質問については、こちらの用紙ではなく「質問票（提出物2）」に御記入ください。

[illegible]

提出物 4 : 任意

事業番号	評 価	理 由

※事業担当課と異なる評価をしない場合は、提出不要です。

※質問については、「質問票（提出物2）」に御記入ください。

「子ども・子育て支援事業計画」から「こども計画」への変更について（案）

1 計画名称の変更

令和5年4月1日に施行された「こども基本法」に基づき、本市の「子ども・子育て支援事業計画」を「こども計画」と名称を変更することとしたいと考えます。

こども基本法（令和5年4月1日施行）より

第十条第二項

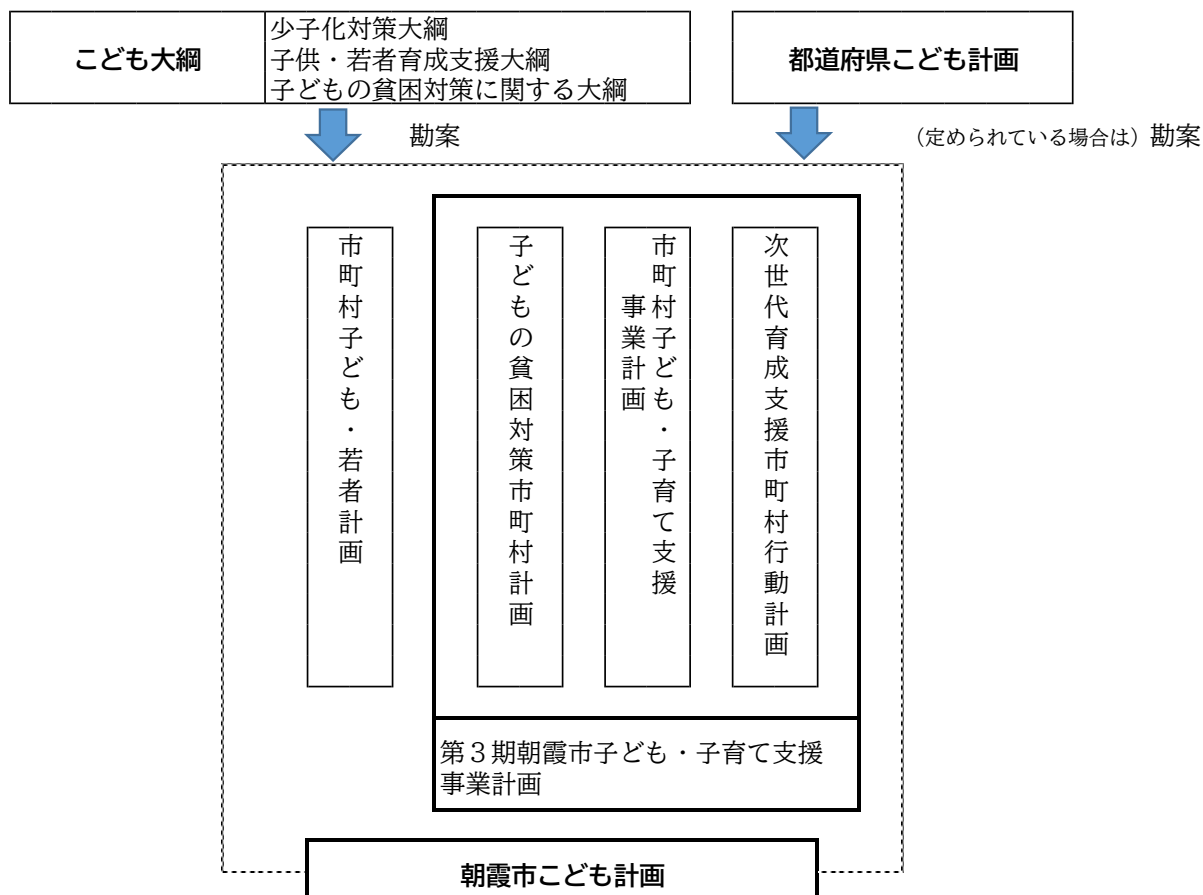
市町村は、こども大綱（都道府県こども計画）を勘案して、当該市町村におけるこども施策についての計画（以下この条において「市町村こども計画」という。）を定めるよう努めるものとする。

第十条第五項

市町村こども計画はこども施策に関する事項を定めるものと一体のものとして作成することができる。

- ①子ども・若者育成支援推進法第9条に規定する「市町村子ども・若者計画」
- ②子どもの貧困対策の推進に関する法律第9条に規定する「市町村計画」
- ③その他の法令の規定により地方公共団体が作成する計画であってこども政策に関する事項を定めるものの例
 - ・次世代育成支援対策推進法に基づく「市町村行動計画」
 - ・子ども・子育て支援法に基づく「子ども・子育て支援事業計画」

朝霞市こども計画のイメージ



子ども・子育て支援法に基づく基本指針の改定について（案）

1 経緯

令和4年の児童福祉法の改定に伴い、子育て世帯に対する包括的な支援のため、支援を要する児童や子育て世帯等に対して訪問支援等を行う家庭支援事業の創設・支援内容の拡充を行うことと規定されたことに伴い、第2期子ども・子育て支援事業計画に位置づけられていた①幼児期の学校教育・保育、②地域子ども・子育て支援事業に加え、③家庭支援事業を新たに位置づけることとします。

2 基本指針

分類	施設・事業名	
①幼児期の学校教育・保育	教育・保育施設	・ 保育所（園） ・ 幼稚園 ・ 認定こども園 ・ （新）こども誰でも通園制度
	地域型保育事業	・ 小規模保育事業 ・ 家庭保育室
②地域子ども・子育て支援事業	・ 延長保育事業（時間外保育事業） ・ 放課後児童クラブ ・ 子育て短期支援事業（ショートステイ事業） ・ 乳児家庭全戸訪問事業 ・ 養育支援訪問事業及び要保護児童支援事業 ・ 地域子育て支援拠点事業（子育て支援センター） ・ 一時預かり事業（幼稚園・保育所等） ・ 病児保育事業 ・ ファミリー・サポート・センター事業 ・ 妊婦健康診査 ・ 利用者支援事業 （新）（こども家庭センター） ・ 実費徴収に係る補足給付を行う事業 ・ 多様な事業者の参入促進・能力活用事業	
③家庭支援事業	・ （新）子育て世帯訪問支援事業 ・ （新）児童育成支援拠点事業 ・ （新）親子関係形成支援事業	

※（新）と表記している項目は、市町村こども計画に位置づけることとされていますが、制度設計や予算確保など課題もあることから、計画期間（令和7年度～11年度）において取組を開始することを目指します。

こども誰でも通園制度

- ☞ 現行の幼児教育・保育給付に加え、月一定時間までの利用可能枠の中で、就労要件を問わず時間単位で柔軟に利用できる新たな通園給付事業。

※現在、施行的実施が始まっている市町村もありますが、本市においては施設確保や保育士の配置など多くの課題があります。

こども家庭センター

- ☞ 全ての妊産婦・子育て世帯・こどもの一体的な相談支援を行うこども家庭センターの設置が義務付けられた。
- ☞ こども家庭センターでは、必要な場合にサポートプランを作成するなどして、家庭支援事業等の適切な支援につなげる。

※現在、市の児童福祉部門と母子保健部門が一体となって支援に取り組める組織の構築に努めています。

子育て世帯訪問支援事業（訪問による生活の支援）

- ☞ 要支援児童、要保護児童及びその保護者、特定妊婦等を対象（支援を要するヤングケアラー含む）
- ☞ 訪問し、子育てに関する情報の提供、家事・養育に関する援助等を行う。
例）調理、掃除等の家事、こどもの送迎、子育ての助言 等

※現在、養育支援訪問事業の中で行っているヘルパーの派遣などを充てることが考えられますが、支援員の確保などの課題があります。

児童育成支援拠点事業（学校や家以外のこどもの居場所）

- ☞ 養育環境の課題（虐待リスクが高い、不登校等）を抱える主に学齢期の児童を対象
- ☞ 児童の居場所となる拠点を開設し、児童に生活の場を与えるとともに児童や保護者への相談等を行う。
例）居場所の提供、食事の提供、生活リズム・メンタルの調整、学習支援、関係機関との調整 等

※こどもの居場所づくりとしての児童館整備、ひとり親家庭等生徒の学習支援教室、子ども食堂やフードパントリーなどとの連携を進めていますが、それらを整理し、事業展開を図るには多くの課題があります。

親子関係形成支援事業（親子関係の構築に向けた支援）

- ☞ 要支援児童、要保護児童及びその保護者、特定妊婦等を対象
- ☞ 親子間の適切な関係性の構築を目的とし、こどもの発達の状況に応じた支援を行う。
例）講義・グループワーク・ロールプレイ等の手法でこどもとの関わり方等を学ぶ（ペアレントトレーニング） 等

※現在、家庭児童相談員が行なっているペアレントトレーニングや、児童発達支援親子グループなどを充てることが考えられます。

朝霞市こども計画（第3期子ども・子育て支援事業計画） 骨子（案）

基本理念	基本目標	基本方針 ※網掛け部分は今後5年間で力を入れて取り組む重点方針	こども大綱	県こども計画	施策の方向性	キーワード
	1 すべてのこども・若者が幸せを感じ成長できるまち	1－1 こども・若者の心身の健やかな成長を守るために 【こどもの権利条約】	①	①④⑤⑥	(1) こども・若者を虐待やいじめ等の人権侵害から守るための体制強化	虐待、養育体制の整備、体罰・不適切な指導防止、性教育、福祉体験
					(2) こども・若者が犯罪に巻き込まれない社会づくり	性犯罪、インターネット犯罪、防犯、交通安全教室、自転車免許、薬物乱用防止教室
					(3) 多様な困難を抱えるこども・若者の救済	不登校支援、自殺防止、ヤングケアラー支援、スクサポ、こども・ほっとそうだん
		1－2 こども・若者の権利や意見・視点を尊重するために 【こどもの権利条約】 【こども・若者対策】	①②	①②	(1) こども・若者の権利に関する普及・啓発	人権作文、青少年の集い
					(2) こども・若者の意見表明・社会参画	こどもモニター、人権作文、青少年の集い
	2 すべてのこども・若者が夢を想い描けるまち	2－1 こども・若者の生きる力を引き出すために 【こども・若者対策】 【こどもの貧困対策】	②④	②⑧⑩⑪	(1) こども・若者の安心して過ごせる居場所づくり	児童館、居場所補助金、放課後児童クラブ、放課後こども教室、プレーパーク
					(2) こども・若者の学習支援・キャリア支援の充実	アスポート、受験費用補助、恋たま
					(3) こども・若者の多様な遊びや体験ができる機会の充実	児童館、体育祭、こども大学、農業体験、幼児ふれあい事業、プレーパーク
					(4) こども・若者の地域活動・社会参画機会の充実	3 days、黒目川清掃活動、こどもモニター
	3 すべてのこども・若者が安心して子育てできるまち	3－1 ライフステージを通じた切れ目のない支援を提供するために 【子ども・子育て】	③	③⑨	(1) 妊娠前から妊娠期、出産、幼児期までの切れ目のない支援の充実	伴走型相談支援事業、新生児訪問等母子保健業務
					(2) 子育て支援の充実	ショートステイ、ファミサポ
					(3) 子育てに関する相談体制の充実	家庭児童相談室、こども家庭センター、支援センター
		3－2 様々な困難を抱える子育て家庭に切れ目のない支援を提供するために 【こどもの貧困対策】	④	③④⑨	(1) 経済的困難を抱える家庭と保護者への支援	児扶、ひ医、就学援助
					(2) ひとり親家庭等の支援	児扶、ひ医、就学援助、自立支援、相談
					(3) 発達の遅れや障がいがあるこども・若者への支援	福祉体験、児童発達支援
					(4) 外国につながるのあるこどもと保護者への支援	多文化共生、プラス1事業、きたはら児童館多文化子育て事業
		3－3 子育て家庭が住み続けたくなるまちにするために 【少子化対策】 【子ども・子育て】	③⑤	⑦⑫	(1) 子育てがしやすいまちづくり	家庭教育学級、子育てサークル、公園
					(2) ユニバーサルデザインに配慮したまちづくり	道路整備、公園等（環境）
					(3) こども・子育てに温かい（地域）社会への機運醸成	幼児ふれあい事業、共働き・共育てへの理解普及・推進
	4 すべてのこどもが質の高い教育・保育を受けられるまち	4－1 子育て当事者の教育・保育事業の充実のために 【子ども・子育て】	③④⑤	⑨	(1) 就学前の教育・保育事業の充実	保育園等
					(2) 放課後児童クラブの充実	放課後児童クラブ
		4－2 教育・保育サービスの質を高めるために 【子ども・子育て】	③④⑤	⑨	(1) 多様なニーズにこたえる子育てサービスの充実	こども誰でも、延長保育、病児保育
					(2) 教育・保育に携わる人材の確保・資質向上	
			⑥			

こども大綱 基本的な方針	埼玉県こども計画（仮称） 骨子案	
①こども・若者の権利を主体として認識し、その多様な人格・個性を尊重し、権利を保証し、こども・若者の今とこれからの最善の利益を図る	①こどもの権利擁護、意見の反映	⑦こども・若者、子育てにやさしい社会づくりの推進
②こどもや若者、子育て当事者の視点を尊重し、その意見を聴き、対話しながら、ともに進めていく。	②居場所づくり、社会的活動の参画支援	⑧結婚・出産の希望実現
③こどもや若者、子育て当事者のライフステージに応じて切れ目なく対応し、十分に支援する。	③親と子の健康・医療の充実	⑨「子育て」と「子育て」の支援
④良好な生育環境を確保し、貧困と格差の解消を図り、全てのこども・若者が幸せな状態で成長できるようにする	④「こどもの貧困」対策の推進、配慮を要するこどもへの支援	⑩未来を切り拓くこども・若者の応援
⑤若い世代の生活の基盤の安定を図るとともに、多様な価値観・考え方を大前提として若い世代の視点に立って結婚、子育てに関する希望の形成と実現を阻む隘路の打破に取り組む	⑤児童虐待防止・社会的養育の充実	⑪こども・若者の健やかな成長を支える担い手の養成・支援
⑥施策の総合性を確保するとともに、関係省庁、地方公共団体、民間団体等との連携を重視する。	⑥こども・若者の自殺対策、犯罪などからこども・若者を守る取組	⑫ワークライフバランス・男女の働き方改革の推進

「埼玉県こども計画(仮称)」の骨子案(イメージ)

ライフステージを通した施策

ライフステージ別の施策

1 こどもの権利擁護、意見の反映

- (1)こどもの人権が尊重される社会環境づくり
- (2)こども等が意見を表明する機会の確保

2 居場所づくり、社会的活動の参画支援

- (1)こども食堂など切れ目のないこどもの居場所づくりの支援
- (2)社会形成への参画支援

3 親と子の健康・医療の充実

- (1)妊娠から子育てまでの切れ目のない支援
- (2)医療提供体制の充実
- (3)医療に係る経済的支援

4 「こどもの貧困」対策の推進、配慮を要するこどもへの支援

- (1)「こどもの貧困」対策の推進
- (2)ひとり親家庭への支援
- (3)障害などのあるこども・若者への支援
- (4)ヤングケアラーへの支援
- (5)ニート、ひきこもり、不登校等のこども・若者への支援
- (6)一人ひとりの状況に応じた支援

5 児童虐待防止・社会的養育の充実

- (1)こどもを虐待から守る地域づくり
- (2)社会的養育の充実

6 こども・若者の自殺対策、犯罪などからこども・若者を守る取組

- (1)こども・若者の自殺対策
- (2)インターネット対策の推進
- (3)こども・若者の性犯罪・性暴力対策
- (4)犯罪被害、事故、災害からこどもを守る環境整備
- (5)非行防止と立ち直り支援

7 こども・若者、子育てにやさしい社会づくりの推進

- (1)こどもまんなか社会への機運醸成
- (2)こども政策DXの推進
- (3)こどもにとって安全・安心なまちづくりの推進
- (4)子育てしやすい住環境の整備

8 結婚・出産の希望実現

- (1)結婚を望む人への支援
- (2)不妊・不育症に悩む人への支援
- (3)プレコンセプションケアの推進

9 「子育て」と「子育て」の支援

- (1)家庭の子育て力の充実
- (2)「孤育て」にしない地域の子育て力の充実
- (3)質の高い幼児教育・保育の充実
- (4)学校教育の充実
- (5)自立的な子育ての支援
- (6)子育てに係る経済的負担の軽減

10 未来を切り拓くこども・若者の応援

- (1)若者の職業的自立、就労等支援
- (2)若年者の経済的自立の支援
- (3)グローバル社会で活躍する人材の育成

11 こども・若者の健やかな成長を支える担い手の養成・支援

- (1)分野横断的な支援人材の育成
- (2)多様な担い手による持続的な活動の推進

12 ワークライフバランス・男女の働き方改革の推進

- (1)企業による働き方改革の推進、社会全体の気運醸成
- (2)共働き・共育ての推進、男性の家事・育児の促進

令和6年第1回子ども・子育て支援計画策定部会 グループワークにおける意見集約

令和6年7月9日実施

策定部会時点での骨子案	部会員からの意見	対応案
基本目標1 すべての子ども・若者が幸せを感じ成長できるまち	こどもの生きる力 小さい時からの性教育、生活に関する授業が必要ではないか 子どもたちを中心に生きる力をつけることが必要。そのためには、生活に直結するヒントや仕掛けを教えることが必要。	1-1(1)、2-1(2)(3)(4)に該当、記載されている項目と考えます。 なお、いただいた御意見は庁内検討委員会にて各課へ共有し、実施事業への反映を検討してまいります。
基本方針 1-1 子ども・若者の心身の健やかな成長を守るために	基本方針の文言 より子ども目線に変えた方が良いのでは。 1-1 “子ども・若者が心身を健やかに成長できるために” 1-2 “子ども・若者の視点で意見や権利を主張できるために” など	基本方針の文言を 1-1 子ども・若者が心身ともに健やかに成長できるように 1-2 子ども・若者の意見や権利が尊重されるために に表現を修正しました。
基本方針 1-2 子ども・若者の権利や意見・視点を尊重するために	虐待防止 虐待が疑われる場面があるが、どう対処すべきか悩むことがある（市民団体）	1-1(1)に該当、記載されている項目と考えます。 なお、いただいた御意見は庁内検討委員会にて各課へ共有し、実施事業への反映を検討してまいります。 また、虐待が疑われる場面があった際は、子ども未来課へ御相談ください。
	虐待防止 学校での教師による家庭訪問がなくなっており、個人面談になってしまっているが、15分程度の個人面談では見えない部分が多いと思う。働き方改革等の背景もあるかと思うが、重点を置いてやらなければいけないものについてはもっと時間等を割いて対応していくべき。	1-1(1)に該当、記載されている項目と考えます。 なお、いただいた御意見は庁内検討委員会にて各課へ共有し、実施事業への反映を検討してまいります。
	教育部門の会議参加 子どもと一番身近な学校教育部門はこの会議の事務局としても参加すべき。委員としての参加では教育部門での共有やこの会議で挙げた課題等の共有などははかれない	いただいた御意見は庁内検討委員会にて各課へ共有し、検討してまいります。

	のではないか。	
	遊ぶ権利 こどもの権利は生きる権利等々あるが、「遊ぶ権利」は大切であり、計画にも見える形で取り入れるべきでは。 朝霞市は学校がすし詰め状態、公園等も、のびのび遊べる環境の整備を。 3-3 はこどもの遊ぶ権利としてここにも該当する。	施策の方向性に 1-2(3)こどもの個性の尊重と遊ぶ権利の保障 として項目立てるよう修正しました。
基本目標2 すべてのこども・若者が夢を思い描けるまち	体験の機会の確保・こどもの生きる力 朝霞市ではボール遊びができない公園が多く、ボール遊びを通じてルールやマナー等の社会性、生きる力が身につくので、周辺住民等への説明・周知等によりボール遊びができる公園を増やしていくべきでは。	1-2(3)、2-1(3)、3-3(1)(3)に該当、記載されている項目と考えます。 なお、いただいた御意見は庁内検討委員会にて各課へ共有し、実施事業への反映を検討してまいります。
基本方針 2-1 こども・若者の生きる力を引き出すために	こどもの居場所 Wi-Fi 等の環境整備によって、ほんちよう児童館の様な勉強ができる場所を増やすべきでは。	2-1(1)に該当、記載されている項目と考えます。 なお、いただいた御意見は庁内検討委員会にて各課へ共有し、実施事業への反映を検討してまいります。
	基本方針の文言 こども目線に “こども・若者が”など。	基本方針の文言を 2-1 こども・若者が生きる力を育むことができるように に表現を修正しました。
	こどもの居場所・体験の機会の確保 放課後こども教室の実施が全校でないことが残念。距離から諦める子もあり、全校で実施することで機会を確保していくべきでは。	2-1(1)(3)に該当、記載されている項目と考えます。 なお、いただいた御意見は庁内検討委員会にて各課へ共有し、実施事業への反映を検討してまいります。
	体験の機会の確保 こども大学は単発の事業でなく、半年という期間をかけて複数回実施するため、こどもの成長が期待できとてもいい取り組み。事業を継続して行って欲しい。	2-1(3)に該当、記載されている項目と考えます。 なお、いただいた御意見は庁内検討委員会にて各課へ共有し、実施事業への反映を検討してまいります。
	体験の機会の確保 朝霞市の子ども会連合会の実施するキャンプなどはとてもいい経験と機会だった。子ども会が縮小傾向にあり、また、幼稚園で	2-1(3)に該当、記載されている項目と考えます。 なお、いただいた御意見は庁内検討委員会にて各課へ共有し、実施事業への反映を検討してまいります。

	のお泊り保育などもなくなっており、こどもの体験機会等、なくなってしまうと困るものなどはキーワード等入れ込むべきでは。	討してまいります。
	こどもの個性の尊重・こどもの生きる力 学校での運動会・体育祭など縮小傾向にあり、実施しても順位を付けないなどの状況がみられる。運動の得意な子もいればそうでない子もいるが、得意な子にとっては自分が輝ける、自信を持てる機会が奪われてしまう。 運動が苦手だが字がとっても上手な子も、作品が選ばれても先生から個別に伝えられておしまいなど、社会に出れば競争になる中で、得意なものなどを見つけられる機会の確保、チャンスを増やしてほしい。 また、キーワード等入れ込むべきでは。	1-2(3)こどもの個性の尊重と遊ぶ権利の保障 として項目立てるよう修正しました。 また、2-1(3)に該当、記載されている項目とも考えます。 なお、いただいた御意見は庁内検討委員会にて各課へ共有し、実施事業への反映を検討してまいります。
	体験の機会の確保 共働き家庭、働く親が増えている中で、事業の開催方法が適応していない。こどもを連れていける時間に開催する、又は民間委託などによって連れていけない親に代わってこどもを送迎するなどすることで、体験の機会を確保していてもいいのでは。	2-1(3)、3-1(2)、3-2(1)(2)、3-3(1)(3)に該当、記載されている項目と考えます。 なお、いただいた御意見は庁内検討委員会にて各課へ共有し、実施事業への反映を検討してまいります。
	こどもの個性の尊重・こどもの生きる力 ダイバーシティについて落とし込みが必要では。	1-2(3)こどもの個性の尊重と遊ぶ権利の保障 として項目立てるよう修正しました。
基本目標 3 すべてのこども・若者が安心して子育てできるまち	外国に繋がりのある方への支援 統計上も外国に繋がりのある方が増えており、今後益々学習支援等必要性が増していく。サークル等とうまく連携し、対応していく必要がある。	3-2(4)に該当、記載されている項目と考えます。 なお、いただいた御意見は庁内検討委員会にて各課へ共有し、実施事業への反映を検討してまいります。
基本方針 3-1 ライフステージを通じた切れ目のない支援を提	基本方針の文言 熱い想いで書く必要があるのでは、 “ために”ではなく、言い切る	基本理念は目指すべき姿、本計画の基本的な考え方であり、基本目標は基本理念を実現するために達成しなければならない重要な要素であることから、強く言い切った表現をしています。 また、基本方針は基本目標達成のための行

供するために 基本方針 3-2 様々な困難を抱える子育て家庭に切れ目のない支援を提供するために		動指針として「〇〇するために」と表現し、そして、施策の方向性は基本方針を受けた形で、より具体化・細分化した実施すべき施策の方向性を打ち出しています。 このことから基本方針は「〇〇するために」の表現のままいたしました。
基本方針 3-3 子育て家庭が住み続けたいようになるために	多胎児養育家庭への支援 1つ項目立てて多胎児への支援をぜひ入れて欲しい。経済的なものはもちろん、様々な支援が必要。保育の現場でも、親御さんへのサポートの必要性を感じる。	より配慮が必要な妊産婦、家庭への支援として、3-1(1)に該当する項目と考えます。 キーワードは「伴走型相談支援事業」としていましたが、「ハイリスク支援」としてキーワードに明記しました。 なお、いただいた御意見は庁内検討委員会にて各課へ共有し、実施事業への反映を検討してまいります。
に	体験の機会の確保・貧困対策 経済的に困っていない家庭は習い事、塾に通うなどができるが、そうでない家庭のこどもは学校での体験ができないと他で補うことが難しい。 現金の現物支給でなくこどもへ体験の機会を市が支援していくべきでは。 プールなども6小では生徒数が多く3回しかできないなど機会が減っている。	2-1(3)、3-2(1)に該当、記載されている項目と考えます。 なお、いただいた御意見は庁内検討委員会にて各課へ共有し、実施事業への反映を検討してまいります。
	体験の機会の確保・貧困対策 放課後の校庭開放がなくなってしまったことで、サッカーや野球などは習い事としてお金を掛けなければ体験することが難しくなっている。 公園のボール遊び禁止も同様にこういったことによって、こどもたちの体験の機会の減少また、体験格差が生まれやすい状態になっている。	1-2(3)、2-1(3)、3-2(1)に該当、記載されている項目と考えます。 なお、いただいた御意見は庁内検討委員会にて各課へ共有し、実施事業への反映を検討してまいります。
	体験の機会の確保 公園を新しく整備する前に、既存の公園について草刈りなどの整備をしっかりと行い、公園内を十分なスペースで利用ができれば利用にすべき。	1-2(3)、3-3(1)(2)に該当、記載されている項目と考えます。 なお、いただいた御意見は庁内検討委員会にて各課へ共有し、実施事業への反映を検討してまいります。

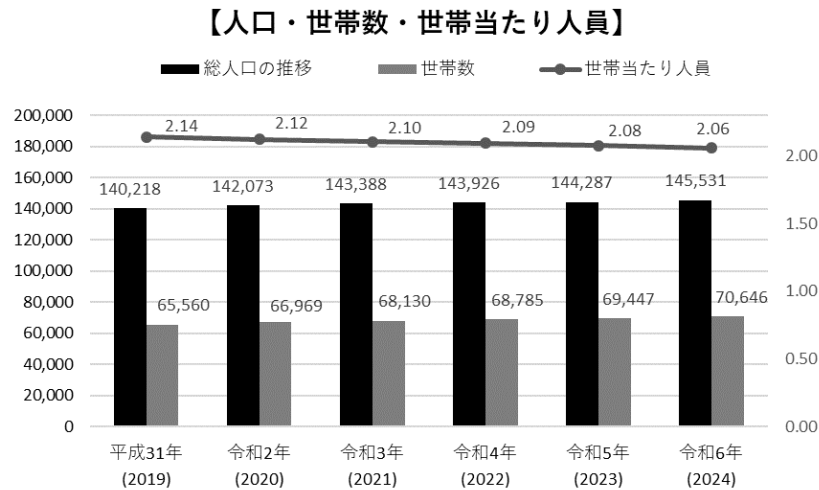
基本目標4 すべてのこと もが質の高い 教育・保育を 受けられるま ち 基本方針 4-1 子育て 当 事 者 の 教 育・保育事業 の充実のため に 基本方針 4-2 教育・ 保育サービス の質を高める ために	基本方針の文言 熱い想いで書く必要があるので、“ために” ではなく、言い切る	基本方針3での回答に同じ
	保育の質の向上 人数を多く預かると質の低下にもつなが る。希望者が多いがバランスが大切。	4-2(2)に該当、記載されている項目と考え ます。 なお、いただいた御意見は庁内検討委員会 にて各課へ共有し、実施事業への反映を検 討してまいります。
	保育施設設置場所の検討 マンションが多く建つ地域へ建設する等地 域の実情に合わせた整備を。	4-1(1)に該当、記載されている項目と考え ます。 なお、いただいた御意見は庁内検討委員会 にて各課へ共有し、実施事業への反映を検 討してまいります。
	保育の質の向上・保育士の待遇改善 働く環境の改善、給与などの処遇改善	4-2(2)に該当、記載されている項目と考え ます。 なお、いただいた御意見は庁内検討委員会 にて各課へ共有し、実施事業への反映を検 討してまいります。
	こども誰でも通園制度 朝霞市で実施するには厳しい状況がある と思うので、十分に議論をすること。	4-2(1)に該当、記載されている項目と考え ます。 なお、いただいた御意見は庁内検討委員会 にて各課へ共有し、実施事業への反映を検 討してまいります。
	子育てを応援する社会の醸成 公園のボール遊び禁止等に代表されるよう に苦情を言う大人も昔はこどもだった。も っと寛容に、“地域で子育て”という気運醸 成が必要。	3-3(3)に該当、記載されている項目と考え ます。 なお、いただいた御意見は庁内検討委員会 にて各課へ共有し、実施事業への反映を検 討してまいります。
	公立保育園の預かり基準について 現在は、保護者に休みの方がいる場合には 預けることができないが、この点について は、こども誰でも通園制度の開始の前に、 休みであっても預けられるよう見直しが必要。	4-2(1)に該当、記載されている項目と考え ます。 なお、いただいた御意見は庁内検討委員会 にて各課へ共有し、実施事業への反映を検 討してまいります。
	保育の質の向上 和光市などでは勉強会を実施している。朝 霞市でも以前していたが、今後実施してい って欲しい。	4-2(2)に該当、記載されている項目と考え ます。 なお、いただいた御意見は庁内検討委員会 にて各課へ共有し、実施事業への反映を検

		討してまいります。
	こどもの居場所 放課後児童クラブの入所ができなかったこ どもの居場所の確保について、放課後その まま学校にいられるようにする、ランドセ ルのまま児童館へ行けるようにするなど対 策をしていくべきでは。一旦帰宅してから とすると１５分程度しか遊べないなどから も学校から直接行けるようにして欲しい。	2-1(1)、4-1(2)に該当、記載されている 項目と考えます。 なお、いただいた御意見は庁内検討委員会 にて各課へ共有し、実施事業への反映を検 討してまいります。
	基本方針の文言 4-1 は一見“子育て当事者への教育”と見て 取れてしまうので修正を。	基本方針の文言を 4-1 教育・保育事業の充実のために に表現を修正しました。
基本理念 このまちで 育ってよかった 育ててよ かった 子育ち・子育 てのよろこび をわかちあえ るまち 朝霞	地域でできる”など地域についての言及 分かち合う➡応援するなどに変更すること で、当事者だけでないという視点を盛り込 む	「このまちで 育ってよかった 育ててよかった 子育ち・子育てを地域で応援するまち あさか」 と表現を修正しました。

第 2 章 朝霞市のこどもを取り巻く現状

1 人口の推移

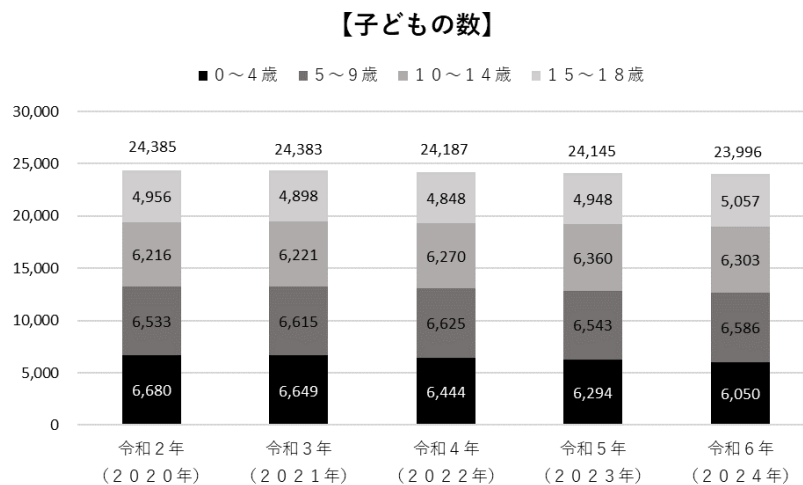
① 総人口の推移



資料:朝霞市住民基本台帳(各年 1 月 1 日現在)

本市の総人口は増加傾向が続いており、令和 6(2024)年には 145,531 人となっています。
 世帯数についても増加傾向にあり、令和 6(2024)年には 70,646 世帯となっています。
 世帯当たりの人員については、緩やかに減少しており、令和 6(2024)年には 2.06 人となっています。

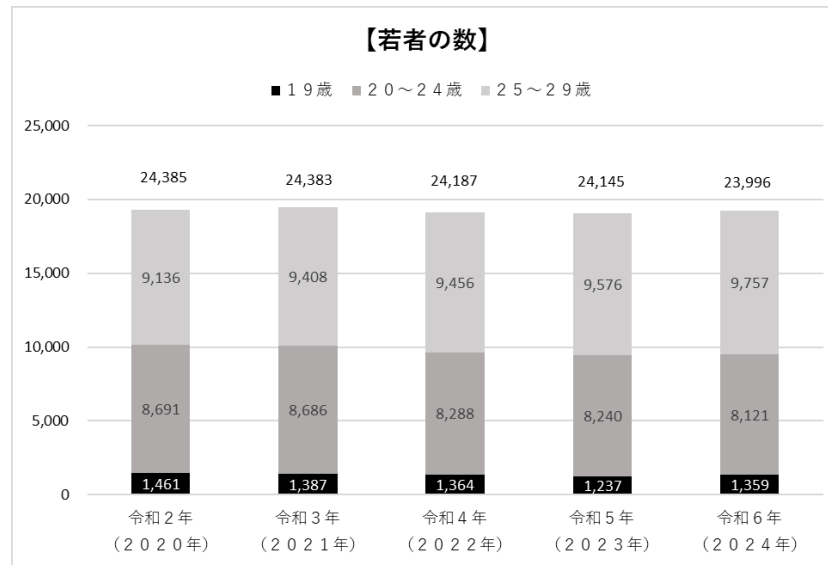
② 子どもの数(0～18歳人口)の推移



資料:朝霞市住民基本台帳(各年 1 月 1 日現在)

子どもの数(0～18 歳人口)の推移をみると、令和 6(2024)年で 23,996 人となっており、令和 2(2020)年以降は緩やかに減少しております。

③ 若者の数(19～29歳人口)の推移

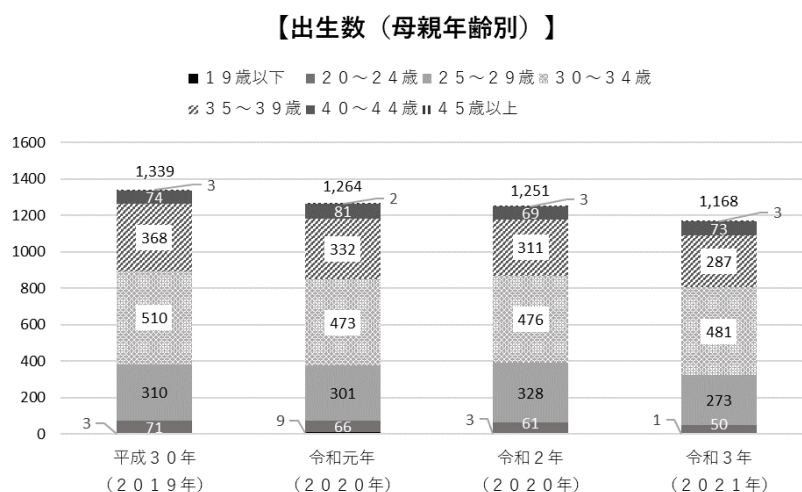


資料:朝霞市住民基本台帳(各年1月1日現在)

若者の数(19～29歳人口)の推移をみると、令和6(2024)年で19,431人となっており、令和2(2020)年以降は増減を繰り返しています。

2 出生数等の推移

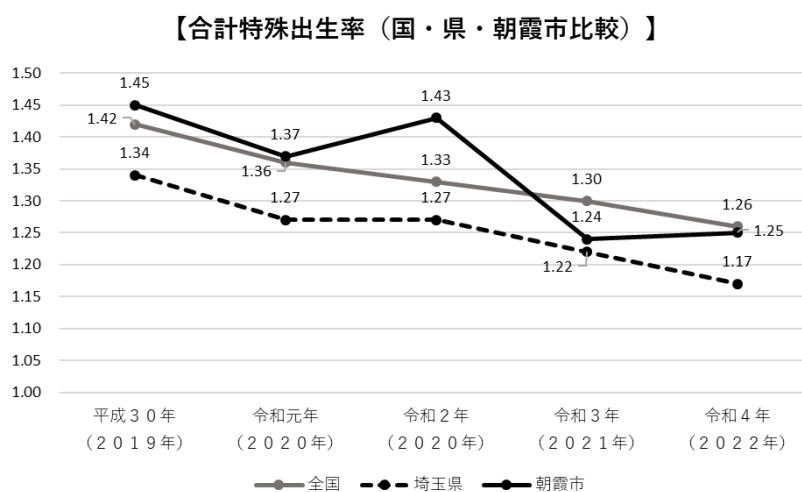
① 出生数の推移



資料:埼玉県保健統計

本市の出生数は減少傾向にあり、令和3(2021)年には1,168人となっています。また、母親の年齢別出生数は30～34歳が最も多く、35～39歳、25～29歳の順となっています。

② 合計特殊出生率の推移

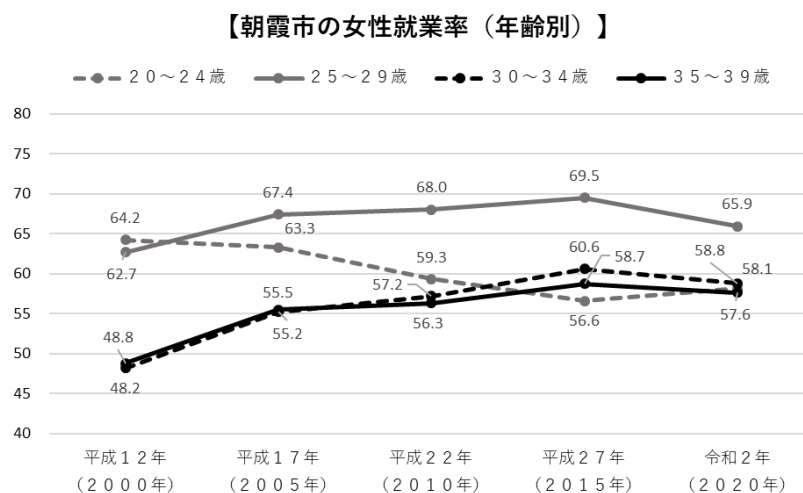


資料:埼玉県保健統計

合計特殊出生率:15歳から49歳までの女性の年齢別出生率をすべて足した数字のことで、ひとりの女性が一生の間に出産する子どもの平均の数を表す。

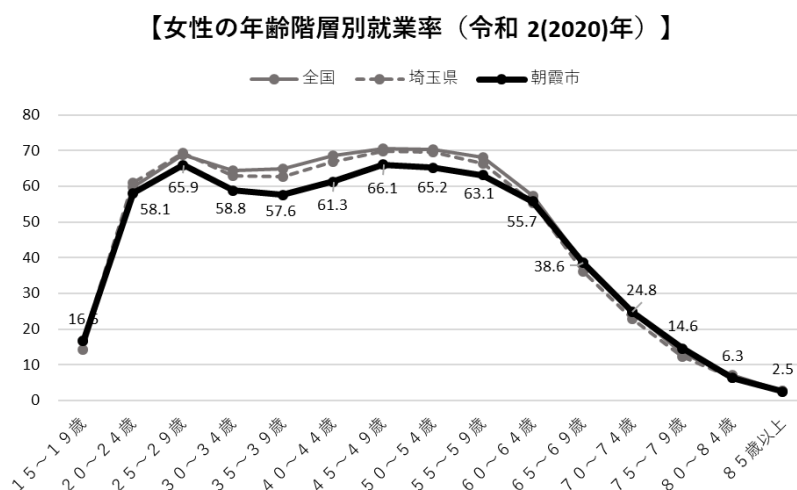
本市の合計特殊出生率は、令和2(2020)年まで国、県よりも高い水準で推移してきましたが、令和3(2021)年には全国を下回り、令和4(2022)年は全国と同水準となっています。

3 女性の就業率の推移



資料：国勢調査

就業率：15 歳以上人口に占める就業者（従業者（収入を伴う仕事をしている者）と休業者（仕事を持っていないが病気などのため休んでいるもの）を合わせたもの）の割合である。



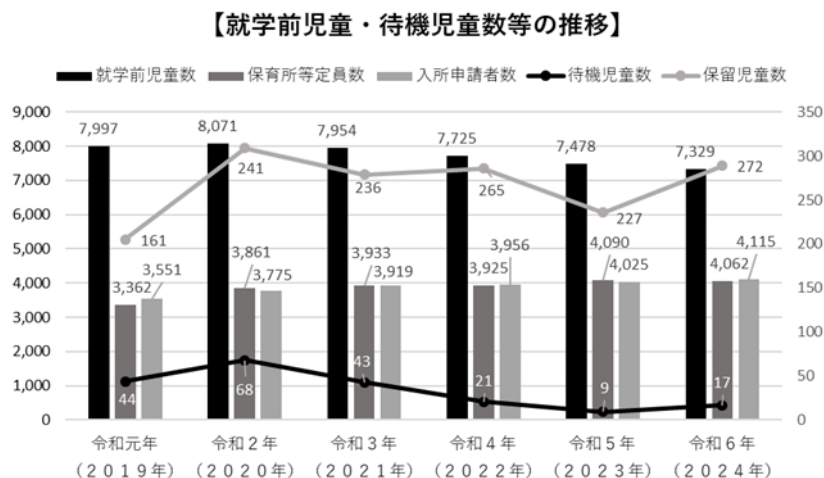
資料：国勢調査

女性の就業率は、20 歳代前半では、平成 12(2000)年から令和 2(2020)年にかけて 6.1 ポイント減少しています。20 歳代後半から 30 歳代の就業率は平成 27(2015)年までは増加していましたが、令和 2(2020)年は減少しています。

また、女性の年齢階層別就業率は、全国、埼玉県、朝霞市のいずれも 30 歳代で低下し 40 歳代以降に再び上昇する「M字カーブ」となっており、本市では 30 歳代、40 歳代で特に全国、埼玉県を下回り、M 字の底が深くなっています。

4 就学前児童等の状況

① 就学前児童・待機児童数等の推移



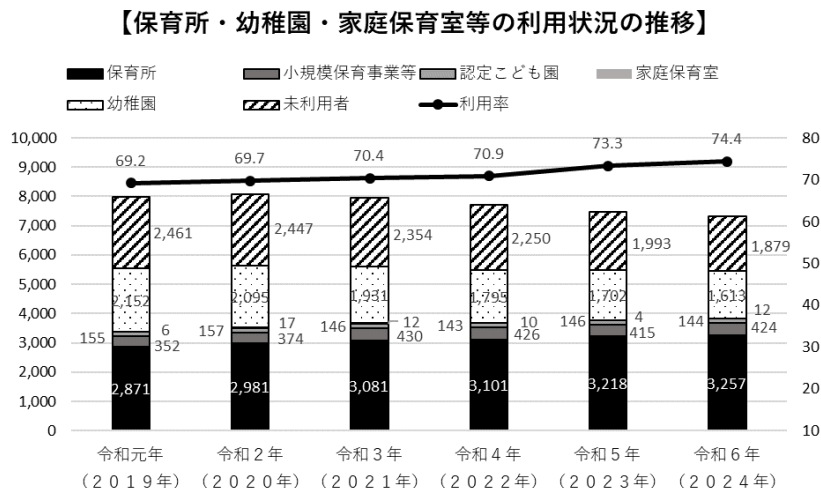
資料: 保育課(各年4月1日現在)

保留児童数: 保育所等の利用を希望し、市へ入所申請をした者のうち、希望する施設の定員超過等のため、利用ができなかった児童の数をいいます。

待機児童数: 「保留児童数」から、国の定義※に従い、求職活動を休止している者や、特定の空いていない施設を希望しているために利用保留となっている者等を除いた数をいいます。

就学前児童数は、令和2(2020)年以降、緩やかに減少しており、令和6(2024)年には7,329人となっています。また、保育所等の整備が進み、保育所等定員数は年々増加していますが、毎年定員数を上回る入所申請があり、保育所等の待機児童数は令和6(2024)年に17人となっています。なお、保留児童数は平成31(2019)年に272人となっており、増減を繰り返しています。

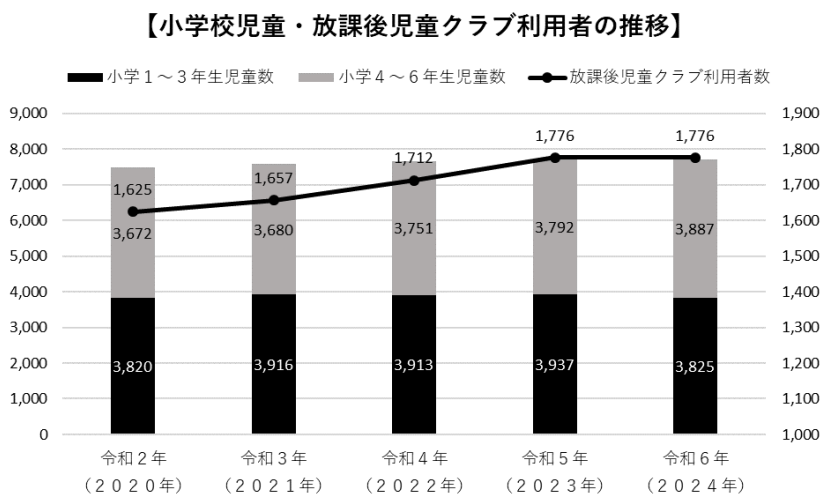
② 保育所・幼稚園・家庭保育室等の利用状況の推移



資料: 保育課 (各年 5 月 1 日現在)

就学前児童で施設を利用しない者(未利用者)は減少傾向にあり、保育所・幼稚園・家庭保育室等の利用率は令和 6(2024)年に 74.4%と過去最高となりました。保育所の利用については増加傾向にありますが、一方で幼稚園の利用者数は減少傾向にあります。

5 小学生児童・放課後児童クラブ利用者の推移



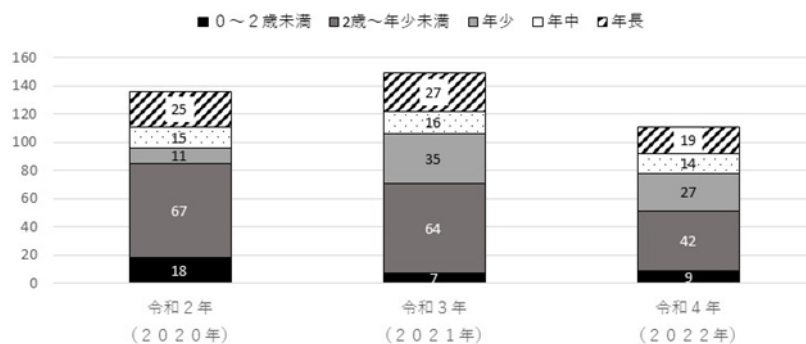
資料: 保育課・教育管理課 (児童数は各年 5 月 1 日現在、利用者数は各年 4 月 1 日現在)

小学校の児童数は、増加傾向にあり、令和 6(2024)年では 7,712 人となっています。また、放課後児童クラブの利用者数も増加傾向にあり、令和 6(2024)年では 1,776 人となっています。

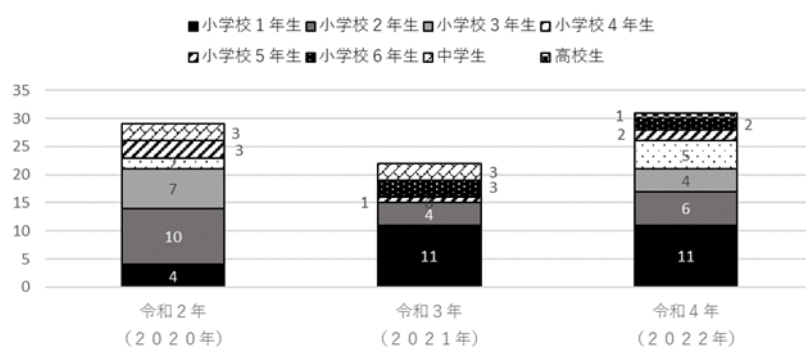
6 障害のあるこどもの状況

【発育発達相談(精神・心理)相談者数】

■就学前児童



■小学生・中学生・高校生



資料:健康づくり課(各年年度末)

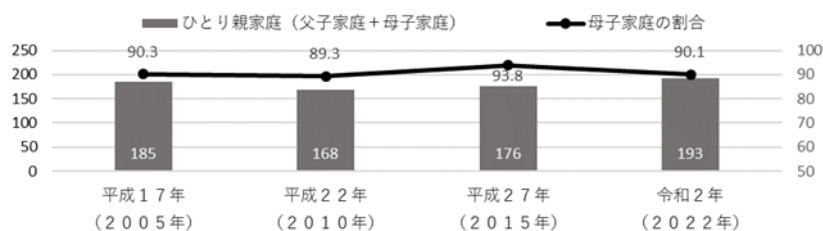
本市の保健センターで発育発達相談(精神・心理)の相談を受けている就学前児童の人数は令和 3(2021)年まで増加傾向にありましたが、令和 4(2022)年には減少しています。2 歳～年少未満の利用が比較的多くなっています。小学生以上では、年により増減がありますが、「小学校1年生」「小学校2年生」で比較的多くなっています。

7 ひとり親家庭の状況

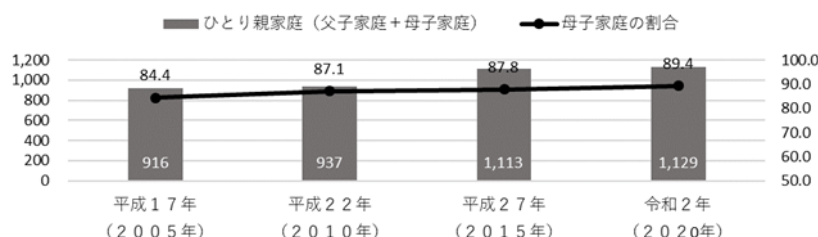
① ひとり親家庭数の推移

【ひとり親家庭数の推移】

0～5 歳の児童がいるひとり親家庭数



0～17 歳の児童がいるひとり親家庭数

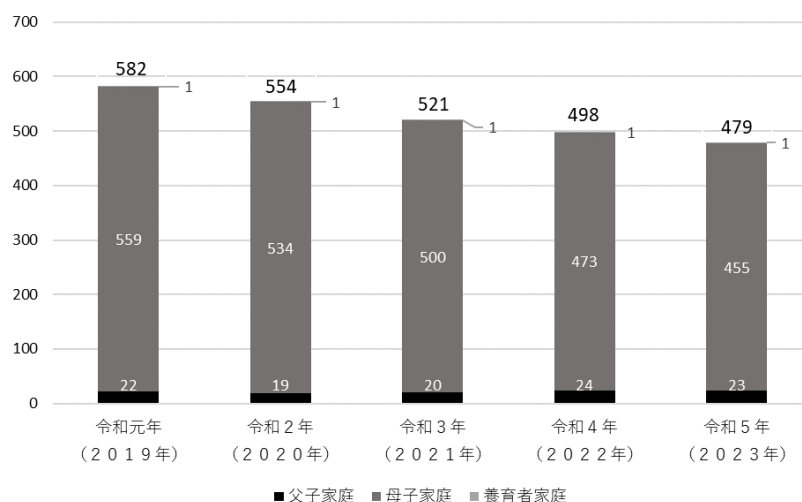


資料：国勢調査

0～5 歳の児童がいるひとり親家庭数は、令和 2(2020)年で 193 世帯となっており、増減を繰り返しています。0～17 歳の児童がいるひとり親家庭数は、令和 2(2020)年で 1,129 世帯となっており、平成 17(2005)年以降増加し続けています。子育てを分担できる人や相談相手がない、経済的な困難を抱えているなど支援が必要な家庭に情報やサービスが届くようにする必要があります。

② 児童扶養手当受給家庭数の推移

【児童扶養手当受給家庭数】



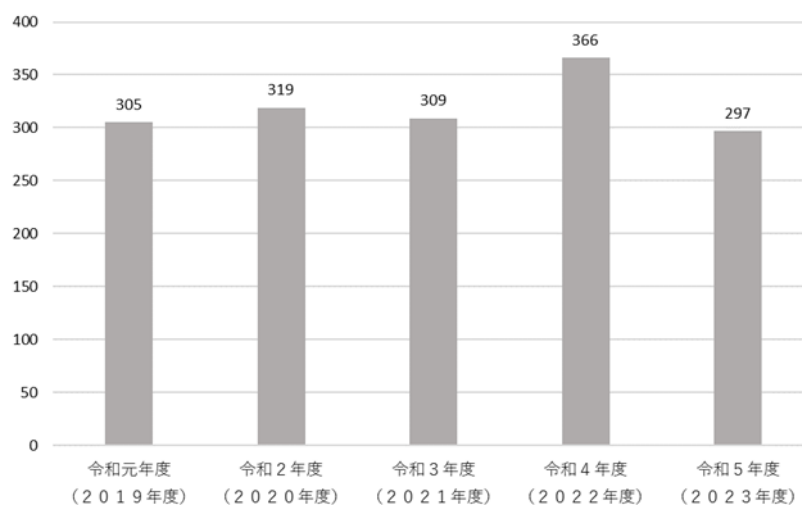
資料：こども未来課(各年年度末)

児童扶養手当受給家庭数は、令和元年(2019)年以降減少傾向にあり、令和 6 年(2024)年で 479 世帯となっています。受給家庭数は減少傾向にあるものの、経済的な困難を抱える家庭への適切な支援が必要となります。

8 児童虐待に関する状況

① 児童相談所の児童虐待相談対応件数

【所沢児童相談所が受付けた朝霞市における児童虐待相談の推移】



資料: 所沢児童相談所

児童相談所の児童虐待相談対応件数は、令和 4(2022)年度は増加したものの、それ以外の年はおおむね横ばいで推移しており、令和 5 年(2023)年度は 297 人となっています。

② 里親登録世帯数・委託里子数

(世帯・人)

	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)
里親数	22	23	19	22	24
委託里子数	11	9	7	14	14

資料: こども未来課

里親登録数は、ほぼ横ばいで推移しています。委託里子数は令和 5(2023)年度で 14 人となっています。

③ 児童養護施設・乳児院の延べ入所児童数

(人)

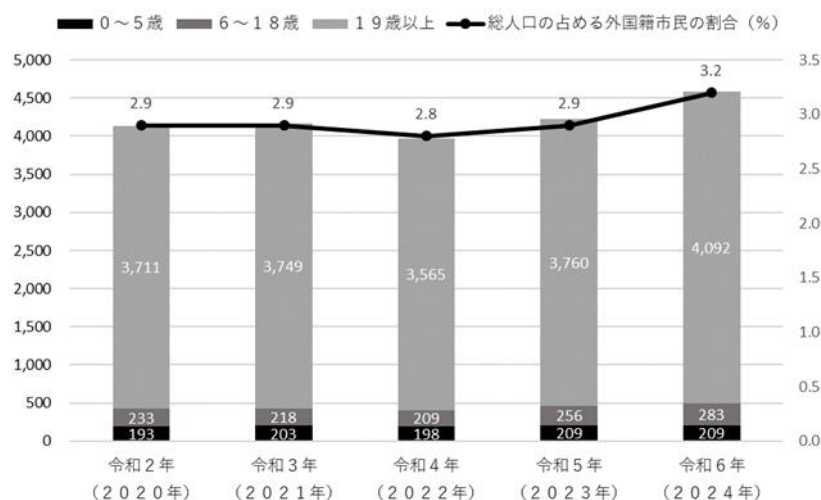
	令和元年 (2019年)	令和2年 (2020年)	令和3年 (2021年)	令和4年 (2022年)	令和5年 (2023年)
児童養護施設 入所児童数	31	40	43	63	40
乳児院 入所児童数	3	8	14	9	10

資料: こども未来課

児童養護施設・乳児院の延べ入所等措置件数は、令和 5(2023)年で 50 人となっています。

9 外国につながりがある子どもに関する状況

① 外国籍市民人口



資料:朝霞市住民基本台帳(各年1月1日現在)

外国籍市民人口は毎年増加しており、総人口に占める割合も上昇しています。また、0～18歳の外国籍の子ども数も増加傾向にあり、令和6(2024)年には0～5歳が209人、6～18歳が283人、合計すると0～18歳全体で492人となっています。

② 外国籍児童生徒数

市内保育所の外国籍在園児童数

市内保育所の外国籍在園児童数

	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
市内保育所	76	76	74	89	86

資料:保育課

公立小・中学校に在籍する外国籍児童・生徒数

公立小・中学校に在籍する外国籍児童・生徒数

	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
小学校	114	102	123	137	143
中学校	28	34	37	43	45

資料:教育管理課(各年度末)

市内保育所の外国籍在園児童数および公立小・中学校に在籍する外国籍児童生徒数は、増加傾向にあり、令和6(2024)年度には市内保育所の外国籍在園児童数が86人、公立小・中学校に在籍する外国籍児童生徒数は188人となっています。

③ 日本語指導が必要な児童生徒数

	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)
日本語指導が必要な児童生徒数	34	42	16	32	29

資料:教育指導課

日本語指導が必要な児童生徒数は、年度によっては変動があるもののおおむね横ばいで推移しており、令和5(2023)年度には29人となっています。

外国につながるのある子ども:国際化の進展に伴い、教育・保育施設等において、海外から帰国した子どもや外国人の子ども、両親が国際結婚の子どもなどを表す。

市町村別保育所等待機児童数

(R6.4.1現在)

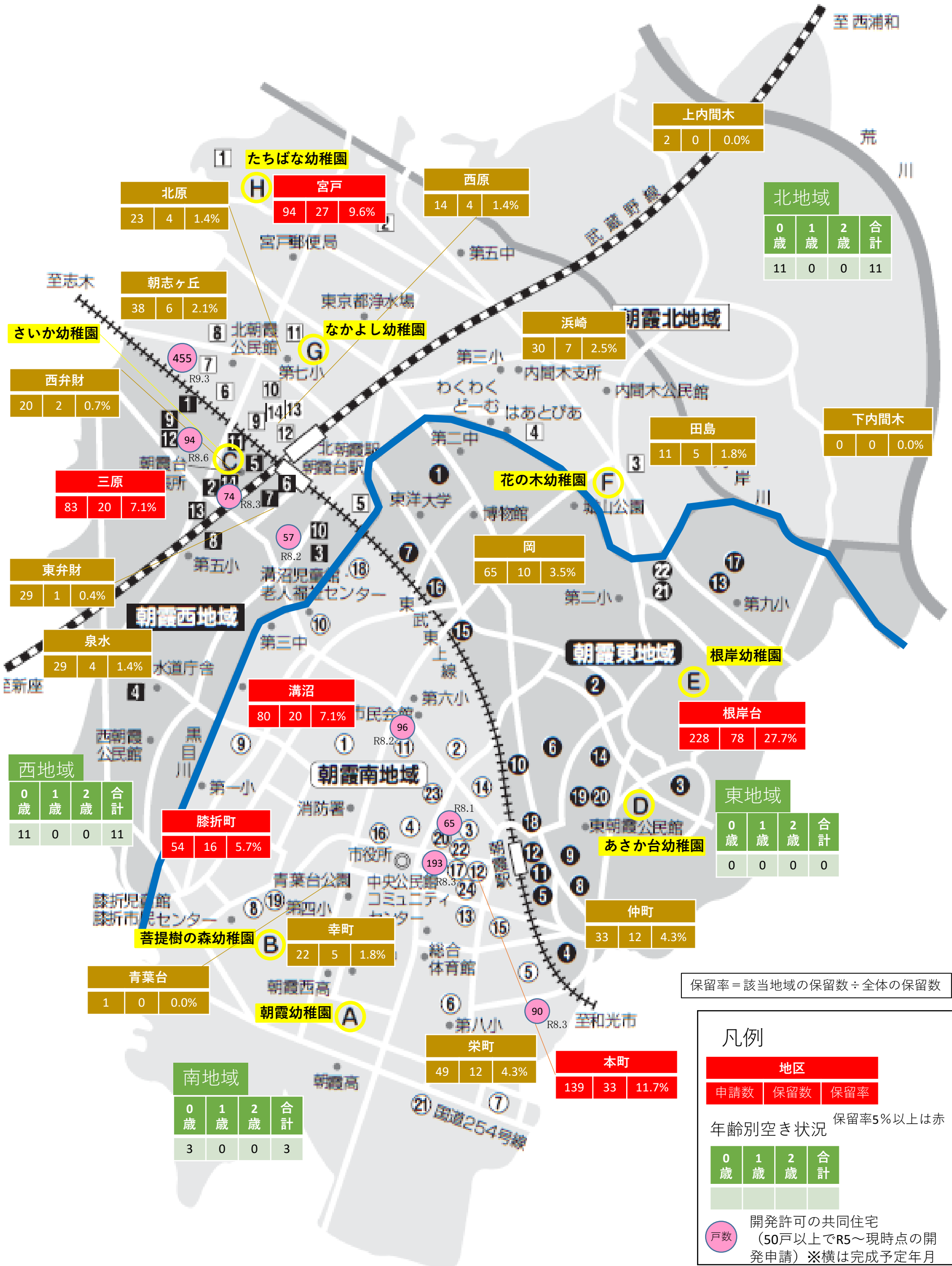
(人)

自治体名	R6.4.1	R5.4.1	対前年 増減数
1 さいたま市	0	0	0
2 川越市	10	8	2
3 熊谷市	0	0	0
4 川口市	10	10	0
5 行田市	0	0	0
6 秩父市	0	0	0
7 所沢市	6	53	▲ 47
8 飯能市	0	0	0
9 加須市	0	0	0
10 本庄市	0	0	0
11 東松山市	0	20	▲ 20
12 春日部市	11	13	▲ 2
13 狭山市	16	7	9
14 羽生市	0	0	0
15 鴻巣市	0	0	0
16 深谷市	0	0	0
17 上尾市	6	26	▲ 20
18 草加市	24	21	3
19 越谷市	4	4	0
20 蕨市	0	1	▲ 1
21 戸田市	0	0	0
22 入間市	8	14	▲ 6
23 朝霞市	17	9	8
24 志木市	4	4	0
25 和光市	3	9	▲ 6
26 新座市	8	5	3
27 桶川市	0	0	0
28 久喜市	0	0	0
29 北本市	32	33	▲ 1
30 八潮市	24	39	▲ 15
31 富士見市	8	18	▲ 10
32 三郷市	0	9	▲ 9
33 蓮田市	9	6	3
34 坂戸市	0	0	0
35 幸手市	0	0	0
36 鶴ヶ島市	0	0	0
37 日高市	0	0	0
38 吉川市	2	9	▲ 7
39 ふじみ野市	2	0	2
40 白岡市	36	28	8
市計	240	346	▲ 106

自治体名	R6.4.1	R5.4.1	対前年 増減数
41 伊奈町	0	1	▲ 1
42 三芳町	0	0	0
43 毛呂山町	1	0	1
44 越生町	0	0	0
45 滑川町	0	0	0
46 嵐山町	0	0	0
47 小川町	0	0	0
48 川島町	0	0	0
49 吉見町	0	0	0
50 鳩山町	0	0	0
51 ときがわ町	0	0	0
52 横瀬町	0	0	0
53 皆野町	0	0	0
54 長瀬町	0	0	0
55 小鹿野町	0	0	0
56 東秩父村	0	0	0
57 美里町	0	0	0
58 神川町	0	0	0
59 上里町	0	0	0
60 寄居町	0	0	0
61 宮代町	0	0	0
62 杉戸町	0	0	0
63 松伏町	0	0	0
町村計	1	1	0
合計	241	347	▲ 106

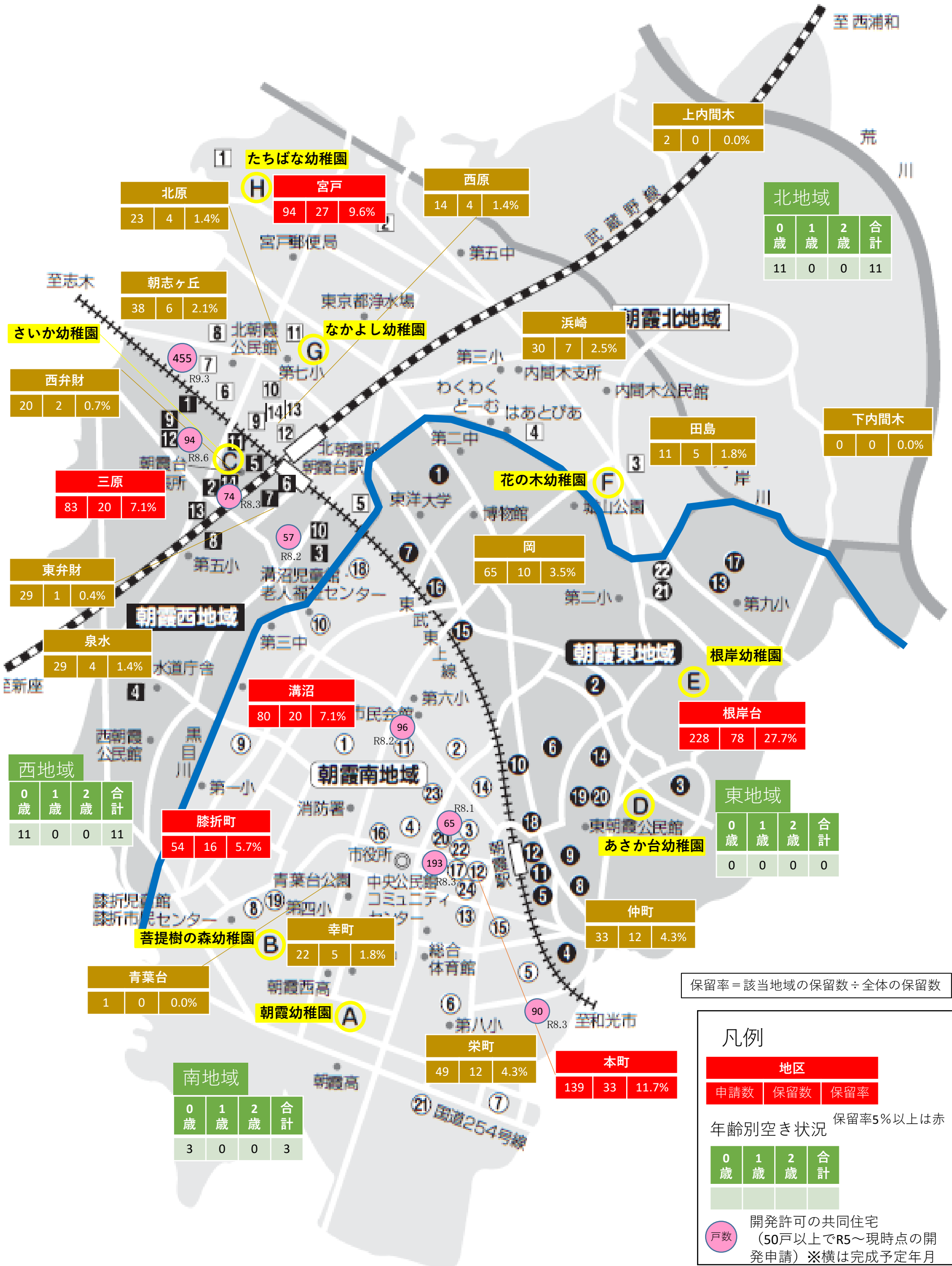
地区別の保留状況と空き状況（0,1,2歳）

令和6年7月19日作成



地区別の保留状況と空き状況（0,1,2歳）

令和6年7月19日作成



公設放課後児童クラブの入所保留児童数（令和6年4月2次入所時点）

クラブ名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
1小（膝折放課後児童クラブ）	0	0	0	0	0	0	0
2小（岡放課後児童クラブ）	2	5	29	11	1	0	48
3小（浜崎放課後児童クラブ）	0	3	5	13	1	0	22
4小（幸町放課後児童クラブ）	0	2	15	9	1	1	28
5小（泉水放課後児童クラブ）	1	0	12	7	2	0	22
6小（本町放課後児童クラブ）	7	41	29	7	1	0	85
7小（朝志ヶ丘放課後児童クラブ）	0	0	0	3	1	0	4
8小（栄町放課後児童クラブ）	0	1	13	17	2	0	33
9小（根岸台放課後児童クラブ）	0	1	7	5	0	0	13
10小（溝沼放課後児童クラブ）	0	0	0	10	2	0	12
計	10	53	110	82	11	1	267

令和7年度放課後児童クラブ申請者の見込み

学区・児童クラブ名	定員 (A)	現1年生の 在籍数 (B)	令和7年度申請が 見込まれる新1年生 児童数 (C)	令和7年度申請が見込 まれる新1年生と新2 年生の児童の合計 (D) = (B) + (C)	(D)/(A)	通学区域にある民間の放課後児童クラブ	
1小（膝折放課後児童クラブ）	130	40	56	96	74%	なし	
2小（岡放課後児童クラブ）	122	54	76	130	107%	キッズクラブさいか本町 あおぞら・つばさ・はばたき	
3小（浜崎放課後児童クラブ）	148	59	83	142	96%	キッズクラブあさか浜崎	
4小（幸町放課後児童クラブ）	98	53	48	101	103%	キッズクラブさいか本町 あおぞら・つばさ・はばたき	
5小（泉水放課後児童クラブ）	125	57	81	138	110%	あさかだいアンジュクラブ	
						西弁財どうさん放課後児童クラブ	
						東弁財どうさん放課後児童クラブ	
6小（本町放課後児童クラブ）	115	75	109	184	160%	キッズクラブさいか本町	元気キッズキャンパス
						キッズクラブさいか本町 あおぞら・つばさ・はばたき	さつき放課後児童クラブ
						キッズクラブさいか本町けやき	本町アンジュクラブ
7小（朝志ヶ丘放課後児童クラブ）	150	47	65	112	75%	キッズクラブあさか浜崎	
						あさかだいアンジュクラブ	
8小（栄町放課後児童クラブ）	135	53	118	171	127%	キッズクラブさいか本町 あおぞら・つばさ・はばたき	さつき放課後児童クラブ
						キッズクラブさいか本町けやき	たまみずきっず栄町
						元気キッズキャンパス	
9小（根岸台放課後児童クラブ）	80	29	43	72	90%	なし	
10小（溝沼放課後児童クラブ）	140	47	46	93	67%	たまみずきっず溝沼	